

奈良市 子ども・子育て支援事業計画策定に 係るニーズ調査結果報告書イメージ

※現在作成中であり、集計・分析数値等は確
定値ではありませんので、ご注意ください。

平成26年2月26日

奈良市子ども未来部子ども政策課

目 次 (案)

I	調査の概要	3
II	調査結果	4
1	就学前児童（0～2歳、3～5歳）	
	(1) お住まいの地域について	4
	(2) 子どもと家庭の状況について	5
	(3) 保護者の就労状況について	9
	(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	18
	(5) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	27
	(6) 病気の際の対応について	29
	(7) 地域の子育て支援事業の利用状況について	38
	(8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	50
	(9) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	54
	(10) 子育てに関する困りごとなどについて	64
	(11) 小学校入学後の放課後の過ごし方について（5歳以上のみ）	70
2	小学生	
	(1) お住まいの地域について（省略）	
	(2) 子どもと家庭の状況について（省略）	
	(3) 保護者の就労状況について（省略）	
	(4) 放課後の過ごし方について	82
	(5) バンビーホーム（放課後児童クラブ）の利用希望について	82
	(6) 居場所について	84
	(7) 病気の際の対応について（省略）	
	(8) 地域の子育て支援事業の利用状況について	85
	(9) 一時預かり等の利用について（省略）	
	(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（省略）	
	(11) 子育てに関する困りごとなどについて	87
III	地区別の集計結果（省略）	
IV	自由記述まとめ	91
VI	資料編（省略）	

I 調査の実施について

(1) 調査目的

本市では、平成27年度から本格施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」に向けて、「奈良市子ども・子育て会議」を設置し、(仮称)奈良市子ども・子育て支援事業計画の策定をはじめとして、新制度に向けた準備を進めているところです。

この度、事業計画策定に係る基礎資料として、就学前児童及び小学生の保護者の方を対象に、子育てに関する現状や、教育・保育、地域の子育て支援事業の利用状況及び今後の希望等を把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査概要

調査地域	奈良市全域
調査対象	奈良市内在住の0歳～2歳児のいる世帯・保護者 1,500人 奈良市内在住の3歳～5歳児のいる世帯・保護者 1,500人 奈良市内在住の小学生のいる世帯・保護者 2,000人
調査方法	住民基本台帳から対象児童のいる世帯を無作為抽出、郵送法による
調査期間	平成25年9月27日から10月17日まで

(3) 回収結果

	配布数	回答数	回収率
0～2歳児	1,500通	908通	60.5%
3～5歳児	1,500通	815通	54.3%
小学生	2,000通	1,151通	57.6%

(4) 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています(無回答を除く)。

II 調査結果

1 就学前児童（0～2歳、3～5歳）

（1）お住まいの地域について

問1 お住まいの中学校区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
 中学校区がわからない場合は、お住まいの町名・番地を回答欄の最後にある
 () 内にご記入ください。

0～2歳、3～5歳ともに、「伏見」の割合が最も高く、次いで「三笠」、「富雄」となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



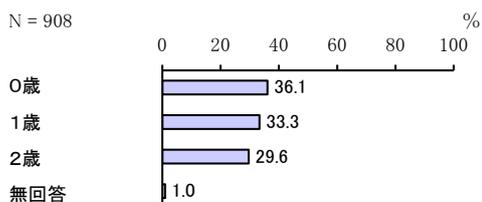
(2) 子どもと家族の状況について

問2 あて名のお子さんの生年月を () 内に数字でご記入ください。

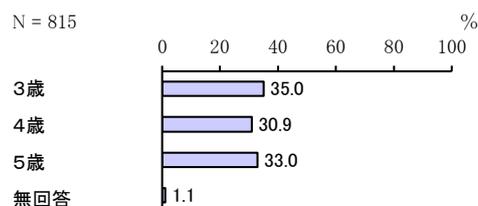
0～2歳については、「0歳」の割合が36.1%と最も高く、次いで「1歳」の割合が33.3%、「2歳」の割合が29.6%となっています。

3～5歳については、「3歳」の割合が35.0%と最も高く、次いで「5歳」の割合が33.0%、「4歳」の割合が30.9%となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】

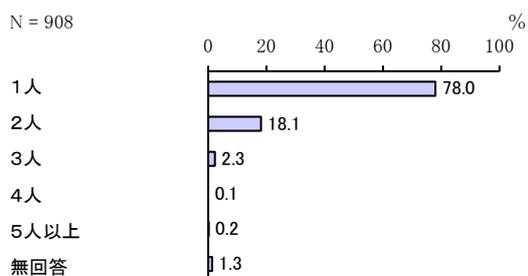


問3 あて名のお子さんを含めて、ご家族にお子さんは何人いますか。お2人以上のお子さんがある場合は、一番年下のお子さんの生年月をご記入ください。

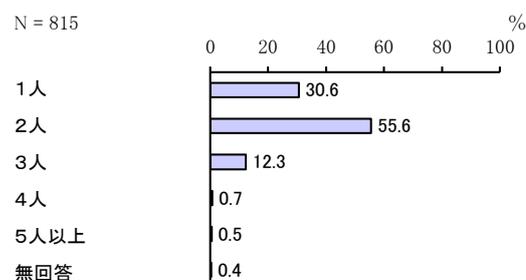
0～2歳のお子さんの人数については、「1人」の割合が78.0%と最も高く、次いで「2人」の割合が18.1%となっています。末子の年齢は、「0歳」の割合が52.1%と最も高く、次いで「1歳」の割合が18.1%、「2歳」の割合が11.2%となっています。

お子さんの人数

【0～2歳】

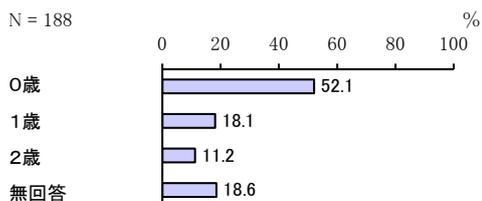


【3～5歳】

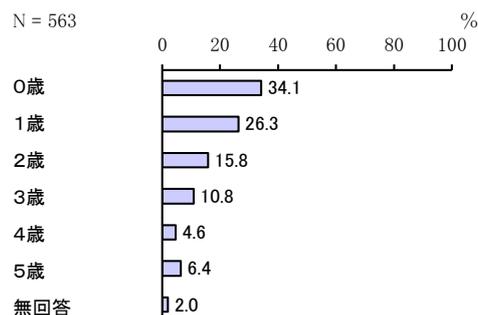


末子の年齢

【0～2歳】



【3～5歳】

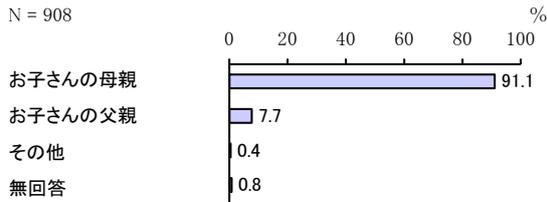


問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

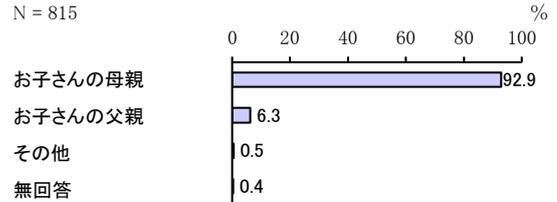
0～2歳については、「お子さんの母親」の割合が91.1%、「お子さんの父親」の割合が7.7%となっています。

3～5歳については、「お子さんの母親」の割合が92.9%、「お子さんの父親」の割合が6.3%となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】

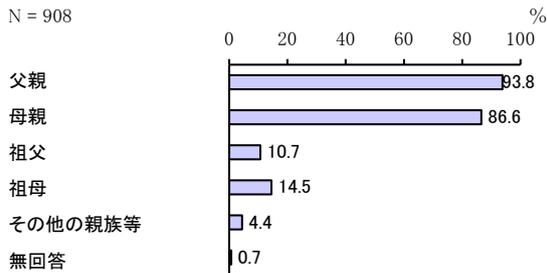


問5 あて名のお子さんと同居されている親族等(きょうだい以外)をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。※父親または母親が単身赴任等の仕事の都合で別居している場合は、同居しているものとしてお答えください。

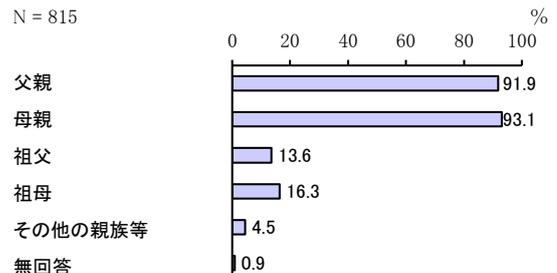
0～2歳については、「父親」の割合が93.8%と最も高く、次いで「母親」の割合が86.6%、「祖母」の割合が14.5%となっています。

3～5歳については、「母親」の割合が93.1%と最も高く、次いで「父親」の割合が91.9%、「祖母」の割合が16.3%となっています。

【0～2歳】

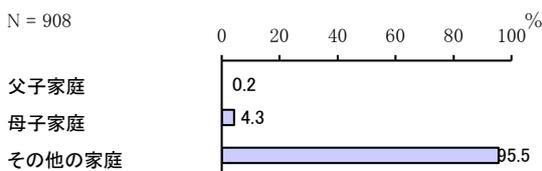


【3～5歳】

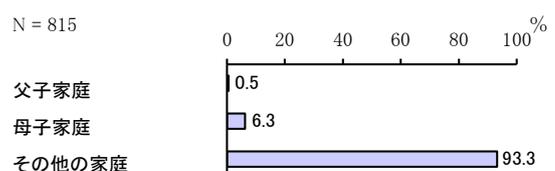


ひとり親家庭の状況

【0～2歳】



【3～5歳】

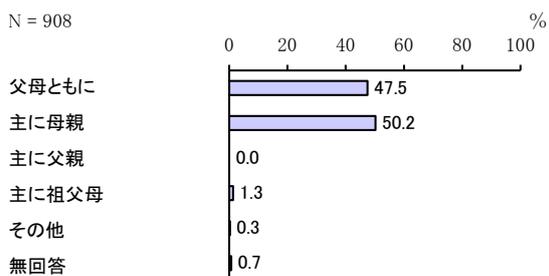


問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

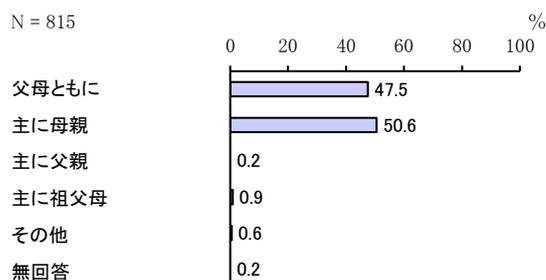
0～2歳については、「主に母親」の割合が50.2%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が47.5%となっています。

3～5歳については、「主に母親」の割合が50.6%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が47.5%となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】

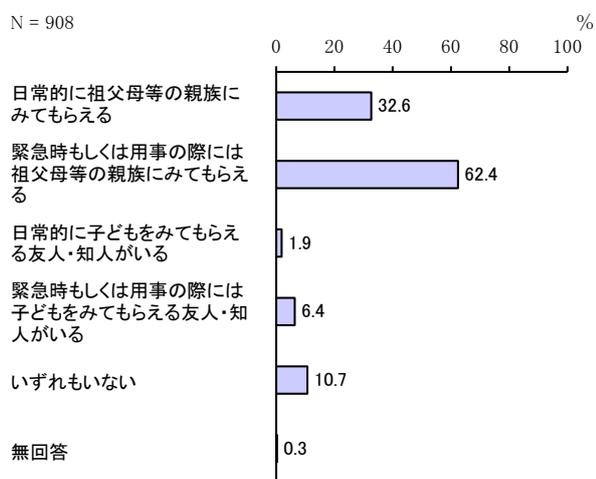


問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

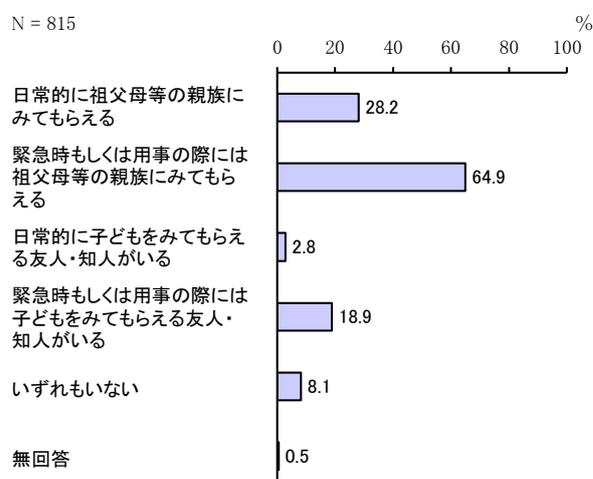
0～2歳については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が62.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が32.6%、「いずれもない」の割合が10.7%となっています。

3～5歳については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が64.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が28.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が18.9%となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



問7-1 問7で「1.」～「4.」に○をつけた方にかがいます。

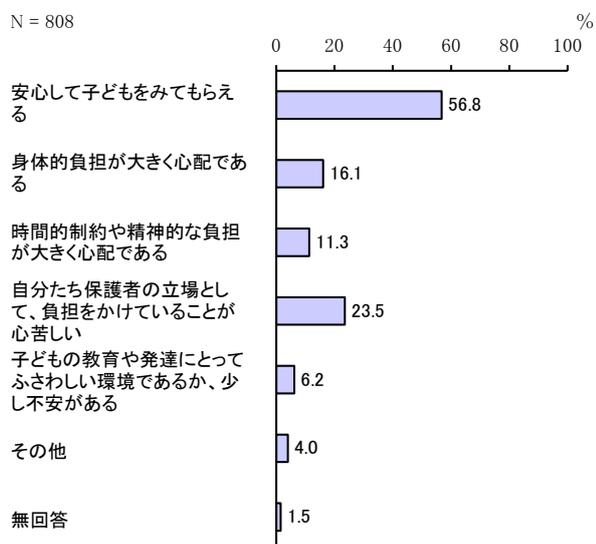
祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

0～2歳については、「安心して子どもをみてもらえる」の割合が56.8%と最も高く、次いで「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が23.5%、「身体的負担が大きく心配である」の割合が16.1%となっています。

3～5歳については、「安心して子どもをみてもらえる」の割合が52.2%と最も高く、次いで「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が29.8%、「身体的負担が大きく心配である」の割合が17.9%となっています。

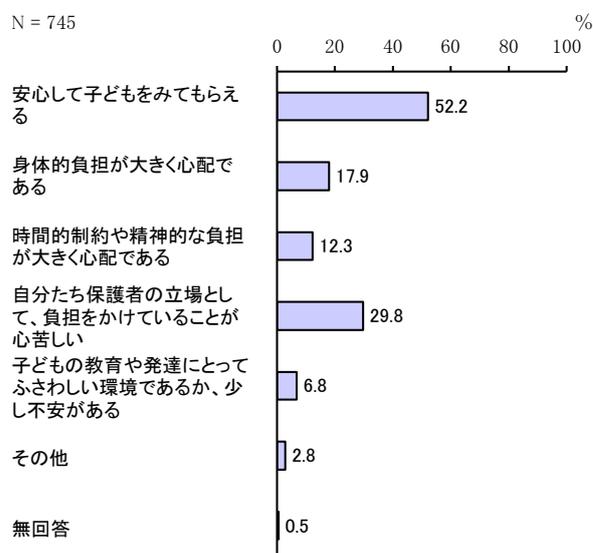
【0～2歳】

N = 808



【3～5歳】

N = 745



(3) 保護者の就労状況について

問8～問10は、あて名のお子さんの母親についてうかがいます。【父子家庭の場合は記入は不要です】

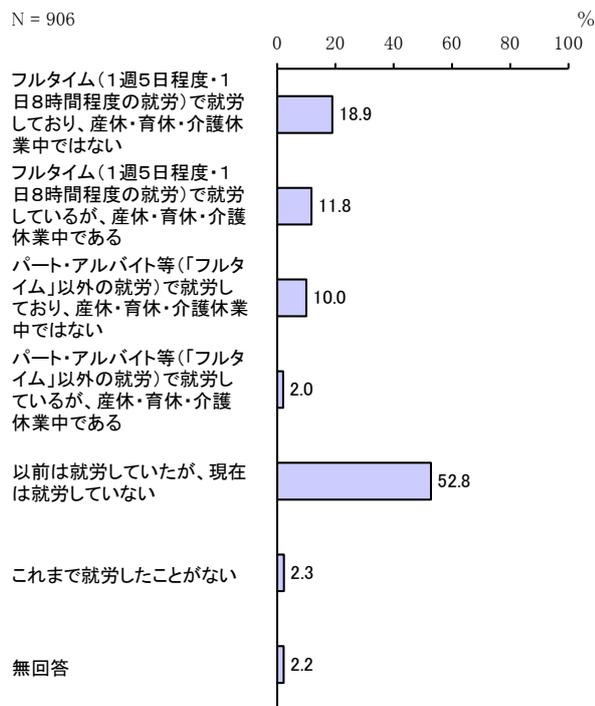
問8 母親の就労状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

0～2歳については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が52.8%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が18.9%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が11.8%となっています。

3～5歳については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が47.7%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が20.2%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が18.2%となっています。

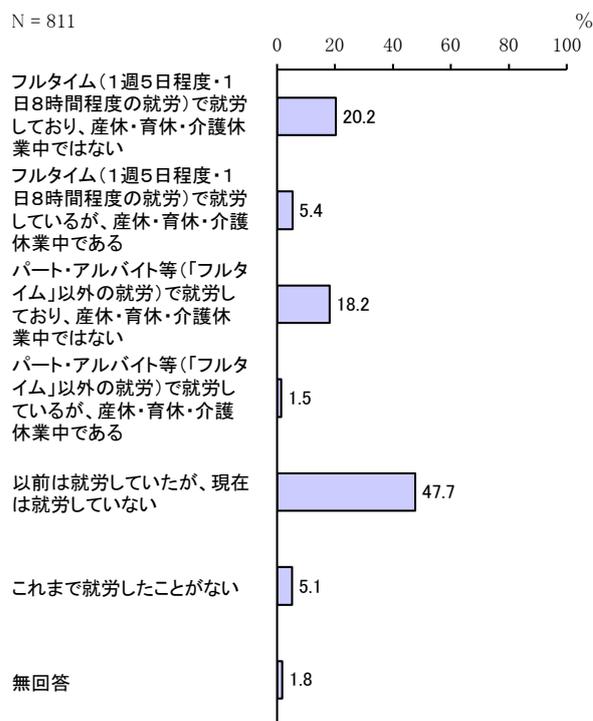
【0～2歳】

N = 906



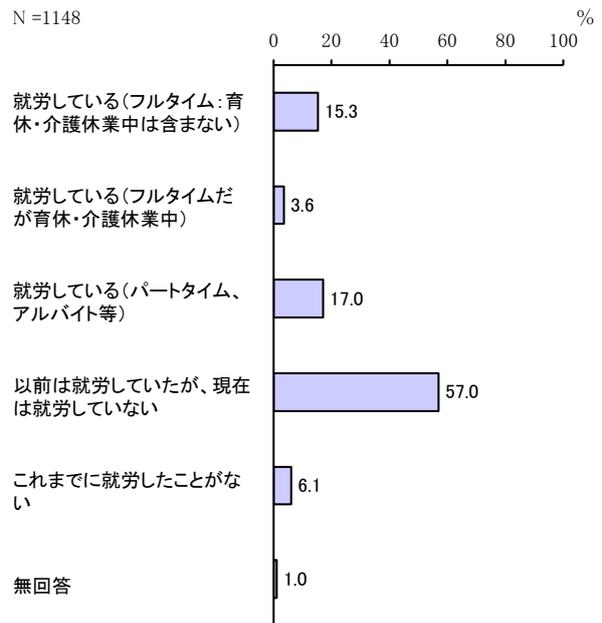
【3～5歳】

N = 811



【参考：前回調査結果】

前回調査（平成 20 年度実施、奈良市次世代育成支援に関するニーズ調査）では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 57.0%と今回より多くなっています（前回調査では 0～2 歳、3～5 歳として分けずに一括して調査しています）。



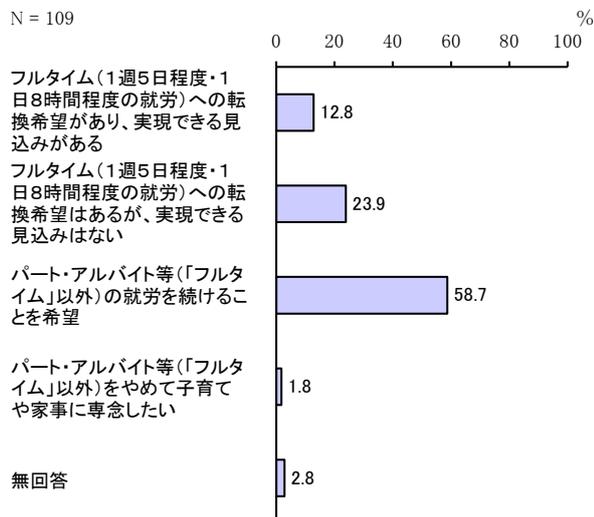
問9 問8で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

0～2歳については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が58.7%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が23.9%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が12.8%となっています。

3～5歳については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」の割合が57.5%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が28.1%となっています。

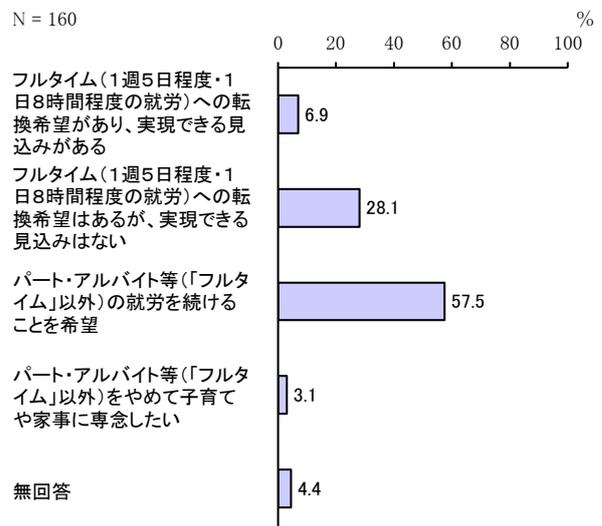
【0～2歳】

N = 109



【3～5歳】

N = 160



問10 問8で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
今後、就労したい希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する() 内には数字をご記入ください。

0～2歳の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が46.1%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が23.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が15.6%となっています。

一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについては、「2歳～3歳」の割合が35.7%と最も高く、次いで「6歳～7歳」の割合が24.8%、「4歳～5歳」の割合が20.9%となっています。

希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」の割合が67.9%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が29.5%となっています。

パートタイム、アルバイト等の1週当たり就労日数は、「3日」の割合が37.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が26.4%、「5日」の割合が18.9%となっています。

1日当たり就労時間は、「5時間」の割合が35.8%と最も高く、次いで「6時間」の割合が24.5%、「4時間」の割合が15.1%となっています。

3～5歳の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が47.9%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が22.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が15.0%となっています。

一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについては、「6歳～7歳」の割合が50.2%と最も高く、次いで「4歳～5歳」の割合が14.6%、「2歳～3歳」の割合が13.2%となっています。

希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」の割合が89.1%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が6.3%となっています。

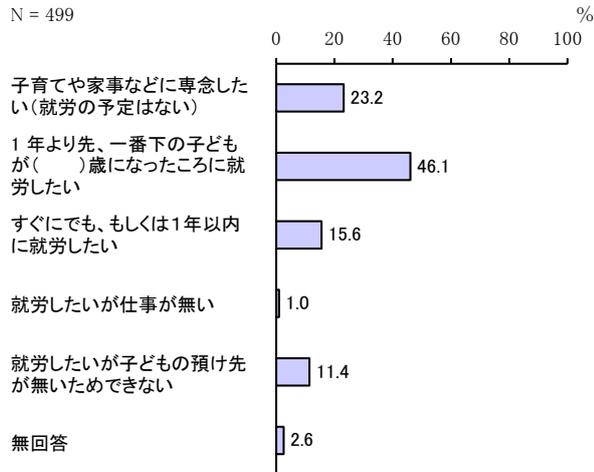
パートタイム、アルバイト等の1週当たり就労日数は、「3日」の割合が42.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が28.1%、「5日」の割合が12.3%となっています。

1日当たり就労時間は、「6時間」の割合が31.6%と最も高く、次いで「4時間」の割合が26.3%、「5時間」の割合が19.3%となっています。

就労希望

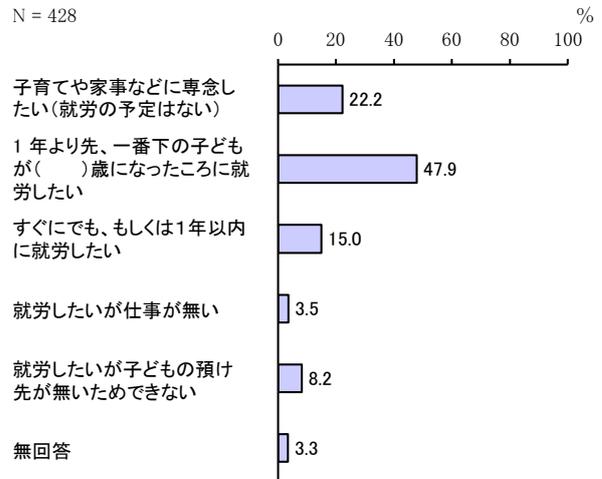
【0～2歳】

N = 499



【3～5歳】

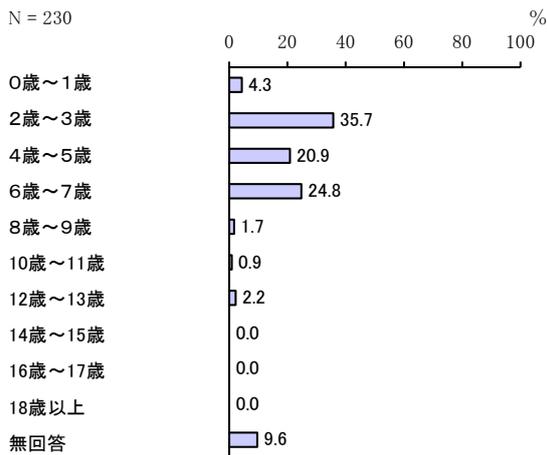
N = 428



1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい

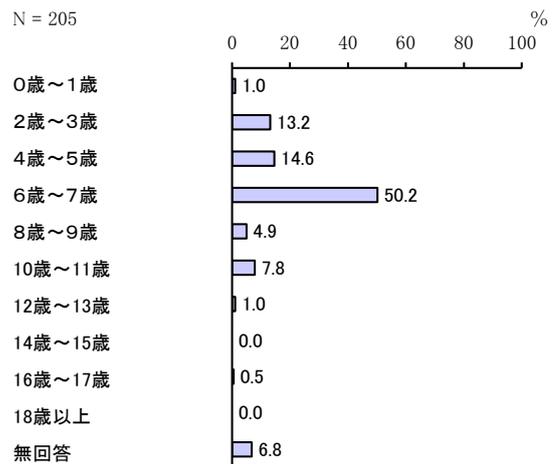
【0～2歳】

N = 230



【3～5歳】

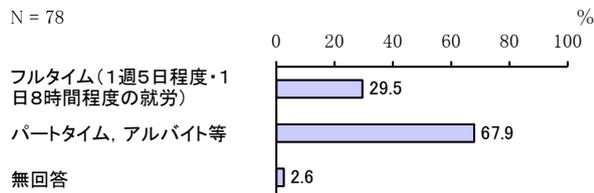
N = 205



希望する就労形態

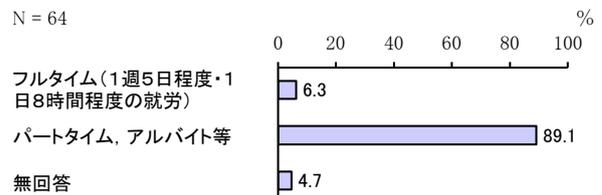
【0～2歳】

N = 78



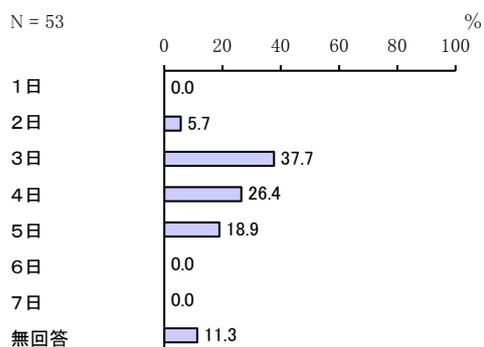
【3～5歳】

N = 64

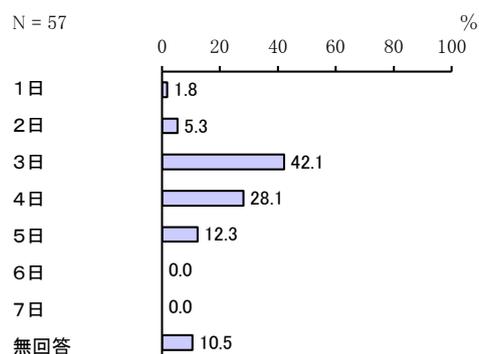


パートタイム、アルバイト等の1週当たり就労日数

【0～2歳】

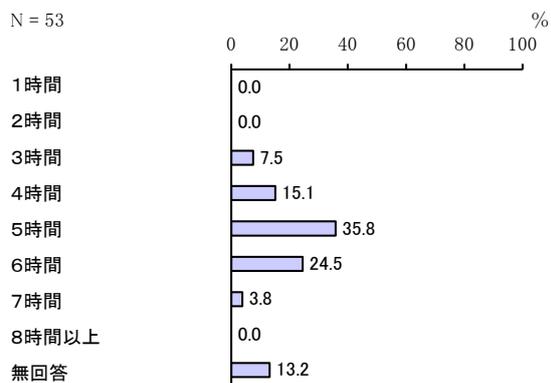


【3～5歳】

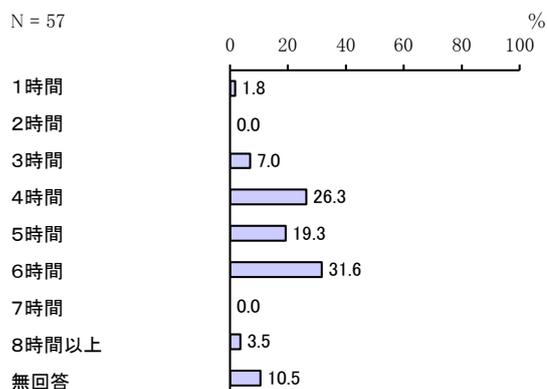


パートタイム、アルバイト等 1日当たり就労時間

【0～2歳】



【3～5歳】



問 11～問 13 は、あて名のお子さんの父親についてうかがいます。【母子家庭の場合は記入は不要です】

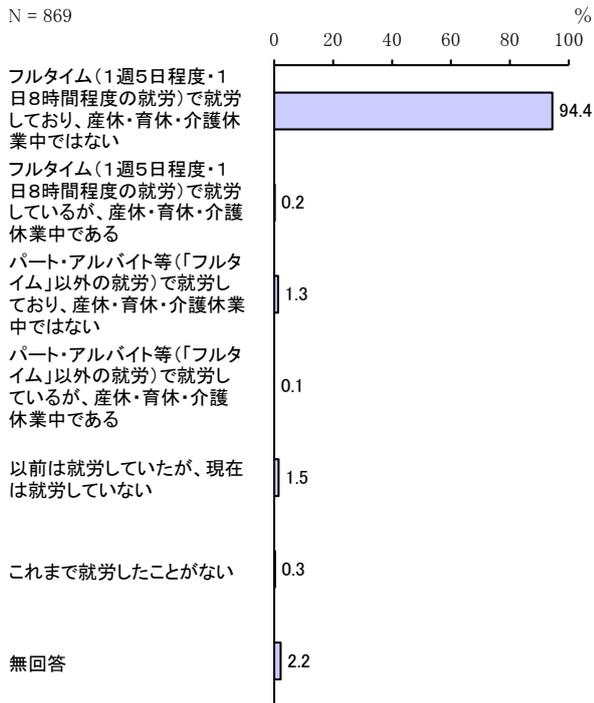
問 11 父親の就労状況について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

0～2歳については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が94.4%と最も高くなっています。

3～5歳については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が95.9%と最も高くなっています。

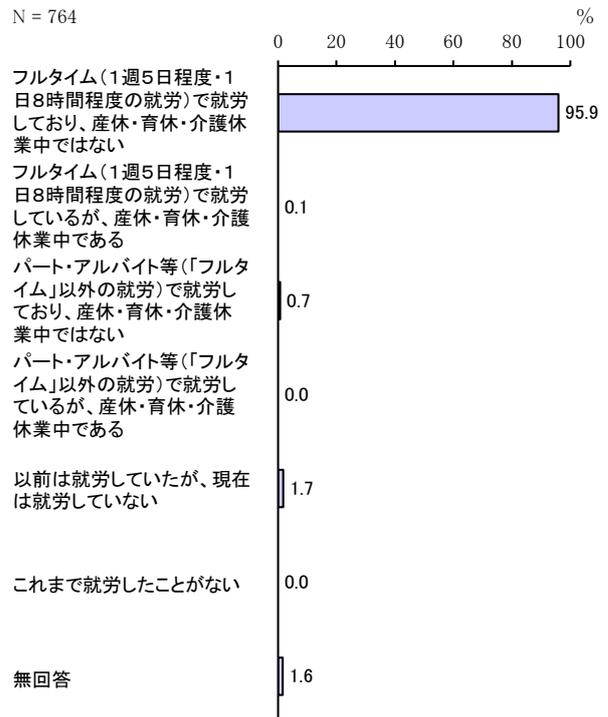
【0～2歳】

N = 869



【3～5歳】

N = 764

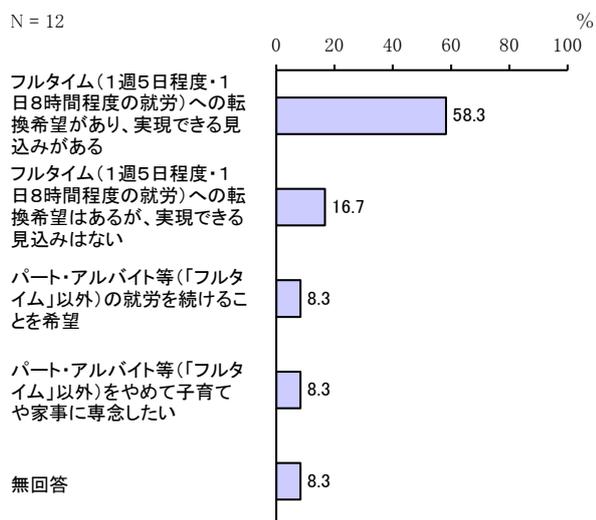


問12 問11で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

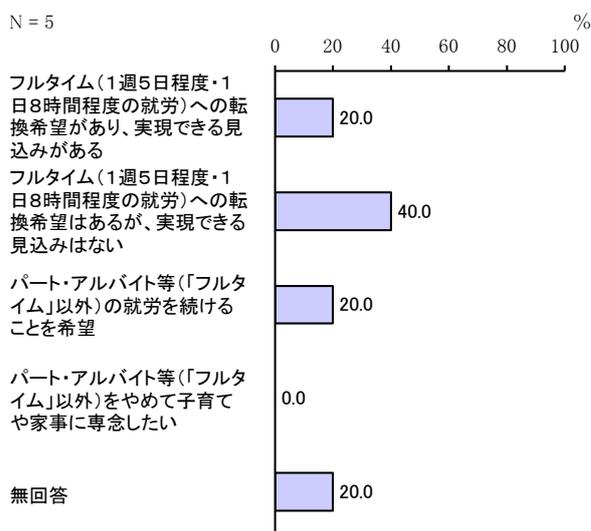
0～2歳については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が58.3%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が16.7%となっています。

3～5歳については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が2件、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が1件となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



問13 問11で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 今後、就労したい希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

0～2歳の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が62.5%と最も高くなっています。

一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについては、「2歳～3歳」が1件となっています。

希望する就労形態については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が90.0%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が10.0%となっています。1週当たりの就労日数は、「3日」が1件となっています。また、1日当たりの就労時間は、「5時間」が1件となっています。

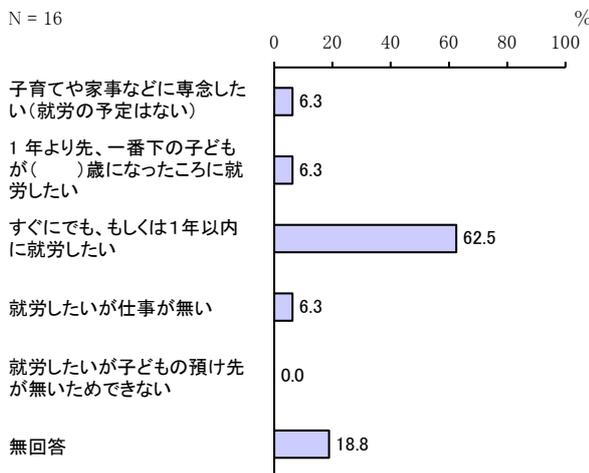
3～5歳については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が46.2%と最も高く、次いで「就労したいが仕事が無い」の割合が15.4%となっています。

一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについては、有効回答はありません。

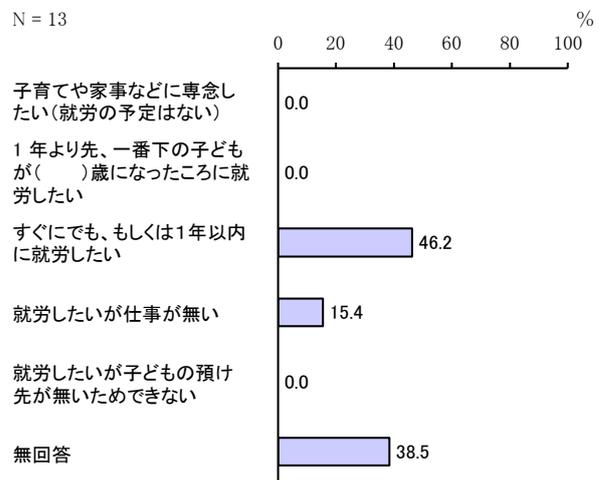
希望する就労形態については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が5件、「パートタイム、アルバイト等」が1件となっています。1週当たりの就労日数は、「5日」が1件となっています。また、1日当たりの就労時間は、「6時間」が1件となっています。

就労希望

【0～2歳】

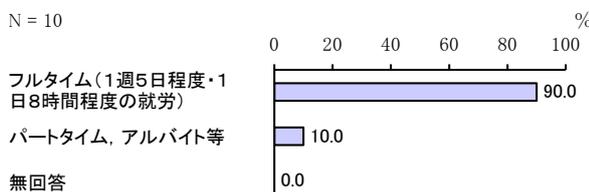


【3～5歳】



希望する就労形態

【0～2歳】



(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

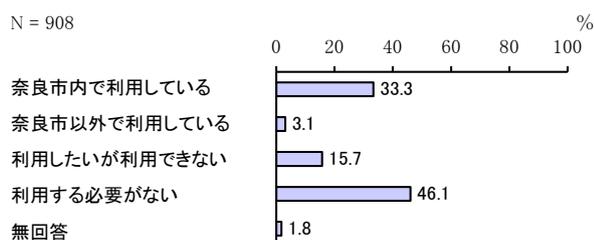
問 14 あて名のお子さんは現在、保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

0～2歳については、「利用する必要がない」の割合が46.1%と最も高く、次いで「奈良市内で利用している」の割合が33.3%、「利用したいが利用できない」の割合が15.7%となっています。

3～5歳については、「奈良市内で利用している」の割合が87.6%と最も高くなっています。

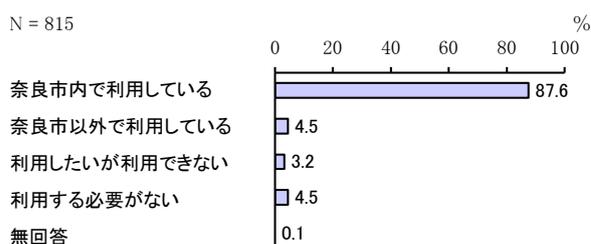
【0～2歳】

N = 908



【3～5歳】

N = 815



問 14-1～問 14-6は、問 14で「1. 奈良市内で利用している」または「2. 奈良市以外で利用している」に○をつけた方にうかがいます。

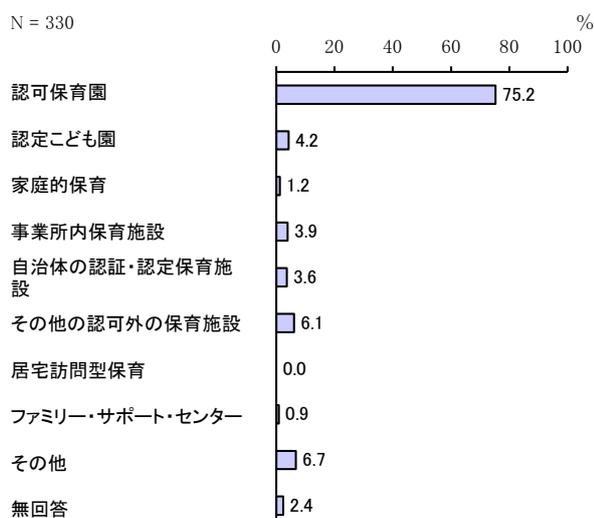
問 14-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

0～2歳については、「認可保育園」の割合が75.2%と最も高くなっています。

3～5歳については、「幼稚園」の割合が50.7%と最も高く、次いで「認可保育園」の割合が38.5%となっています。

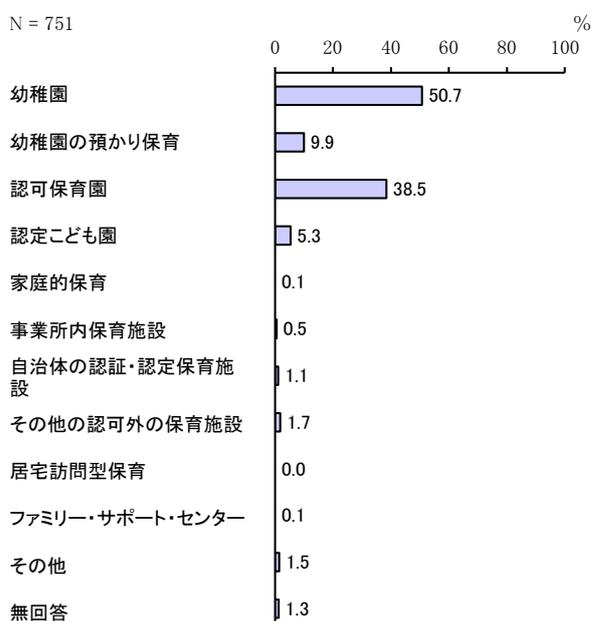
【0～2歳】

N = 330



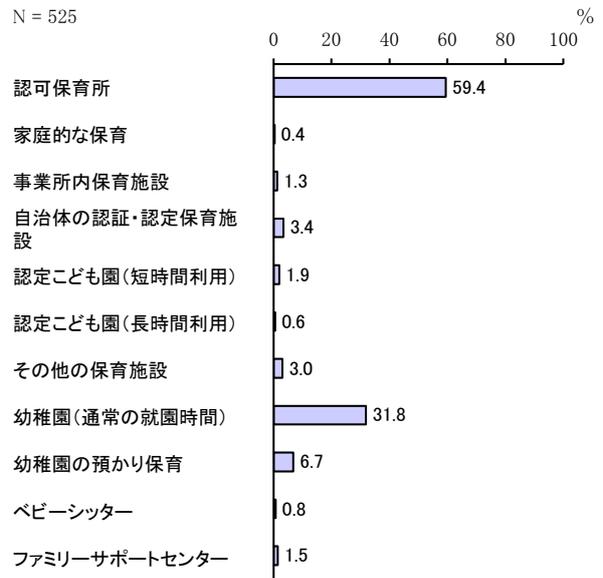
【3～5歳】

N = 751



【参考：前回調査結果】

前回調査（平成 20 年度実施、奈良市次世代育成支援に関するニーズ調査）では、「認可保育所」が 59.4%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」が 31.8%となっています（前回調査では 0～2 歳、3～5 歳として分けずに一括して調査しています）。



問 15 問 15～問 15-2 は、すべての方にかがいます。

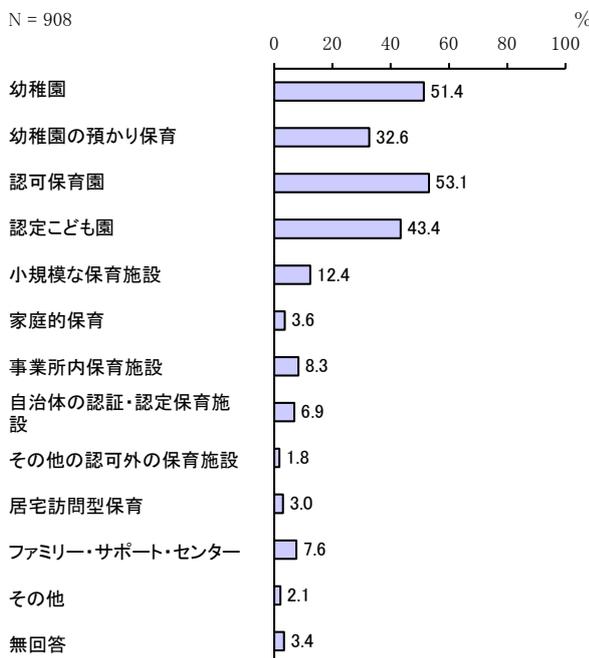
現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの
 平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお
 答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これ
 らの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。例えば、認可保育
 園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

0～2歳については、「認可保育園」の割合が53.1%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が51.4%、「認定こども園」の割合が43.4%となっています。

3～5歳については、「幼稚園」の割合が51.4%と最も高く、次いで「認可保育園」の割合が38.3%、「幼稚園の預かり保育」の割合が37.1%となっています。

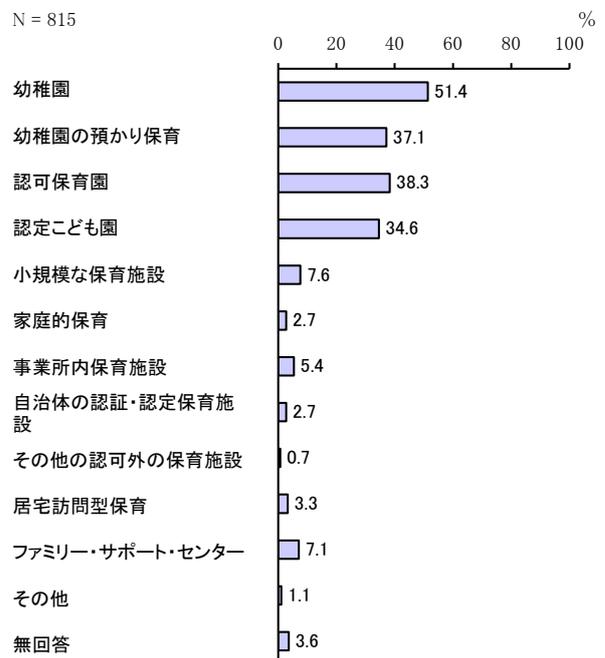
【0～2歳】

N = 908



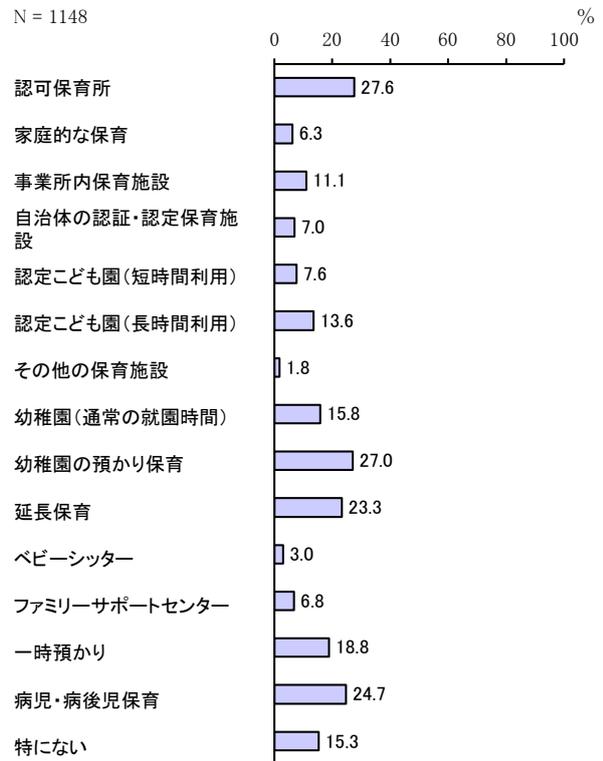
【3～5歳】

N = 815



【参考：前回調査結果】

前回調査（平成 20 年度実施、奈良市次世代育成支援に関するニーズ調査）では、「認可保育所」や「幼稚園の預かり保育」の希望が多いものの、今回調査に比べると割合は低くなっています（前回調査では 0～2 歳、3～5 歳として分けずに一括して調査しています）。



[家庭類型別：0～2歳]

単位：%

	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
ひとり親家庭	41	34.1	26.8	68.3	36.6	17.1	7.3	9.8
共働き	244	15.2	20.1	76.2	42.2	9.0	2.5	11.9
フルタイム×パートタイム(長時間)	72	33.3	33.3	68.1	37.5	18.1	8.3	6.9
フルタイム×パートタイム(短時間)	26	65.4	34.6	30.8	34.6	7.7	7.7	—
専業主婦(夫)	484	73.1	38.6	40.1	45.5	13.4	3.3	7.4
パートタイム×パートタイム(長時間)	1	—	100.0	100.0	—	—	—	—
パートタイム×パートタイム(短時間)	1	—	—	100.0	—	—	—	—
その他	7	57.1	14.3	28.6	71.4	14.3	—	—

	有効回答数 (件)	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外の保 育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
ひとり親家庭	41	7.3	2.4	7.3	9.8	2.4	12.2
共働き	244	5.7	2.0	4.5	10.2	2.9	2.0
フルタイム×パートタイム(長時間)	72	9.7	1.4	4.2	8.3	1.4	4.2
フルタイム×パートタイム(短時間)	26	—	—	3.8	7.7	—	7.7
専業主婦(夫)	484	7.4	1.7	1.9	6.6	2.1	2.3
パートタイム×パートタイム(長時間)	1	—	—	—	—	—	—
パートタイム×パートタイム(短時間)	1	—	—	—	—	—	—
その他	7	14.3	—	—	—	—	—

[家庭類型別：3～5歳]

単位：%

	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
ひとり親家庭	55	21.8	21.8	63.6	32.7	7.3	1.8	7.3
共働き	177	13.0	16.4	73.4	33.9	9.6	3.4	10.2
フルタイム×パートタイム(長時間)	105	15.2	13.3	68.6	31.4	8.6	1.0	3.8
フルタイム×パートタイム(短時間)	43	67.4	55.8	18.6	23.3	4.7	4.7	2.3
専業主婦(夫)	402	78.6	51.7	13.7	37.8	7.2	3.0	4.2
パートタイム×パートタイム(長時間)	0	—	—	—	—	—	—	—
パートタイム×パートタイム(短時間)	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—
その他	7	85.7	57.1	28.6	28.6	—	—	—

	有効回答数 (件)	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外の保 育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
ひとり親家庭	55	3.6	—	5.5	5.5	—	7.3
共働き	177	4.0	1.1	5.6	11.3	0.6	2.3
フルタイム×パートタイム(長時間)	105	1.9	—	1.9	10.5	1.0	6.7
フルタイム×パートタイム(短時間)	43	2.3	—	2.3	4.7	—	2.3
専業主婦(夫)	402	2.2	0.7	2.7	5.5	1.7	2.7
パートタイム×パートタイム(長時間)	0	—	—	—	—	—	—
パートタイム×パートタイム(短時間)	1	—	—	—	—	—	—
その他	7	—	—	—	—	—	—

[母親の就労状況別：0～2歳]

単位：%

	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	171	19.9	25.1	64.9	38.0	6.4	2.3	13.5
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	107	14.0	15.9	89.7	45.8	15.0	4.7	11.2
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	91	30.8	30.8	59.3	35.2	12.1	4.4	2.2
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	18	66.7	50.0	72.2	38.9	22.2	16.7	5.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	478	73.2	38.3	40.4	46.7	13.6	3.6	7.5
これまで就労したことがない	21	71.4	38.1	42.9	42.9	23.8	—	—

	有効回答数(件)	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外の保 育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	171	4.1	1.8	7.0	11.1	4.1	4.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	107	9.3	2.8	1.9	8.4	0.9	0.9
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	91	5.5	—	3.3	7.7	1.1	7.7
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	18	16.7	5.6	5.6	16.7	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	478	6.9	1.7	1.9	6.3	2.1	2.5
これまで就労したことがない	21	14.3	4.8	—	4.8	—	—

[母親の就労状況別：3～5歳]

単位：%

	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	164	11.0	12.8	75.6	32.3	9.1	2.4	8.5
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	44	22.7	27.3	63.6	36.4	9.1	4.5	15.9
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	148	29.1	24.3	54.1	28.4	8.1	2.7	3.4
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	50.0	58.3	50.0	33.3	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	387	77.5	51.9	15.0	38.8	7.0	3.1	3.9
これまで就労したことがない	41	70.7	39.0	22.0	26.8	7.3	—	7.3

	有効回答数 (件)	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外の保 育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	164	3.7	1.2	4.9	10.4	0.6	2.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	44	4.5	—	9.1	13.6	—	2.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	148	2.0	—	2.0	8.1	0.7	6.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	—	—	8.3	8.3	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	387	2.3	0.8	2.6	5.2	1.8	3.1
これまで就労したことがない	41	2.4	—	2.4	4.9	—	4.9

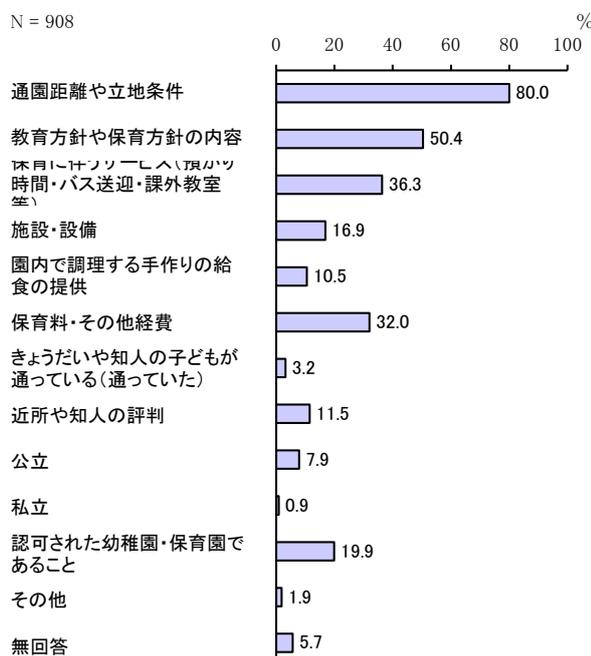
問 15-2 今後、新たに幼稚園や保育園等を選ぶことを想定した場合、重視することはどのようなことですか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

0～2歳については、「通園距離や立地条件」の割合が80.0%と最も高く、次いで「教育方針や保育方針の内容」の割合が50.4%、「保育に伴うサービス（預かり時間・バス送迎・課外教室等）」の割合が36.3%となっています。

3～5歳については、「通園距離や立地条件」の割合が75.3%と最も高く、次いで「教育方針や保育方針の内容」の割合が48.5%、「保育に伴うサービス（預かり時間・バス送迎・課外教室等）」の割合が41.8%となっています。

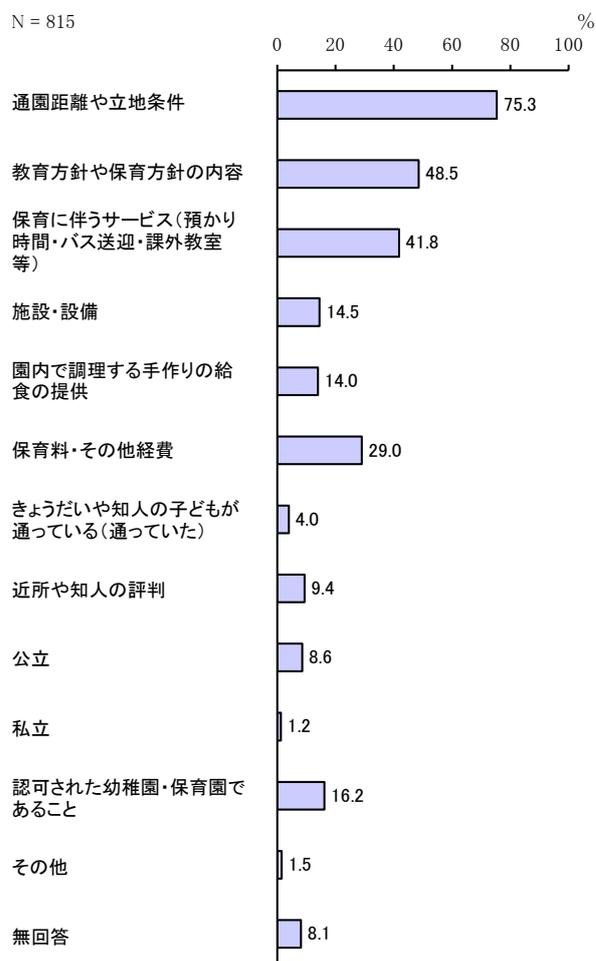
【0～2歳】

N = 908



【3～5歳】

N = 815



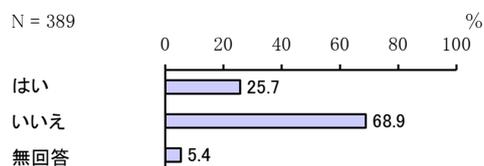
(5) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(3～5歳のみ)

「幼稚園」を利用している方にうかがいます。

問17 「幼稚園の預かり保育」を平日に定期的に利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

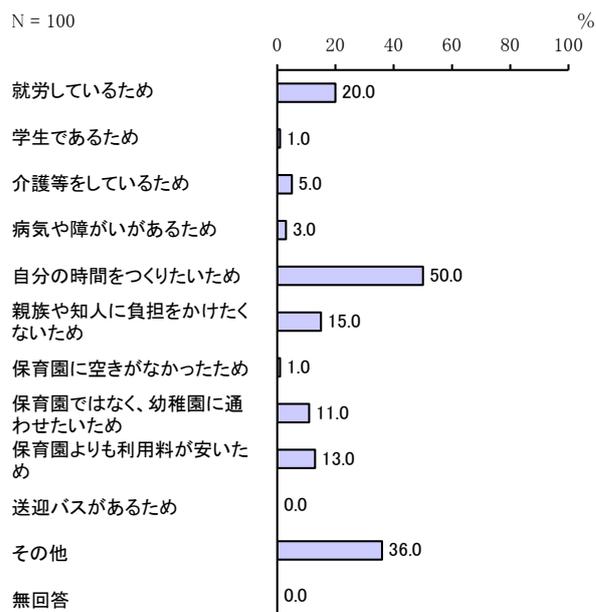
3～5歳については、「はい」の割合が25.7%、「いいえ」の割合が68.9%となっています。



(3～5歳のみ) 問17-1 問17で、「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。

「幼稚園の預かり保育」を平日に定期的に利用している理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

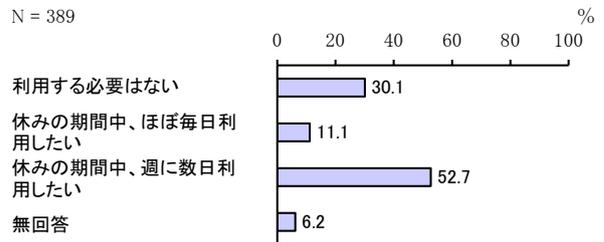
3～5歳については、「自分の時間をつくりたいため」の割合が50.0%と最も高く、次いで「就労しているため」の割合が20.0%、「親族や知人に負担をかけたくないため」の割合が15.0%となっています。



(3～5歳のみ)

問17-2 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の預かり保育の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、預かり保育の利用には、一定の利用者負担が発生します。

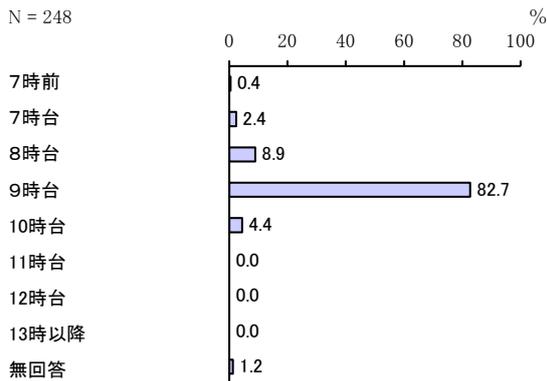
3～5歳については、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が52.7%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が30.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が11.1%となっています。



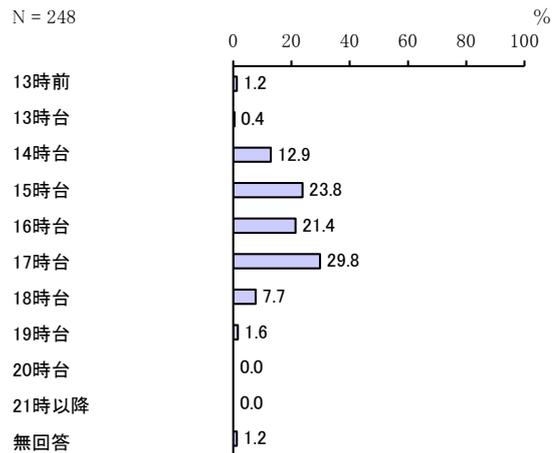
利用開始時間は、「9時台」の割合が82.7%と最も高くなっています。

利用終了時間は、「17時台」の割合が29.8%と最も高く、次いで「15時台」の割合が23.8%、「16時台」の割合が21.4%となっています。

利用開始時刻



利用終了時刻



(6) 病気の際の対応について

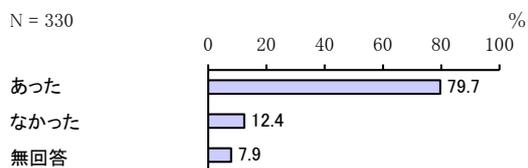
問 17 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方（問 14 で「1.」または「2.」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、【問 18】へお進みください。
この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

0～2歳については、「あった」の割合が79.7%、「なかった」の割合が12.4%となっています。

3～5歳については、「あった」の割合が69.1%、「なかった」の割合が24.9%となっています。

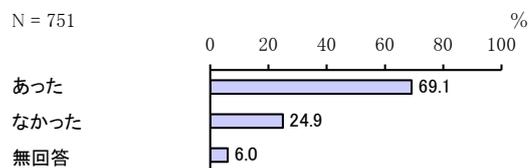
【0～2歳】

N = 330



【3～5歳】

N = 751



問 17-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

0～2歳については、「母親が休んだ」の割合が81.7%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が52.9%、「父親が休んだ」の割合が31.6%となっています。

父親が休んだ日数は、「2～3日」の割合が36.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.5%、「4～5日」の割合が13.3%となっています。

母親が休んだ日数は、「10～19日」の割合が33.0%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が19.1%、「20日以上」の割合が14.0%となっています。

(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった日数は、「10～19日」の割合が23.0%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が21.6%、「4～5日」の割合が18.0%となっています。

父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数は、「4～5日」の割合が25.9%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が18.5%、「1日」の割合が14.8%となっています。

病児・病後児の保育を利用した日数は、「2～3日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「1日」、「4～5日」、「10～19日」の割合が16.7%となっています。

ベビーシッターを利用した日数、ファミリー・サポート・センターを利用した日数、仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数は、有効回答はありません。

その他の日数は、「1日」が3件、「2～3日」が1件となっています。

3～5歳については、「母親が休んだ」の割合が52.2%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が37.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が32.9%となっています。

父親が休んだ日数は、「2～3日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が19.8%、「4～5日」の割合が13.5%となっています。

母親が休んだ日数は、「2～3日」の割合が29.9%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が21.4%、「4～5日」の割合が13.7%となっています。

(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった日数は、「2～3日」の割合が24.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が17.5%、「10～19日」の割合が17.0%となっています。

父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数は、「2～3日」の割合が26.0%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が18.2%、「4～5日」の割合が16.1%となっています。

病児・病後児の保育を利用した日数は、「2～3日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「1日」、「4～5日」の割合が20.0%となっています。

ベビーシッターを利用した日数、ファミリー・サポート・センターを利用した日数は、有効回答はありません。

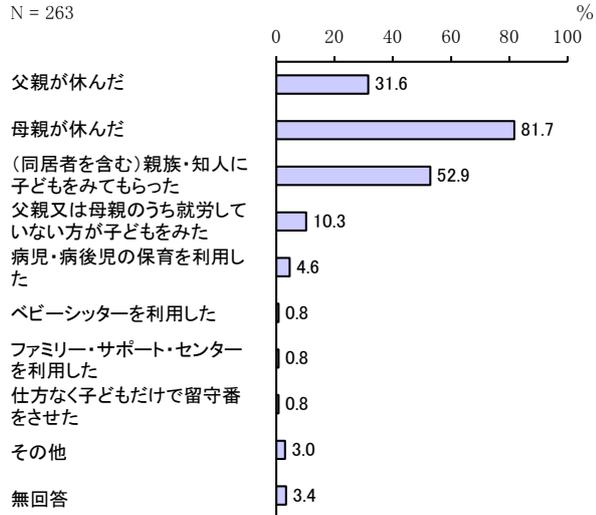
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数は、「4～5日」が1件となっています。

その他の日数は、「4～5日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が23.5%、「2～3日」の割合が11.8%となっています。

1年間の対応

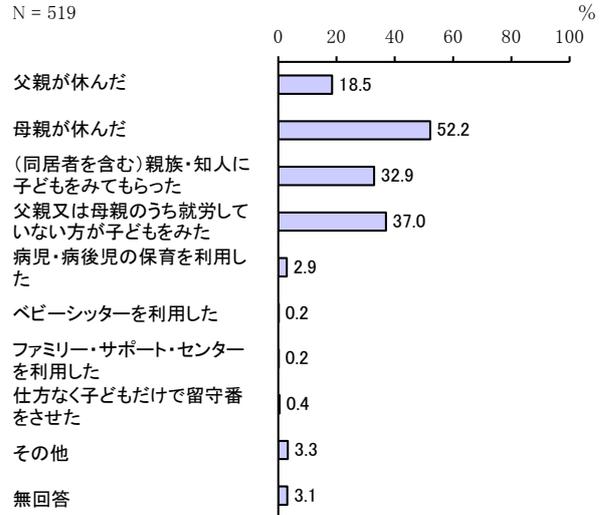
【0～2歳】

N = 263



【3～5歳】

N = 519



[母親の就労状況別：0～2歳]

単位：%

母親の就労状況	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	144	36.1	86.1	61.8	6.3	5.6	1.4	1.4	1.4	0.7	2.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	28	50.0	85.7	60.7	7.1	—	—	—	—	—	7.1
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	57	24.6	93.0	43.9	7.0	7.0	—	—	—	3.5	1.8
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	50.0	75.0	50.0	25.0	—	—	—	—	—	25.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	21	—	28.6	9.5	42.9	—	—	—	—	19.0	9.5
これまで就労したことがない	2	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—

[母親の就労状況別：3～5歳]

単位：%

	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	142	41.5	83.8	67.6	4.9	9.2	0.7	0.7	0.7	2.1	2.8
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	37	24.3	64.9	45.9	27.0	2.7	—	—	—	5.4	2.7
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	113	11.5	80.5	32.7	8.8	—	—	—	—	3.5	3.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	—	75.0	37.5	37.5	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	185	5.9	13.0	6.5	77.3	0.5	—	—	—	3.2	2.7
これまで就労したことがない	20	—	20.0	—	70.0	—	—	—	—	5.0	5.0

[家庭類型別：0～2歳]

単位：%

	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 人に子どもをみてもらった	親族・知 人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労して いない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用 した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・セ ンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守 番をさせた	その他	無回答
ひとり親家庭	21	—	61.9	66.7	4.8	4.8	—	—	—	—	4.8	4.8
共働き	154	41.6	88.3	61.0	7.1	4.5	1.3	1.3	1.3	0.6	2.6	2.6
フルタイム ×パートタイム(長時間)	49	24.5	91.8	46.9	8.2	8.2	—	—	—	—	2.0	2.0
フルタイム ×パートタイム(短時間)	6	50.0	100.0	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—
専業主婦(夫)	23	8.7	30.4	13.0	43.5	—	—	—	—	—	17.4	8.7
パートタイム ×パートタイム(長時間)	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パートタイム ×パートタイム(短時間)	1	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
その他	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

[家庭類型別：3～5歳]

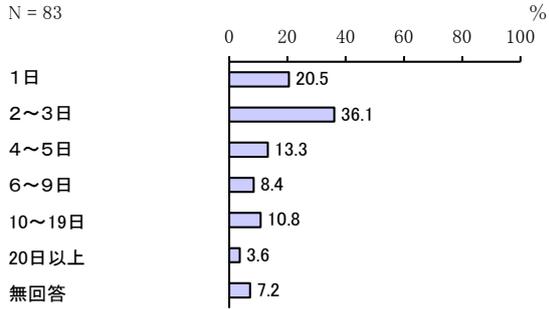
単位：%

	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 人に子どもをみてもらった	親族・知 人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労して いない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用 した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・セ ンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守 番をさせた	その他	無回答
ひとり親家庭	37	5.4	59.5	64.9	10.8	2.7	—	—	—	—	5.4	—
共働き	154	44.2	81.2	61.7	10.4	7.8	0.6	0.6	0.6	0.6	2.6	2.6
フルタイム ×パートタイム(長時間)	83	13.3	89.2	34.9	4.8	—	—	—	—	—	2.4	3.6
フルタイム ×パートタイム(短時間)	30	6.7	53.3	26.7	26.7	—	—	—	—	—	3.3	6.7
専業主婦(夫)	195	4.6	15.4	5.6	76.9	1.0	—	—	—	—	3.6	2.1
パートタイム ×パートタイム(長時間)	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パートタイム ×パートタイム(短時間)	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
その他	7	14.3	—	—	57.1	—	—	—	—	—	—	28.6

父親が休んだ日数

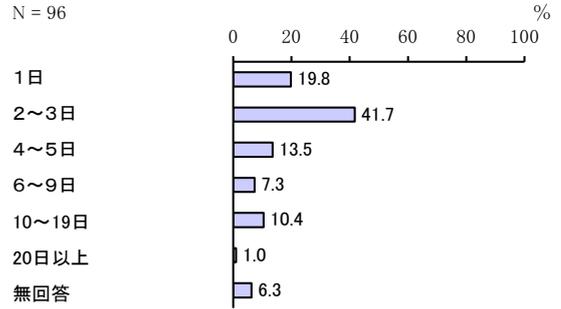
【0～2歳】

N = 83



【3～5歳】

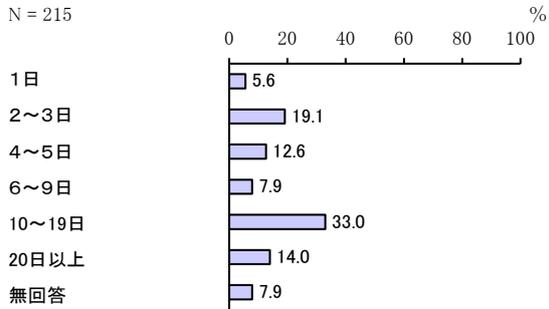
N = 96



母親が休んだ日数

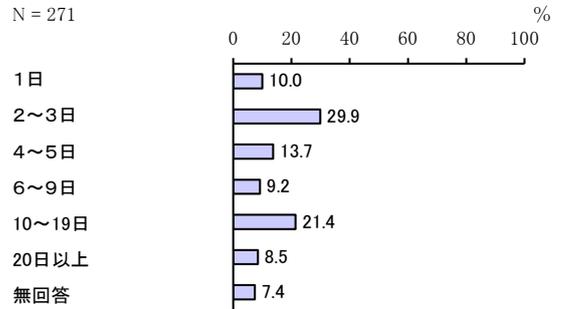
【0～2歳】

N = 215



【3～5歳】

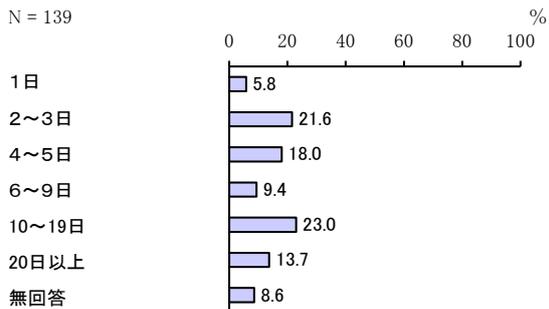
N = 271



(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

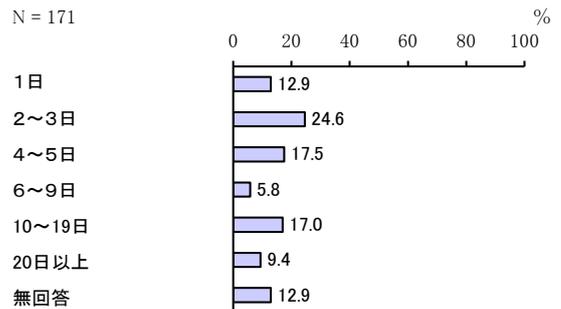
【0～2歳】

N = 139



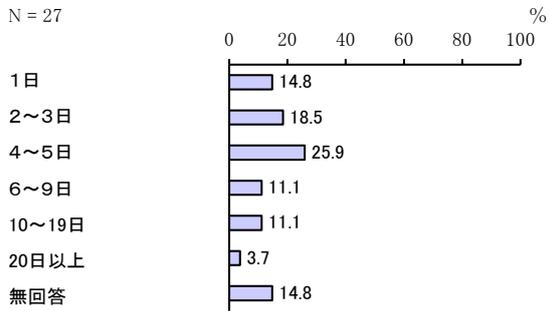
【3～5歳】

N = 171

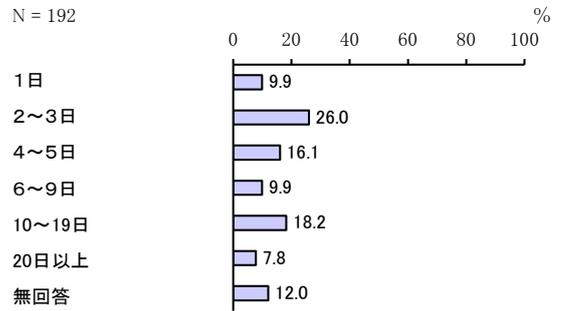


父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

【0～2歳】

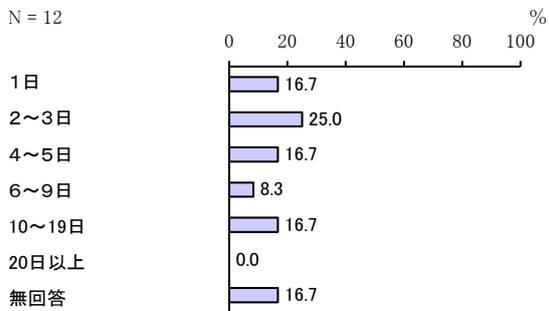


【3～5歳】

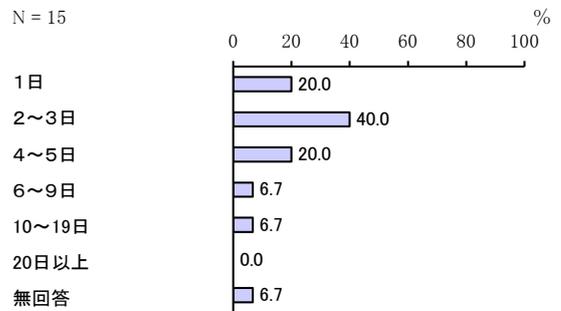


病児・病後児の保育を利用した日数

【0～2歳】

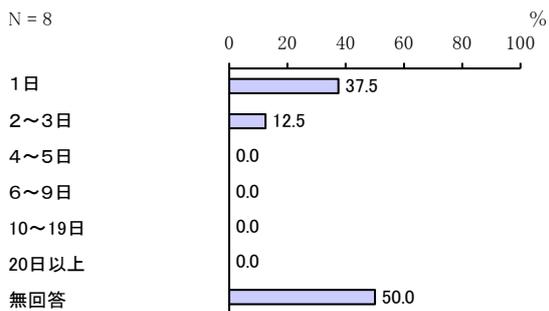


【3～5歳】

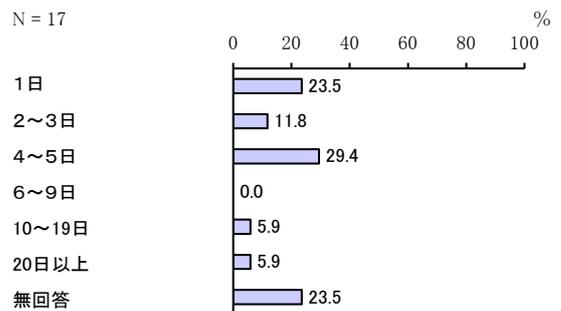


その他

【0～2歳】



【3～5歳】



問 17-2 問 17-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

0～2歳については、「できれば利用したかった」の割合が 42.9%、「利用したいとは思わなかった」の割合が 56.2%となっています。

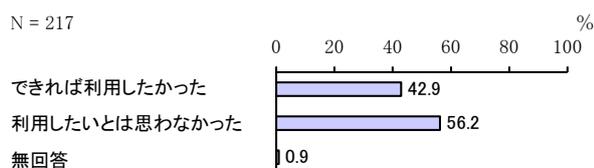
「できれば利用したかった」と回答した人が利用したかった日数は、「4～5日」の割合が 23.7%と最も高く、次いで「2～3日」、「10～19日」の割合が 21.5%となっています。

3～5歳については、「利用したいとは思わなかった」の割合が 60.0%、「できれば利用したかった」の割合が 38.3%となっています。

「できれば利用したかった」と回答した人が利用したかった日数は、「2～3日」の割合が 31.5%と最も高く、次いで「4～5日」、「10～19日」の割合が 16.2%となっています。

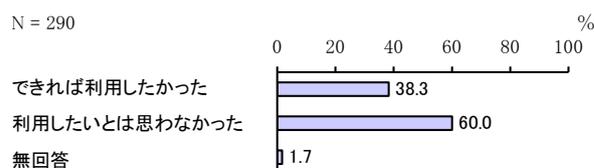
【0～2歳】

N = 217



【3～5歳】

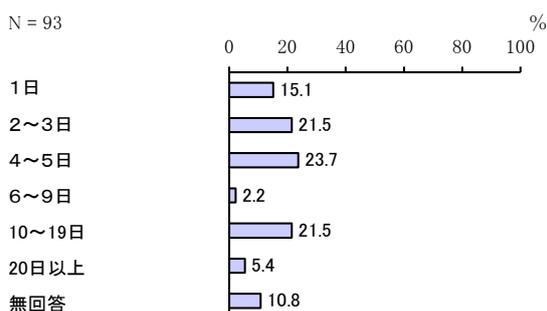
N = 290



利用したかった日数

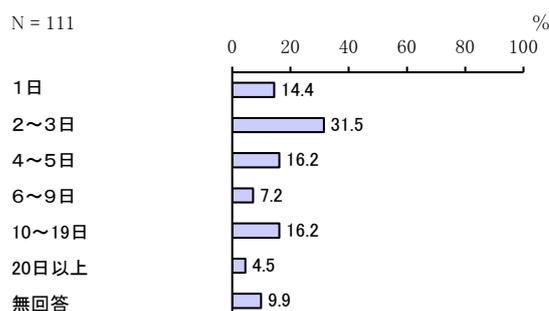
【0～2歳】

N = 93



【3～5歳】

N = 111



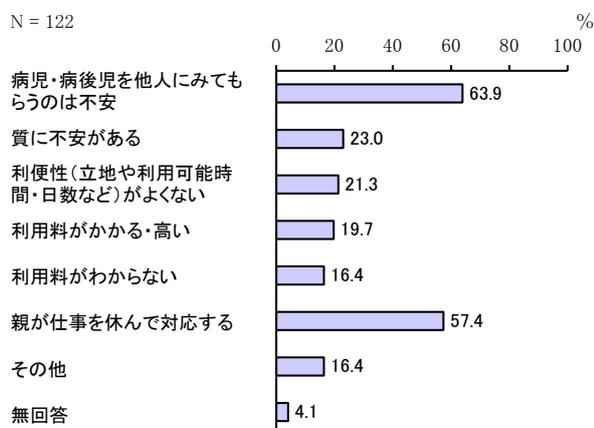
問 17-4 問 17-2 で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思う理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

0～2歳については、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が63.9%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が57.4%、「質に不安がある」の割合が23.0%となっています。

3～5歳については、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が60.3%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が45.4%、「利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」の割合が15.5%となっています。

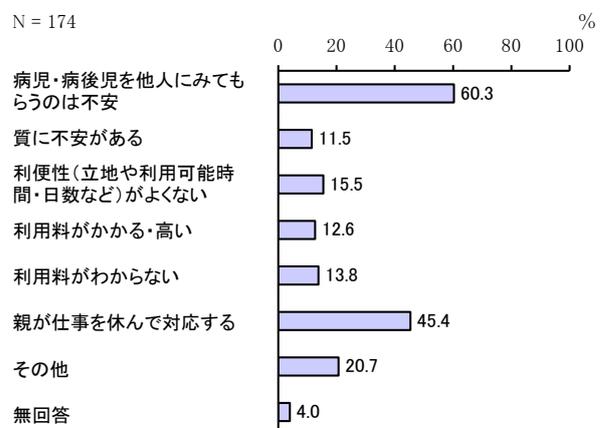
【0～2歳】

N = 122



【3～5歳】

N = 174



(7) 地域の子育て支援事業の利用状況について

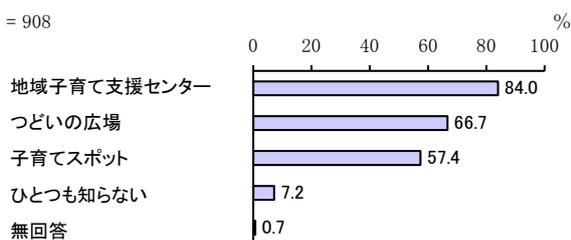
問 18 奈良市では、地域の子育て支援のために次のような事業を行っていますが、知っているものすべてに○をつけてください。

0～2歳については、「地域子育て支援センター」の割合が84.0%と最も高く、次いで「つどいの広場」の割合が66.7%、「子育てスポット」の割合が57.4%となっています。

3～5歳については、「地域子育て支援センター」の割合が68.8%と最も高く、次いで「つどいの広場」の割合が56.9%、「子育てスポット」の割合が51.5%となっています。

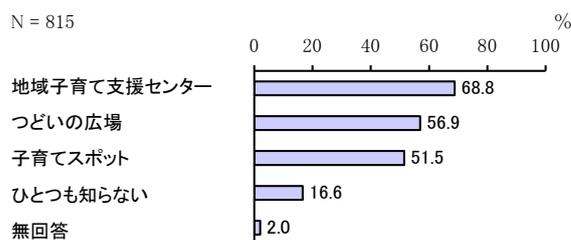
【0～2歳】

N = 908



【3～5歳】

N = 815



問 19 あて名のお子さんは、現在、「地域子育て支援センター」、「つどいの広場」、「子育てスポット」を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

0～2歳の利用している事業については、「利用していない」の割合が52.6%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター」の割合が30.8%、「つどいの広場」の割合が22.5%となっています。

地域子育て支援センターの1週当たりの利用日数は、「1日」の割合が19.6%と最も高くなっています。また、1ヶ月当たりの利用日数は、「1日」の割合が36.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.1%となっています。

つどいの広場の1週当たりの利用日数は、「1日」の割合が17.2%と最も高くなっています。また、1ヶ月当たりの利用日数は、「1日」の割合が33.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.6%となっています。

子育てスポットの1週当たりの利用日数は、「1日」の割合が10.5%と最も高くなっています。また、1ヶ月当たりの利用日数は、「1日」の割合が40.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が30.9%となっています。

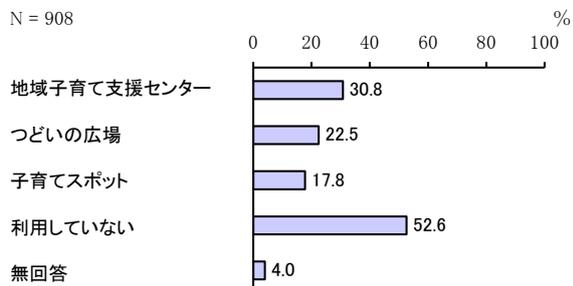
3～5歳の利用している事業については、「利用していない」の割合が85.3%と最も高くなっています。

地域子育て支援センターの1週当たりの利用日数については、「1日」の割合が13.2%と最も高くなっています。また、1ヶ月当たりの利用日数については、「1日」の割合が47.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.2%となっています。

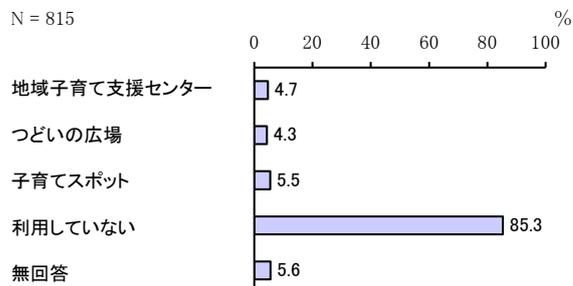
つどいの広場の1週当たりの利用日数は、「1日」の割合が14.3%と最も高くなっています。また、1ヶ月当たりの利用日数は、「1日」の割合が51.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が14.3%となっています。

子育てスポットの1週当たりの利用日数は、「1日」の割合が4.4%となっています。また、1ヶ月当たりの利用日数は、「1日」の割合が51.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.0%となっています。

【0～2歳】

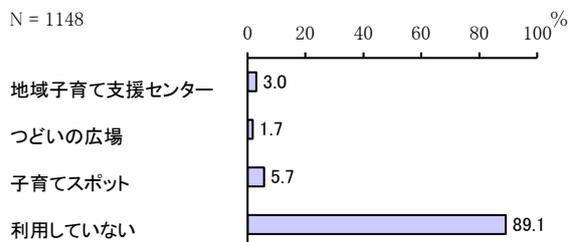


【3～5歳】



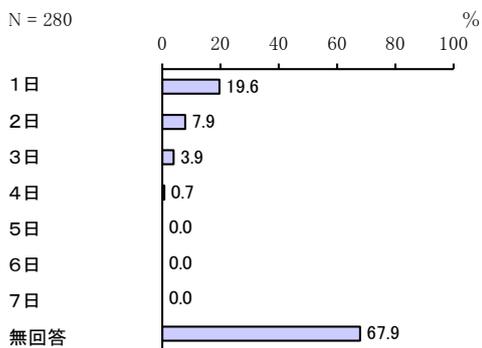
【参考：前回調査結果】

前回調査（平成20年度実施、奈良市次世代育成支援に関するニーズ調査）では、「利用していない」が89.1%と今回より多くなっています（前回調査では0～2歳、3～5歳として分けず一括して調査しています）。

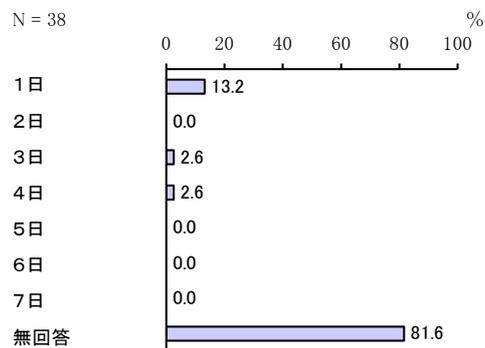


地域子育て支援センター 1週あたり利用日数

【0～2歳】

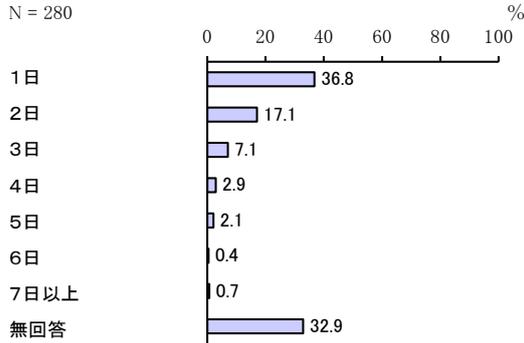


【3～5歳】

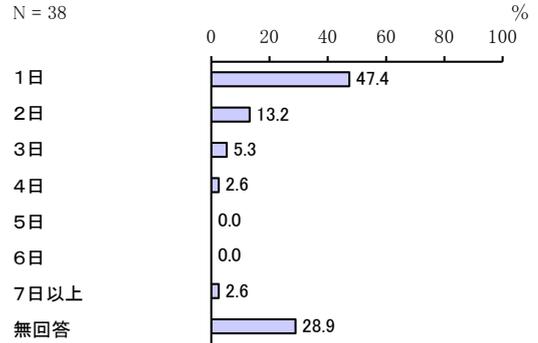


地域子育て支援センター 1ヶ月あたり利用日数

【0～2歳】

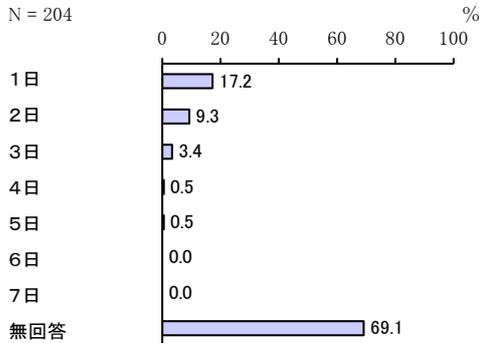


【3～5歳】

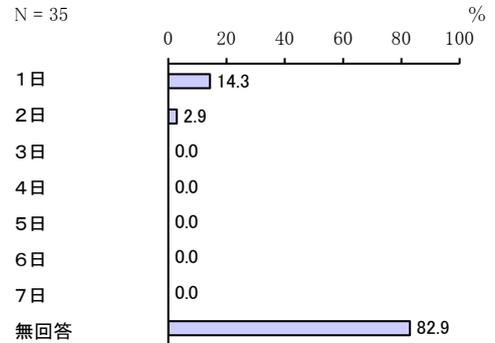


つどいの広場 1週あたり利用日数

【0～2歳】

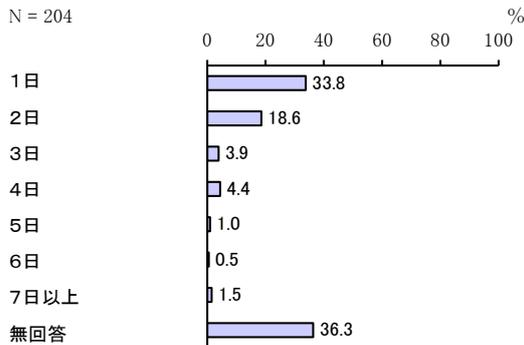


【3～5歳】

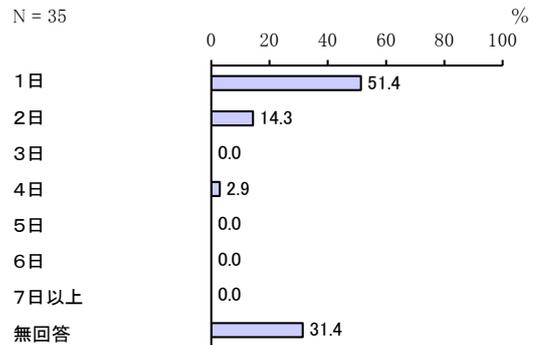


つどいの広場 1ヶ月あたり利用日数

【0～2歳】

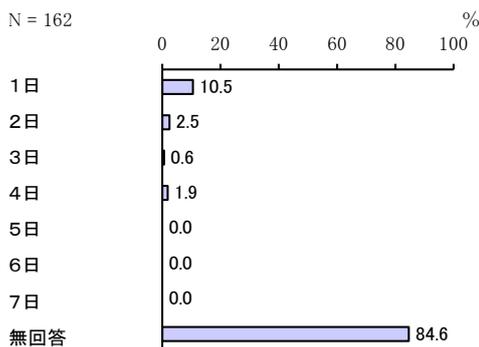


【3～5歳】

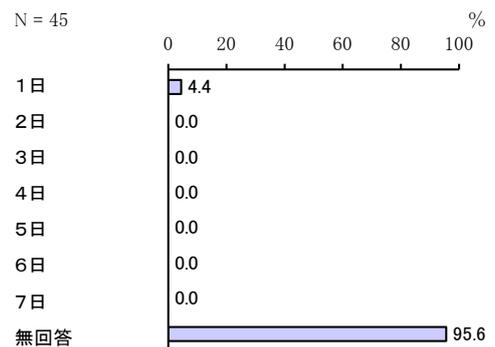


子育てスポット 1週あたり利用日数

【0～2歳】



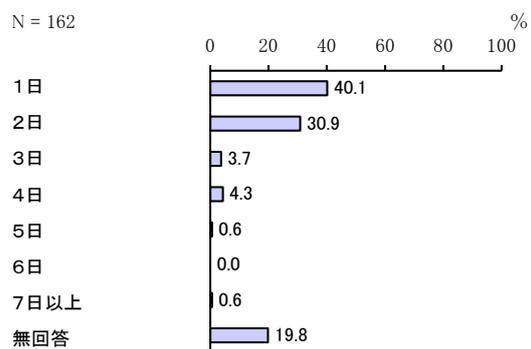
【3～5歳】



子育てスポット 1ヶ月あたり利用日数

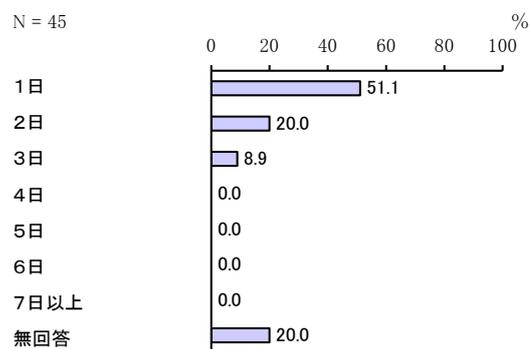
【0～2歳】

N = 162



【3～5歳】

N = 45



問20 問18のような地域の子育て支援のための事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

0～2歳については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が40.3%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が29.8%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が25.6%となっています。

「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の1週当たりの希望利用回数は、「1日」の割合が31.4%と最も高くなっています。また、1月当たりの希望利用回数は、「1日」の割合が28.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.9%となっています。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の1週当たりの増やしたい回数は、「1日」の割合が28.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が11.2%となっています。また、1月当たりの希望利用回数は、「2日」の割合が18.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が11.6%となっています。

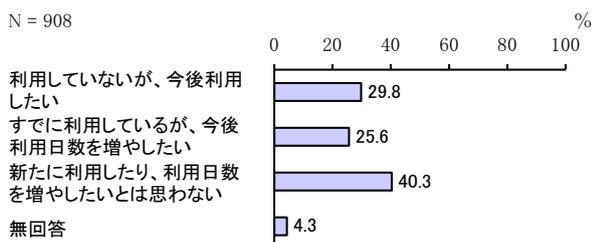
3～5歳については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が66.3%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が22.9%となっています。

「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の1週当たりの希望利用回数は、「1日」の割合が26.7%と最も高くなっています。また、1月当たりの希望利用回数は、「1日」の割合が30.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が24.1%となっています。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の1週当たりの増やしたい回数は、「1日」の割合が20.6%と最も高くなっています。また、1月当たりの希望利用回数は、「2日」の割合が23.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が11.8%となっています。

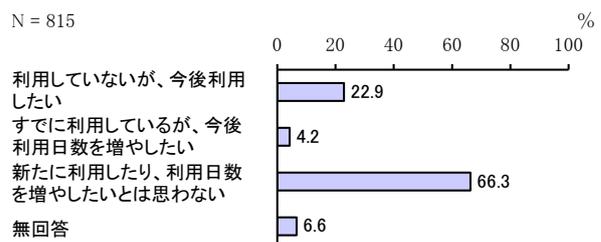
【0～2歳】

N = 908



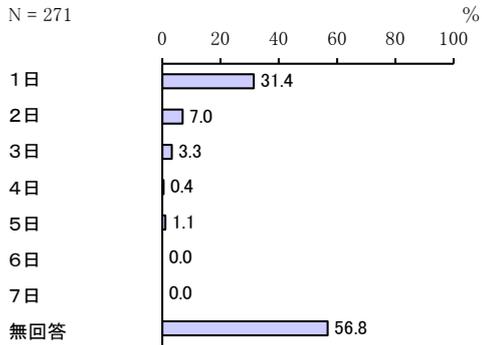
【3～5歳】

N = 815

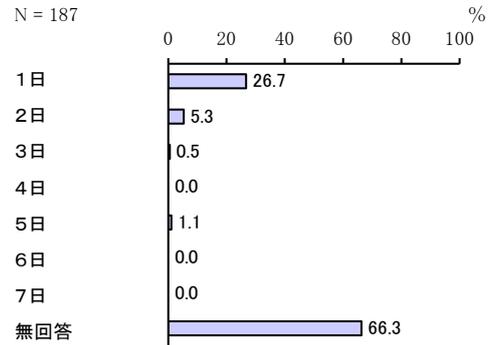


利用していないが、今後利用したい 1週当たり利用日数

【0～2歳】

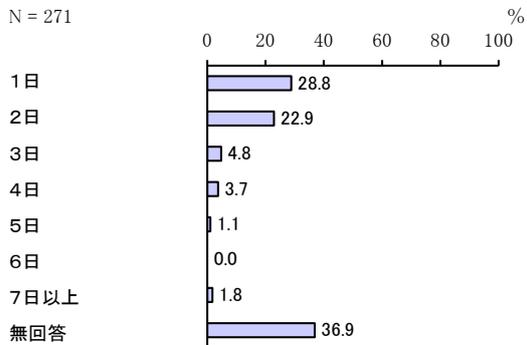


【3～5歳】

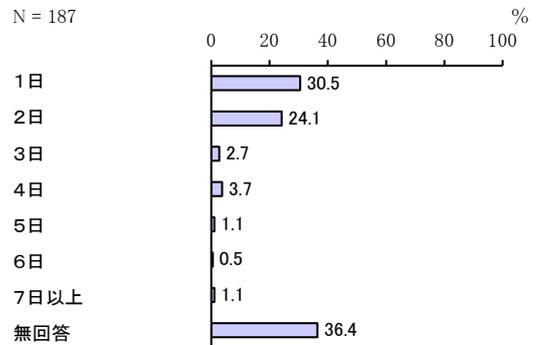


利用していないが、今後利用したい 1ヶ月当たり利用日数

【0～2歳】

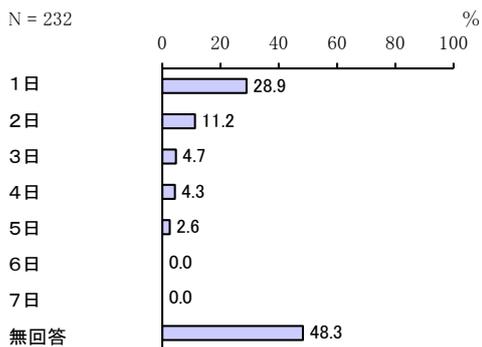


【3～5歳】

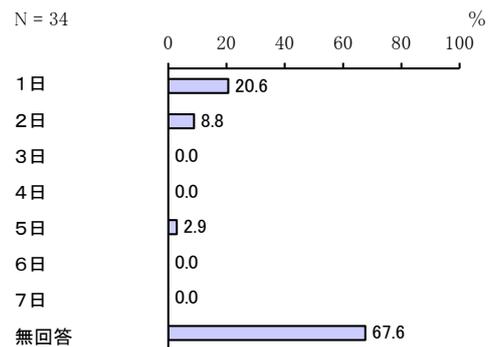


すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1週当たり利用日数

【0～2歳】

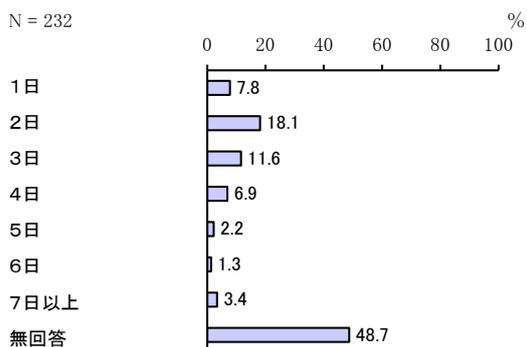


【3～5歳】

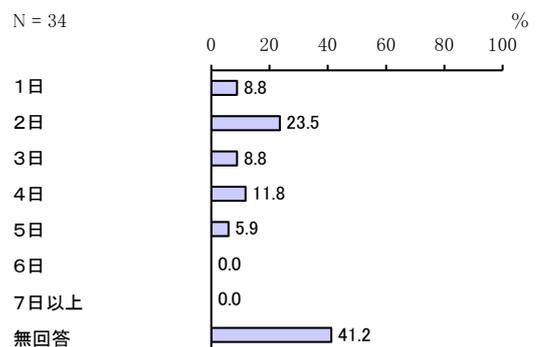


すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1ヶ月当たり利用日数

【0～2歳】



【3～5歳】



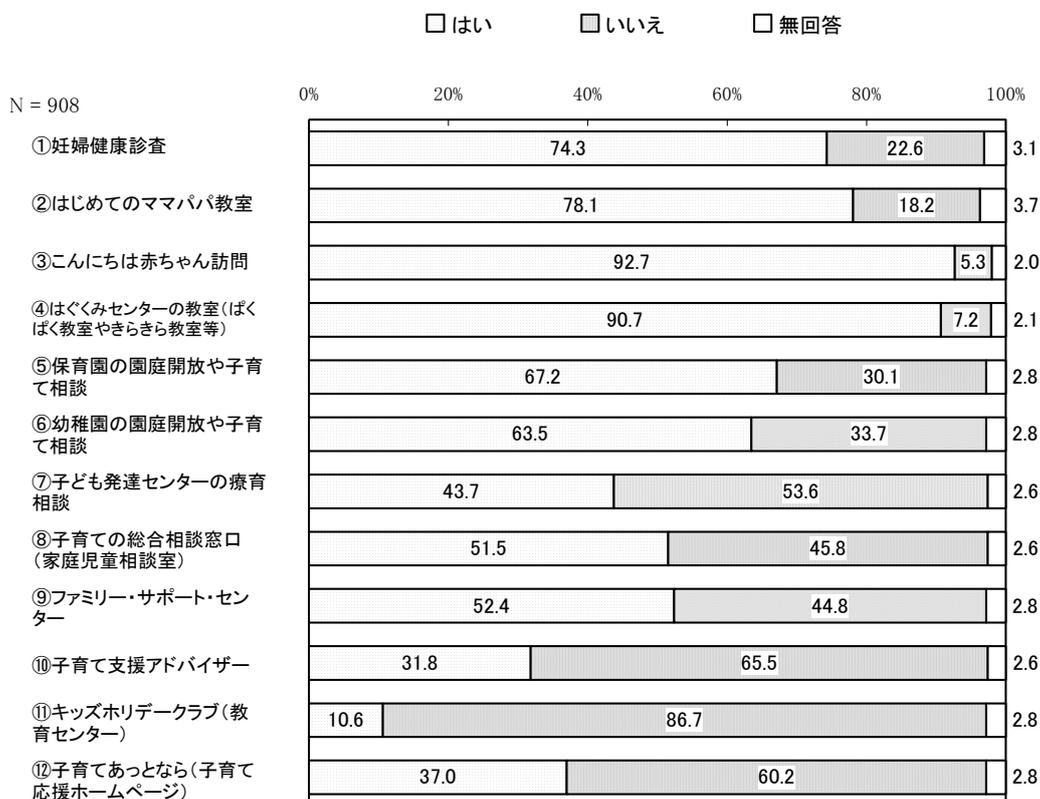
問 21 奈良市では、下記の事業や取り組みを行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

< 認知度 >

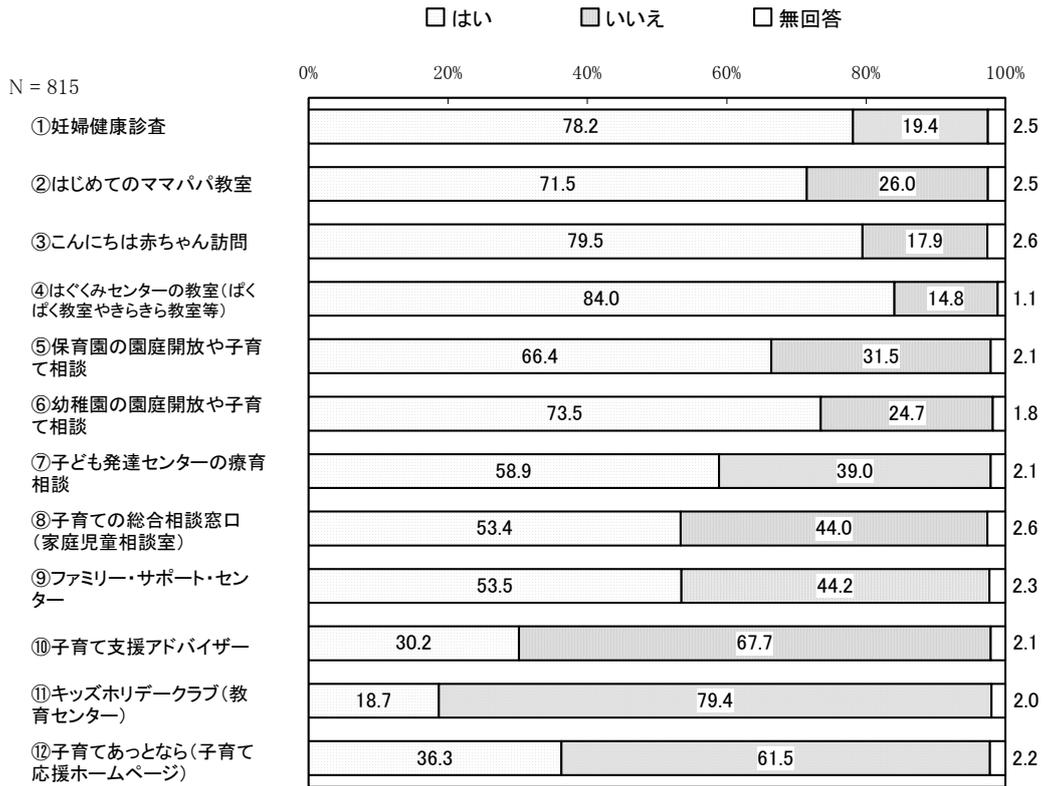
0～2歳については、③こんにちは赤ちゃん訪問、④はぐくみセンターの教室（ぱくぱく教室やきらきら教室等）で「はい（知っている）」の割合が高く、9割を超えています。一方、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）で「いいえ（知らない）」の割合が高く、約9割となっています。

3～5歳については、①妊婦健康診査、③こんにちは赤ちゃん訪問、④はぐくみセンターの教室（ぱくぱく教室やきらきら教室等）で「はい」の割合が高く、約8割となっています。一方、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）で「いいえ」の割合が高く、約8割となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】

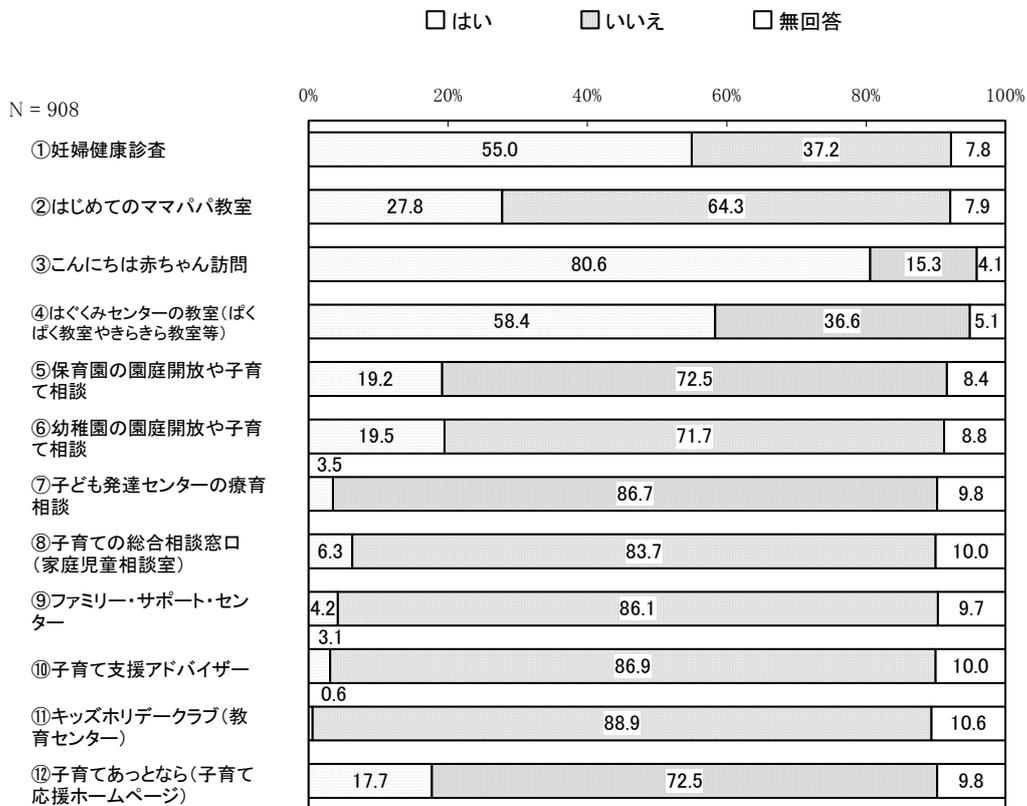


< 利用の有無 >

0～2歳については、③こんにちは赤ちゃん訪問で「はい（利用したことがある）」の割合が高く、約8割となっています。一方、⑦子ども発達センターの療育相談、⑧子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）、⑨ファミリー・サポート・センター、⑩子育て支援アドバイザー、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）で「はい」の割合が低く、1割未満となっています。

3～5歳については、①妊婦健康診査、③こんにちは赤ちゃん訪問で「はい」の割合が高く、5割を超えています。一方、⑦子ども発達センターの療育相談、⑧子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）、⑨ファミリー・サポート・センター、⑩子育て支援アドバイザー、⑪キッズホリデークラブ（教育センター）で「はい」の割合が低く、1割未満となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】

はい いいえ 無回答

N = 815

0% 20% 40% 60% 80% 100%

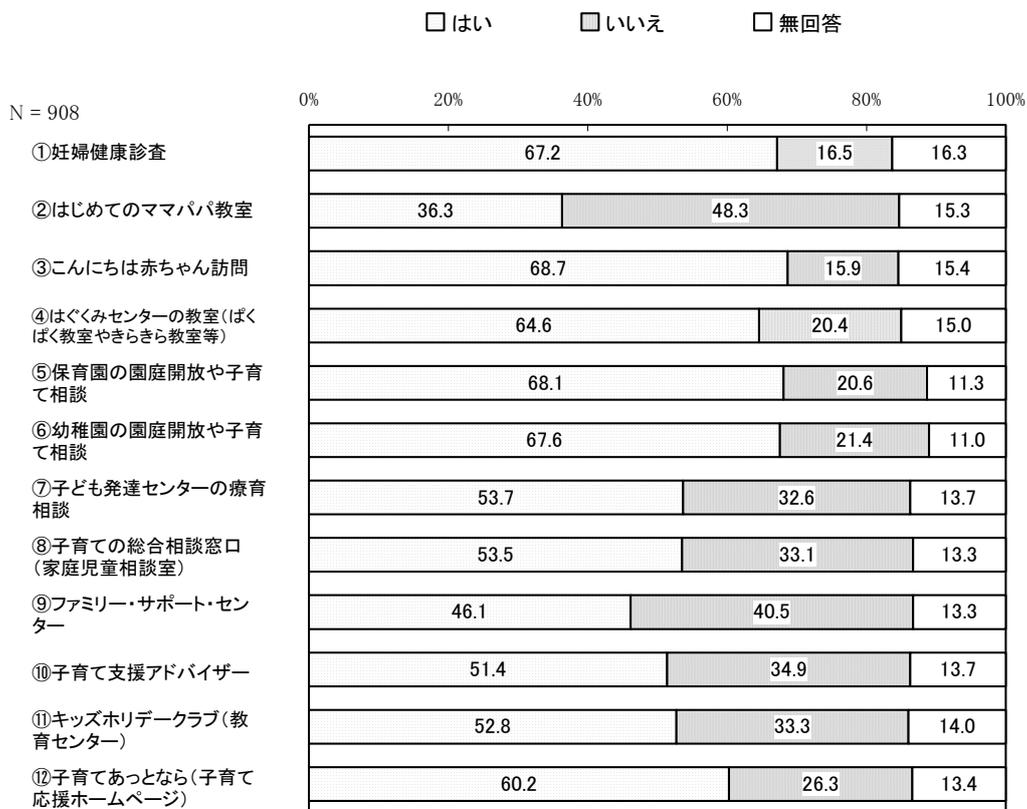
① 妊婦健康診査	56.2	37.1	6.7
② はじめてのママ/パパ教室	25.6	66.3	8.1
③ こんにちは赤ちゃん訪問	51.5	42.5	6.0
④ はぐくみセンターの教室(はくばく教室やきらきら教室等)	47.9	47.2	4.9
⑤ 保育園の園庭開放や子育て相談	23.8	67.5	8.7
⑥ 幼稚園の園庭開放や子育て相談	41.5	51.3	7.2
⑦ 子ども発達センターの療育相談	9.6	82.3	8.1
⑧ 子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室)	6.3	84.9	8.8
⑨ ファミリー・サポート・センター	3.8	87.5	8.7
⑩ 子育て支援アドバイザー	2.2	88.5	9.3
⑪ キッズホリデークラブ(教育センター)	2.8	88.3	8.8
⑫ 子育てあつとなら(子育て応援ホームページ)	11.5	78.8	9.7

< 利用意向 >

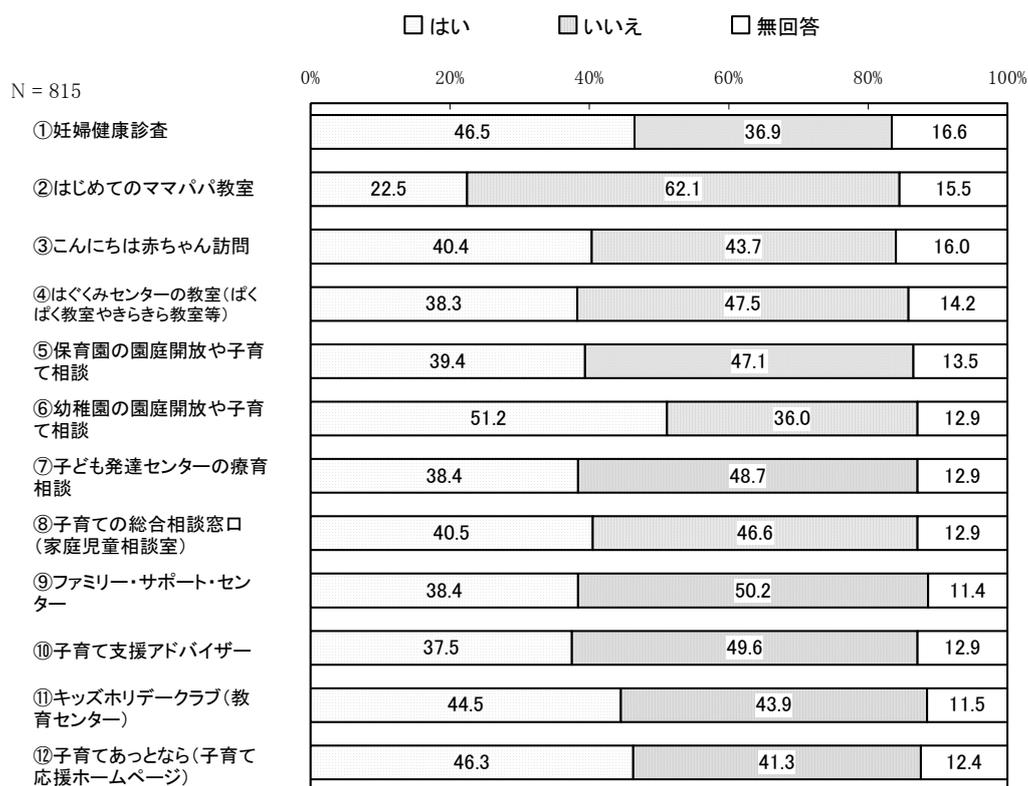
0～2歳については、①妊婦健康診査、③こんにちは赤ちゃん訪問、⑤保育園の園庭開放や子育て相談、⑥幼稚園の園庭開放や子育て相談で「はい（利用したい）」の割合が高く、約7割となっています。一方、②はじめてのママパパ教室で「いいえ（利用するつもりはない）」の割合が高く、約5割となっています。

3～5歳については、①妊婦健康診査、⑥幼稚園の園庭開放や子育て相談、⑫子育てあつとなら（子育て応援ホームページ）で「はい」の割合が高く、約5割となっています。一方、②はじめてのママパパ教室で「いいえ」の割合が高く、約6割となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



(8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 22 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

0～2歳については、「利用していない」の割合が90.0%と最も高くなっています。

一時預かりの日数は、「20日以上」の割合が32.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が19.4%、「2～3日」の割合が14.9%となっています。

ファミリー・サポート・センターの日数は、「2～3日」が3件、「20日以上」が2件、「4～5日」が1件となっています。

夜間養護等事業：トワイライトステイの日数は、有効回答はありません。

ベビーシッターの日数は、「2～3日」が2件、「6～9日」が1件となっています。

その他の日数は、「4～5日」、「10～19日」、「20日以上」が1件となっています。

3～5歳については、「利用していない」の割合が72.5%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が18.5%となっています。

一時預かりの日数は、「1日」の割合が41.2%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が17.6%、「2～3日」の割合が11.8%となっています。

幼稚園の預かり保育の日数は、「20日以上」の割合が31.8%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が21.9%、「2～3日」の割合が17.2%となっています。

ファミリー・サポート・センターの日数は、「10～19日」が2件、「2～3日」、「4～5日」が1件となっています。

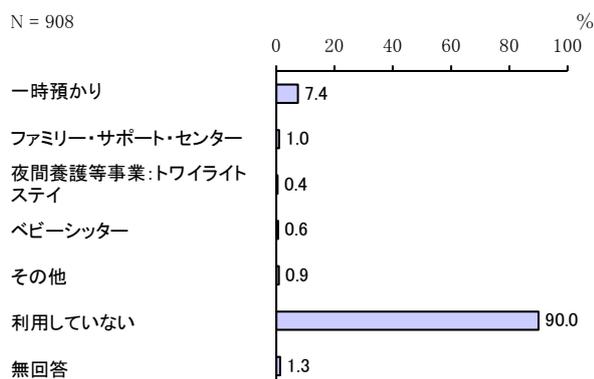
夜間養護等事業：トワイライトステイの日数は、有効回答はありません。

ベビーシッターの日数は、「2～3日」が2件、「1日」が1件となっています。

その他の日数は、「10～19日」が3件、「20日以上」が1件となっています。

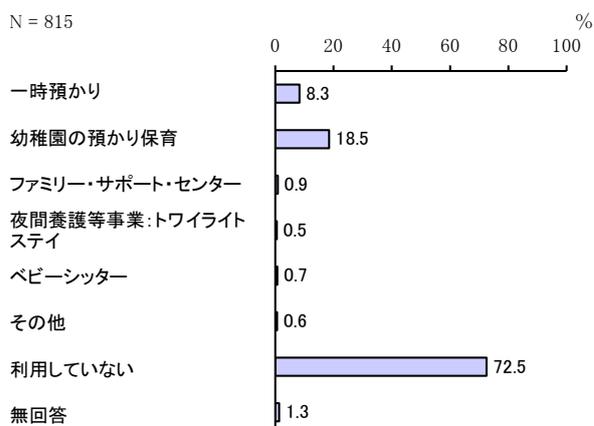
【0～2歳】

N = 908



【3～5歳】

N = 815



問23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、問22のような事業を希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

0～2歳については、「利用したい」の割合が25.0%、「利用する必要はない」の割合が23.7%となっています。

利用の目的は、「私用（買物）、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的」の割合が71.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が49.8%、「不特定の就労」の割合が30.8%となっています。

利用の合計日数は、「20日以上」の割合が24.7%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が18.1%となっています。

私用での日数は、「10～19日」の割合が31.3%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が19.6%、「4～5日」の割合が18.4%となっています。

冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等での日数は、「2～3日」の割合が26.5%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が21.2%、「4～5日」の割合が20.4%となっています。

不特定の就労での日数は、「20日以上」の割合が30.0%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が18.6%、「4～5日」の割合が17.1%となっています。

その他での日数は、「4～5日」の割合が23.5%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が17.6%、「1日」の割合が11.8%となっています。

3～5歳については、「利用したい」の割合が37.8%、「利用する必要はない」の割合が18.8%となっています。

利用の目的は、「私用（買物）、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的」の割合が75.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が57.5%、「不特定の就労」の割合が25.6%となっています。

利用の合計日数は、「20日以上」の割合が31.5%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が20.5%となっています。

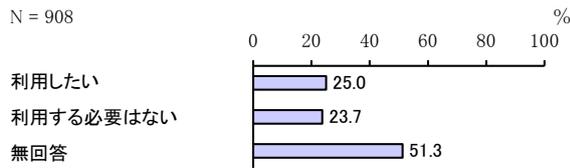
私用での日数は、「10～19日」の割合が33.0%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が23.6%、「4～5日」の割合が14.6%となっています。

冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等での日数は、「10～19日」の割合が24.3%と最も高く、次いで「2～3日」、「4～5日」の割合が18.6%となっています。

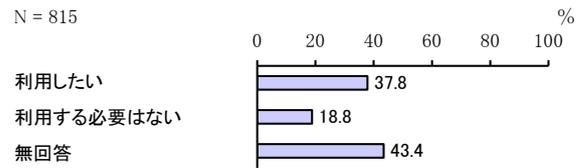
不特定の就労での日数は、「20日以上」の割合が45.6%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が25.3%となっています。

その他での日数は、「4～5日」、「20日以上」の割合が22.2%と最も高く、次いで、「2～3日」の割合が16.7%となっています。

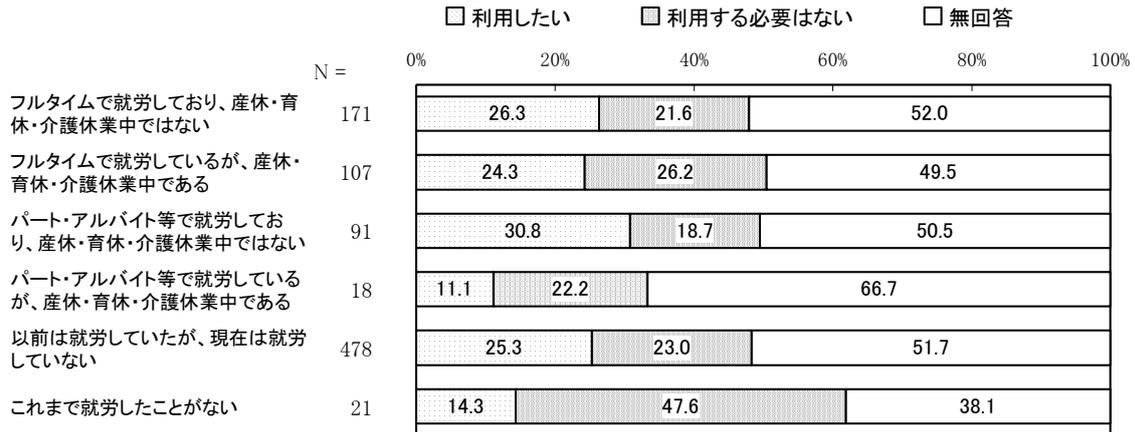
【0～2歳】



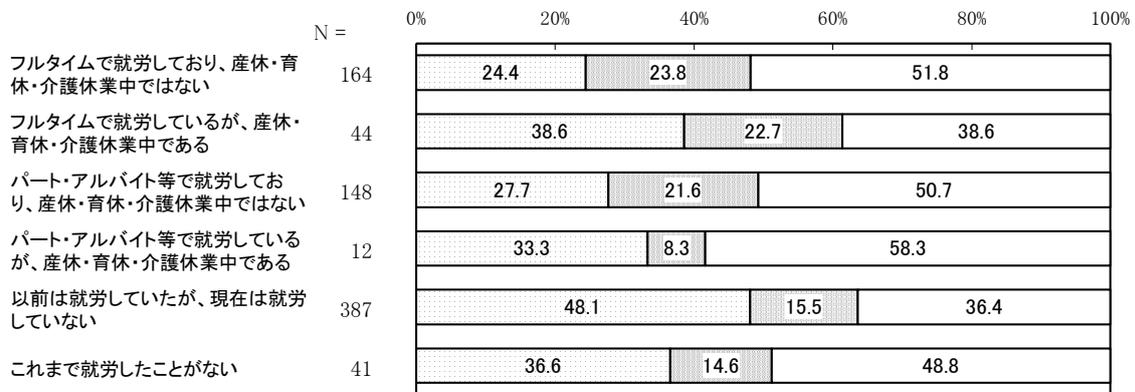
【3～5歳】



[母親の就労状況別：0～2歳]

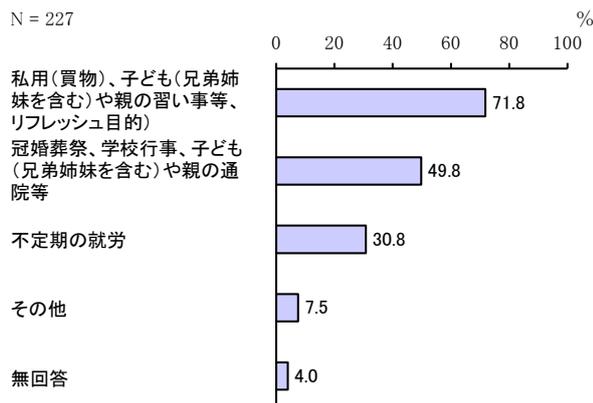


[母親の就労状況別：3～5歳]

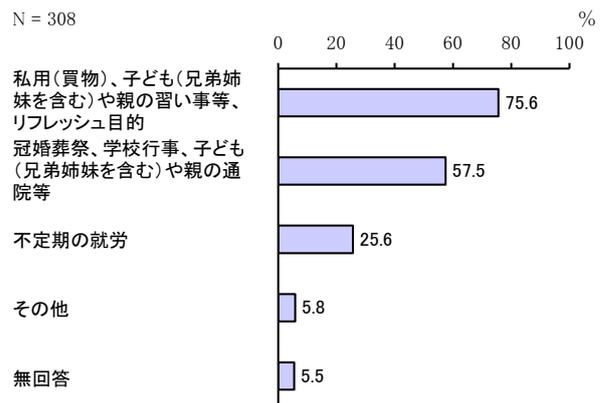


利用したい理由

【0～2歳】



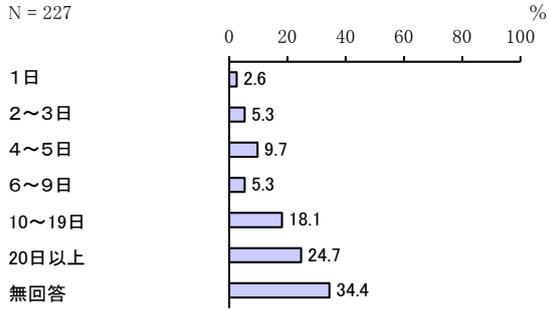
【3～5歳】



合計日数

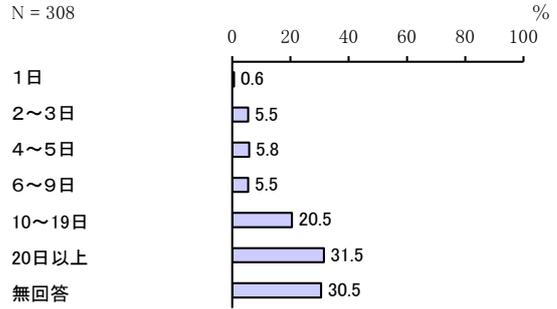
【0～2歳】

N = 227



【3～5歳】

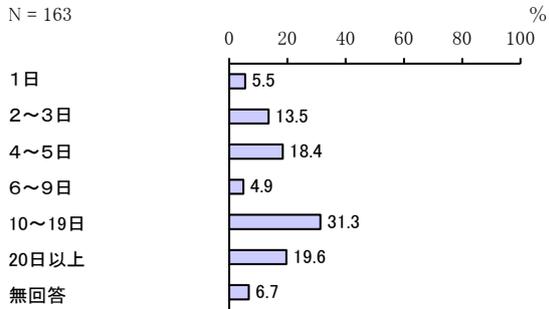
N = 308



私用（買物）、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的 日数

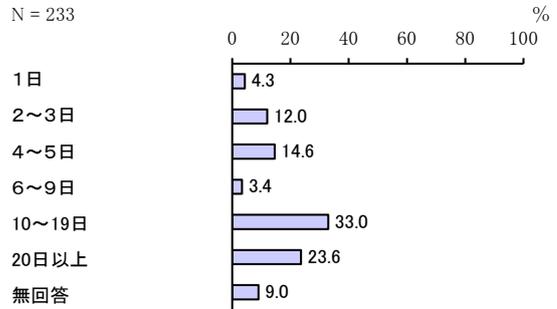
【0～2歳】

N = 163



【3～5歳】

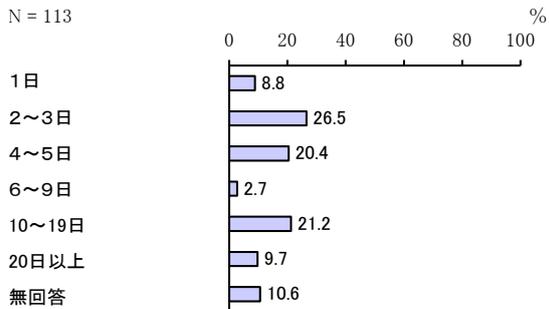
N = 233



冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 日数

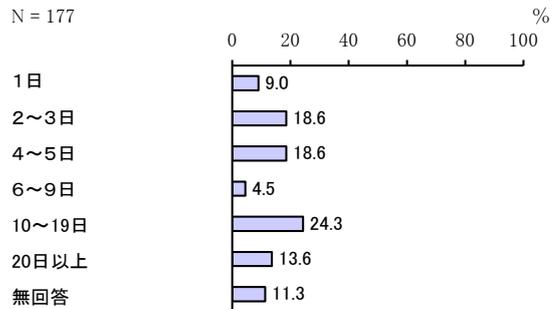
【0～2歳】

N = 113



【3～5歳】

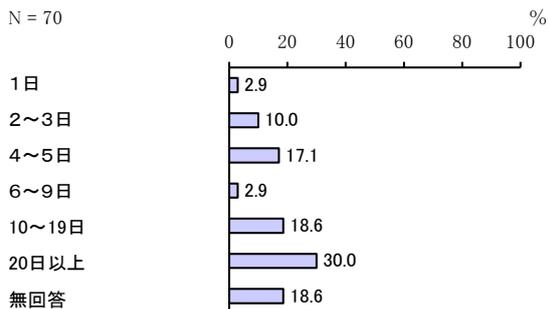
N = 177



不定期の就労 日数

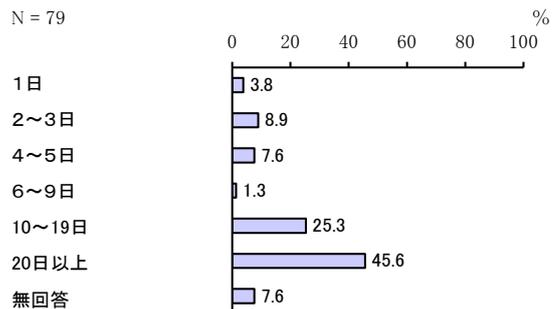
【0～2歳】

N = 70



【3～5歳】

N = 79



(9) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 25 あて名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください。

0～2歳の母親の育児休暇取得については、「働いていなかった」の割合が49.2%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が34.1%、「取得していない」の割合が16.1%となっています。

父親の育児休暇取得は、「取得していない」の割合が91.6%と最も高くなっています。

母親が育児休暇を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が43.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が19.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が13.7%となっています。

父親が育児休暇を取得しなかった理由は、「仕事が忙しかった」の割合が37.8%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が32.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が31.5%となっています。

3～5歳の母親の育児休暇取得については、「働いていなかった」の割合が58.2%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が26.0%、「取得していない」の割合が13.9%となっています。

父親の育児休暇取得は、「取得していない」の割合が90.2%と最も高くなっています。

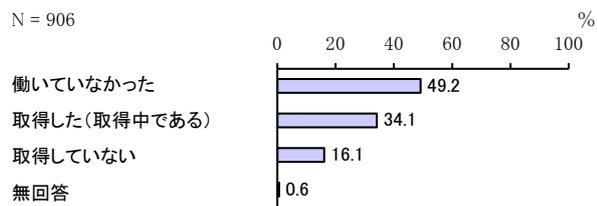
母親が育児休暇を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が41.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が18.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が15.0%となっています。

父親が育児休暇を取得しなかった理由は、「仕事が忙しかった」の割合が38.9%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が31.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が28.4%となっています。

母親の育児休暇取得状況

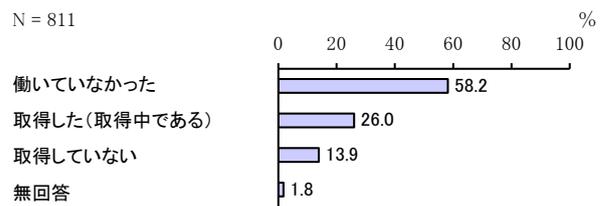
【0～2歳】

N = 906



【3～5歳】

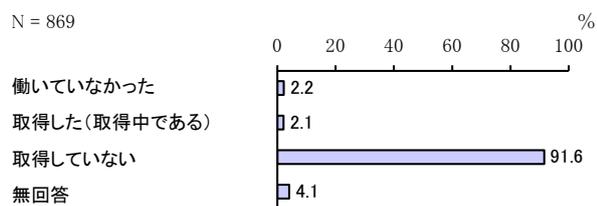
N = 811



父親の育児休暇取得状況

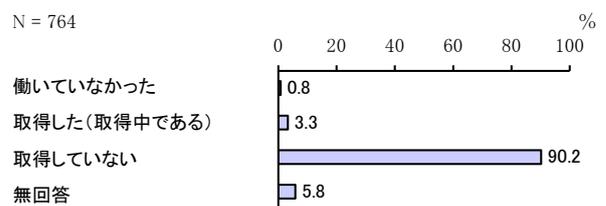
【0～2歳】

N = 869



【3～5歳】

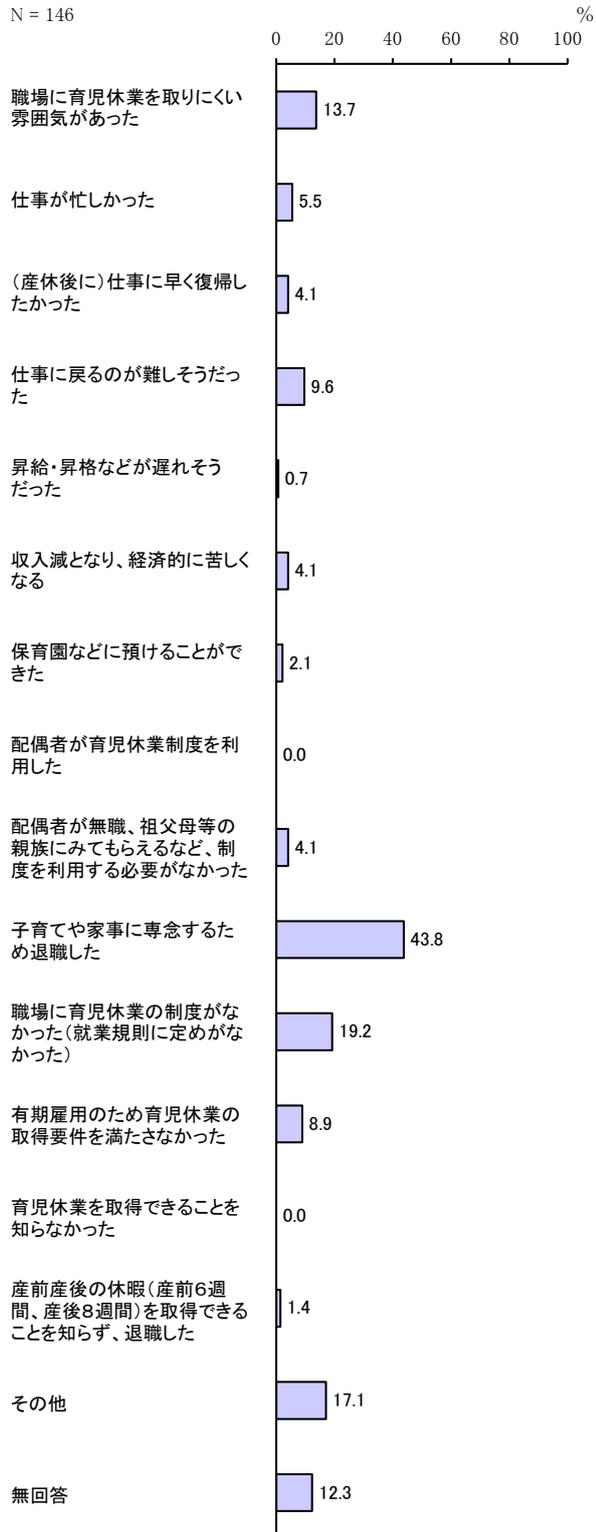
N = 764



母親が育児休暇を取得しなかった理由

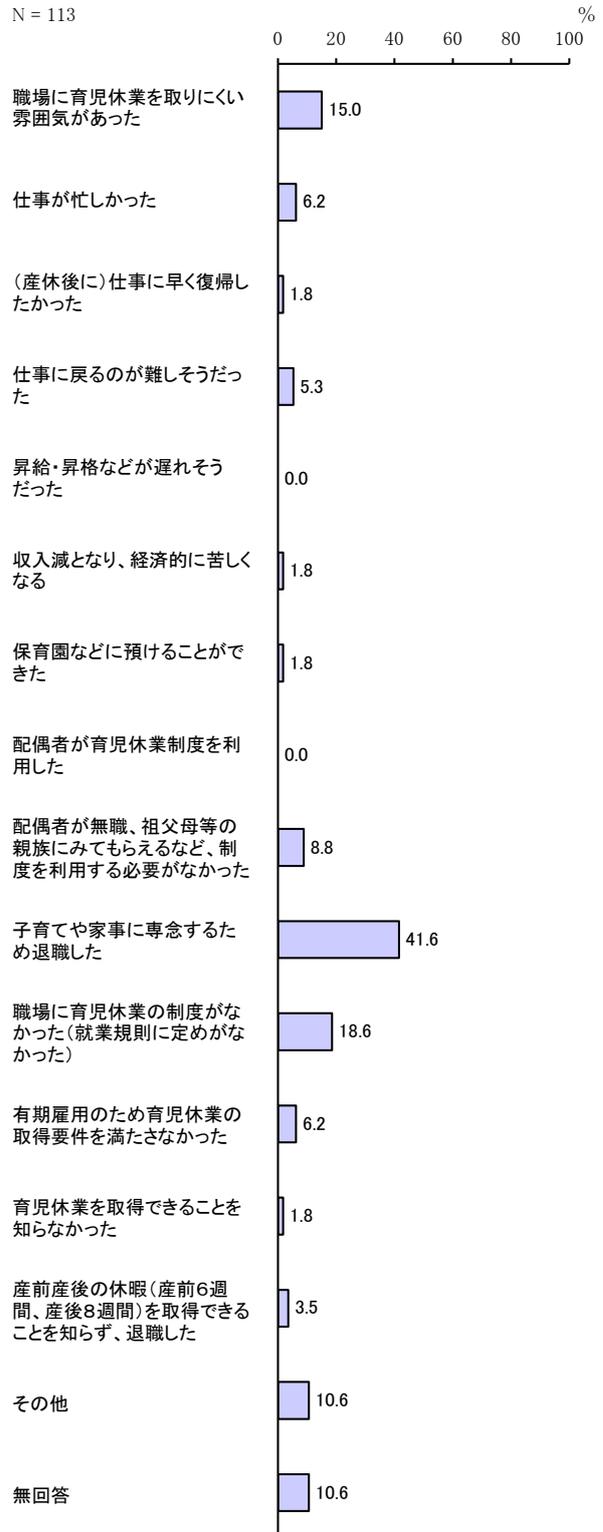
【0～2歳】

N = 146



【3～5歳】

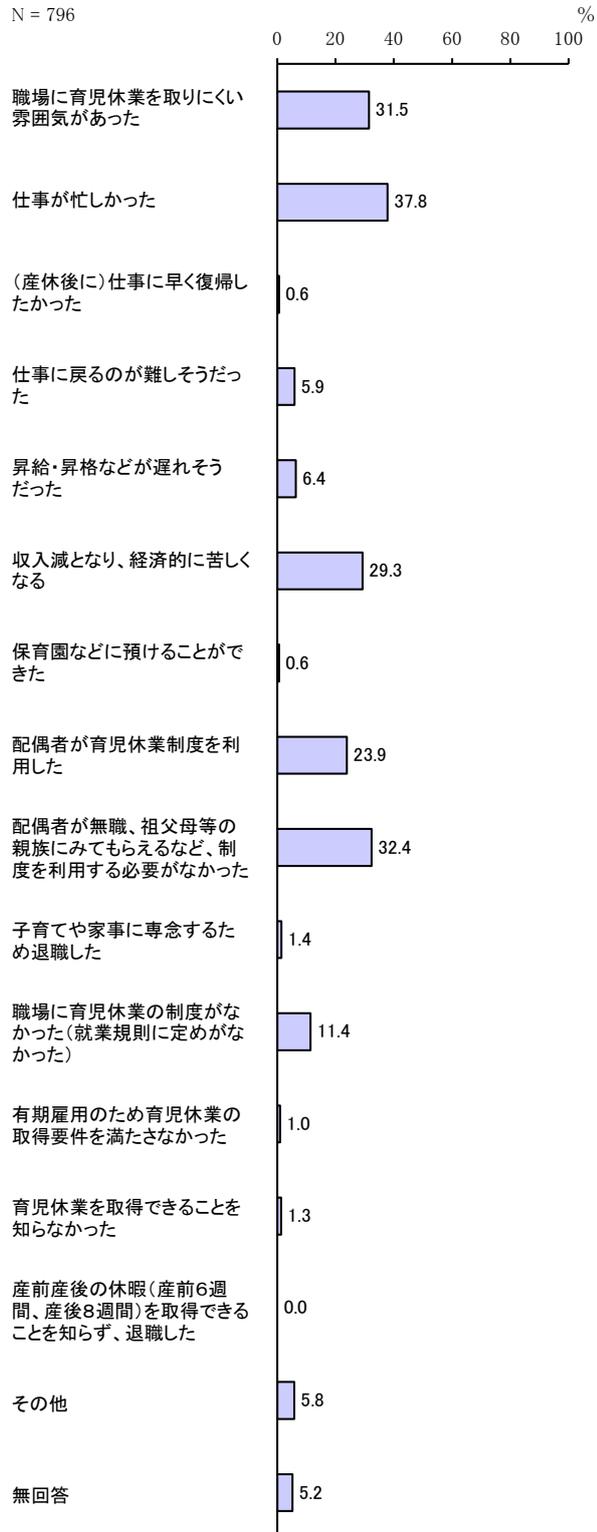
N = 113



父親が育児休暇を取得しなかった理由

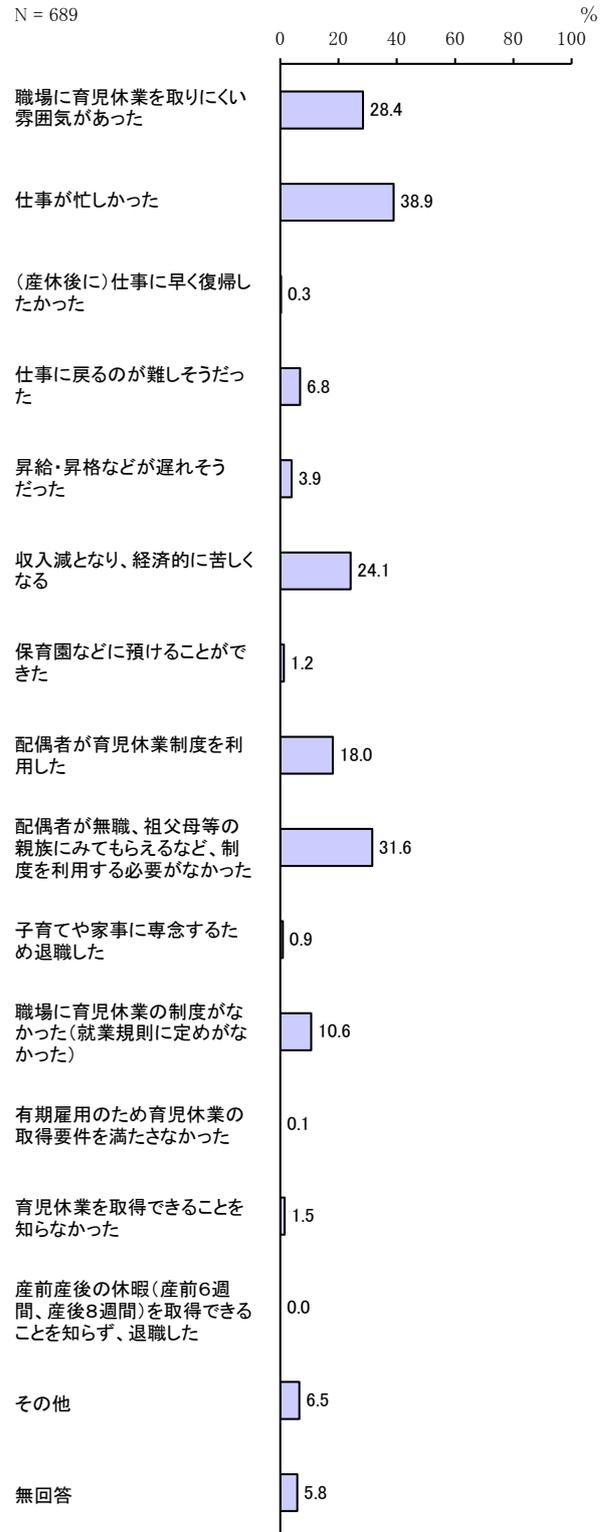
【0～2歳】

N = 796



【3～5歳】

N = 689



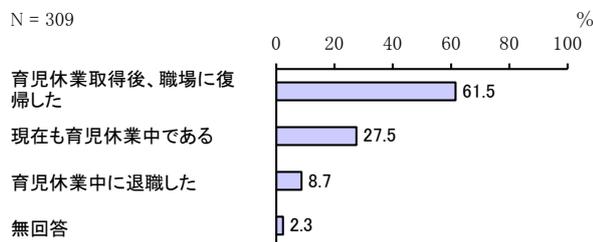
問 25 で母親の「2」に○をつけた方は、問 25-1 へお進みください。
上記以外の方は、【問 26】へお進みください。

問 25-1 問 25 で母親が「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

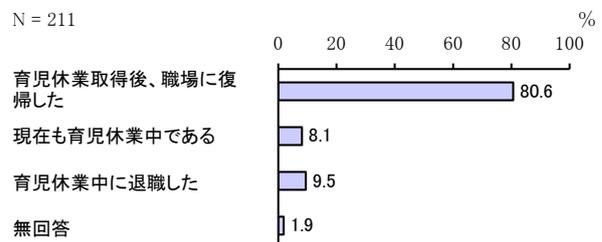
0～2歳については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 27.5%となっています。

3～5歳については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 80.6%と最も高くなっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



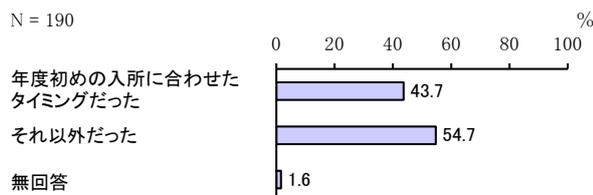
問 25-2～問 25-8 は、問 25-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 25-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

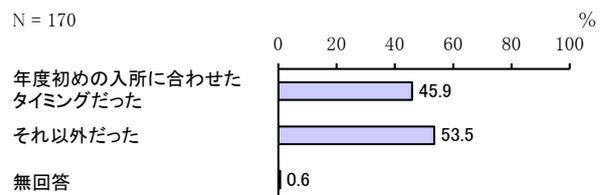
0～2歳については、「それ以外だった」の割合が 54.7%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 43.7%となっています。

3～5歳については、「それ以外だった」の割合が 53.5%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 45.9%となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



問 25-3 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

0～2歳の実際の育児休暇取得期間については、「7か月～12か月」の割合が51.1%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が25.8%、「1か月～6か月」の割合が13.7%となっています。

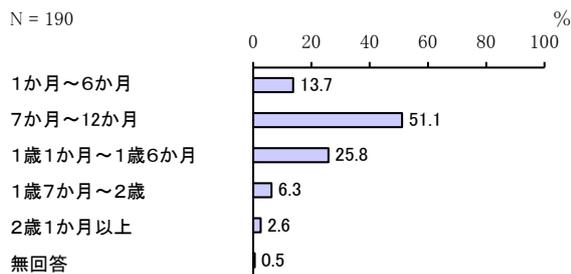
希望する育児休暇取得期間は、「7か月～12か月」の割合が44.2%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が21.1%、「1歳7か月～2歳」の割合が13.7%となっています。

3～5歳の実際の育児休暇取得期間については、「7か月～12か月」の割合が45.3%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が26.5%、「1か月～6か月」の割合が10.6%となっています。

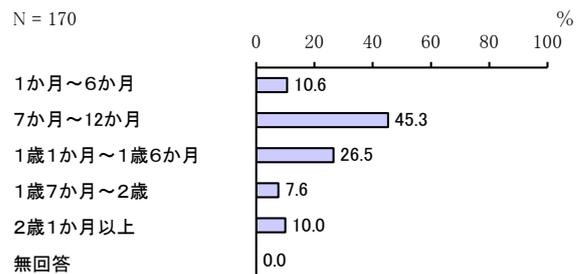
希望する育児休暇取得期間は、「7か月～12か月」の割合が35.9%と最も高く、次いで「2歳1か月以上」の割合が20.0%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が18.8%となっています。

実際の取得期間

【0～2歳】

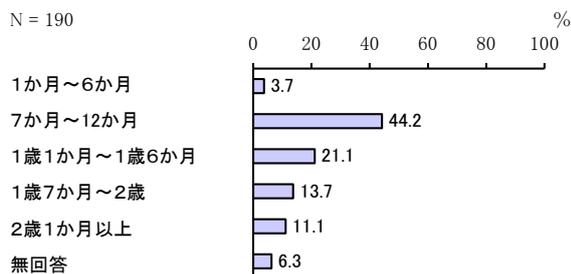


【3～5歳】

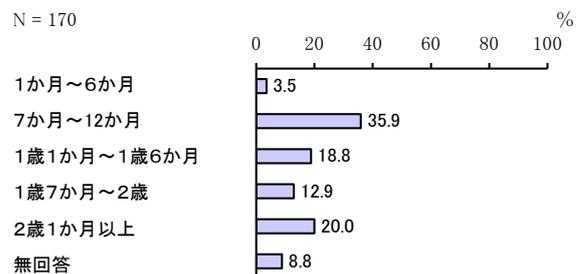


希望の取得期間

【0～2歳】



【3～5歳】

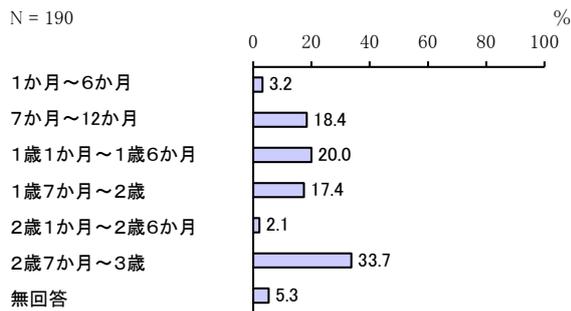


問 25-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
() 内に数字でご記入ください。

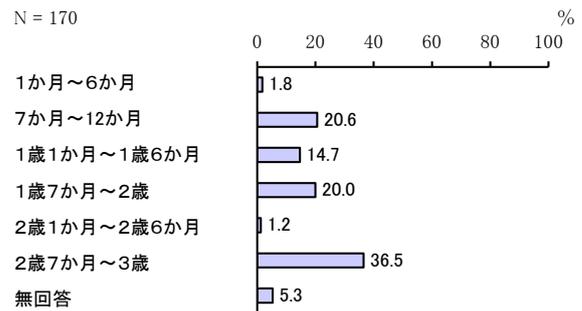
0～2歳については、「2歳7か月～3歳」の割合が33.7%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が20.0%、「7か月～12か月」の割合が18.4%となっています。

3～5歳については、「2歳7か月～3歳」の割合が36.5%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が20.6%、「1歳7か月～2歳」の割合が20.0%となっています。

【0～2歳】



【3～5歳】



**問 25-5 問 25-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。**

0～2歳の「希望」より早く復帰した理由については、「希望する保育園に入るため」の割合が43.5%と最も高く、次いで「職場の制度の都合のため」の割合が28.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」の割合が22.2%となっています。

「希望」より遅く復帰した理由については、「希望する保育園に入れなかったため」の割合が77.3%と最も高くなっています。

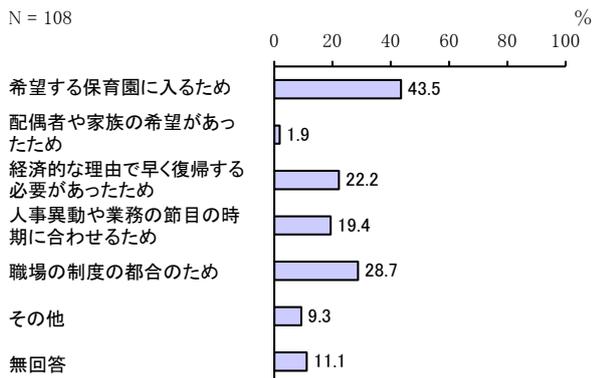
3～5歳の「希望」より早く復帰した理由については、「希望する保育園に入るため」の割合が39.8%と最も高く、次いで「職場の制度の都合のため」の割合が34.4%、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」の割合が25.8%となっています。

「希望」より遅く復帰した理由については、「希望する保育園に入れなかったため」の割合が68.8%と最も高く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」の割合が12.5%となっています。

(1) 「希望」より早く復帰した方（当てはまる番号すべてに○）

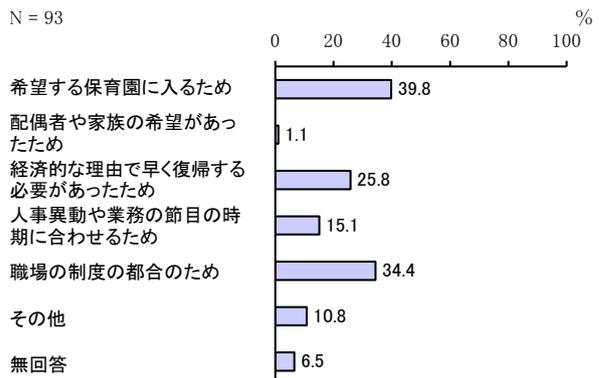
【0～2歳】

N = 108



【3～5歳】

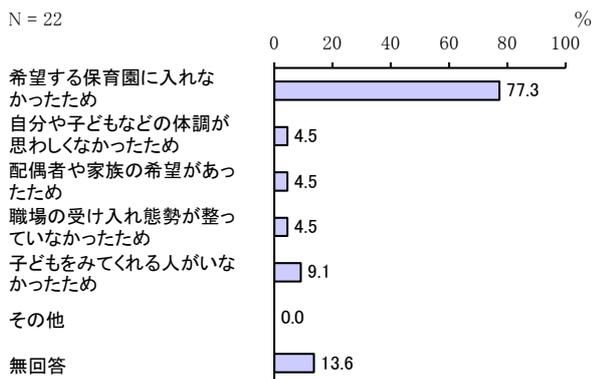
N = 93



(2) 「希望」より遅く復帰した方（当てはまる番号すべてに○）

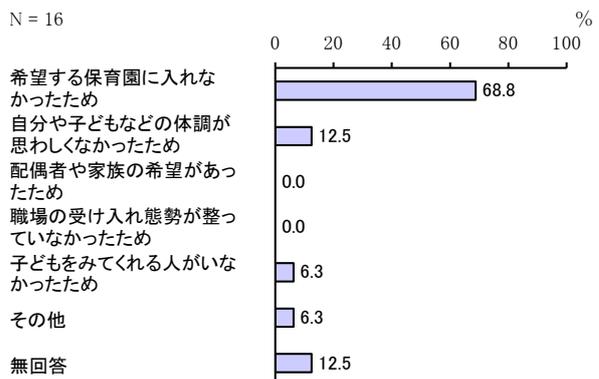
【0～2歳】

N = 22



【3～5歳】

N = 16



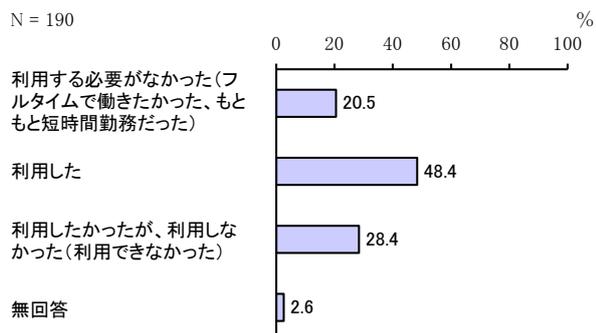
問 25-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

0～2歳については、「利用した」の割合が48.4%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が28.4%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が20.5%となっています。

3～5歳については、「利用した」の割合が44.1%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が34.7%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が18.2%となっています。

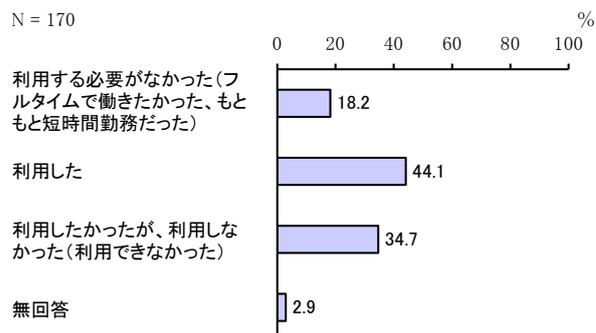
【0～2歳】

N = 190



【3～5歳】

N = 170

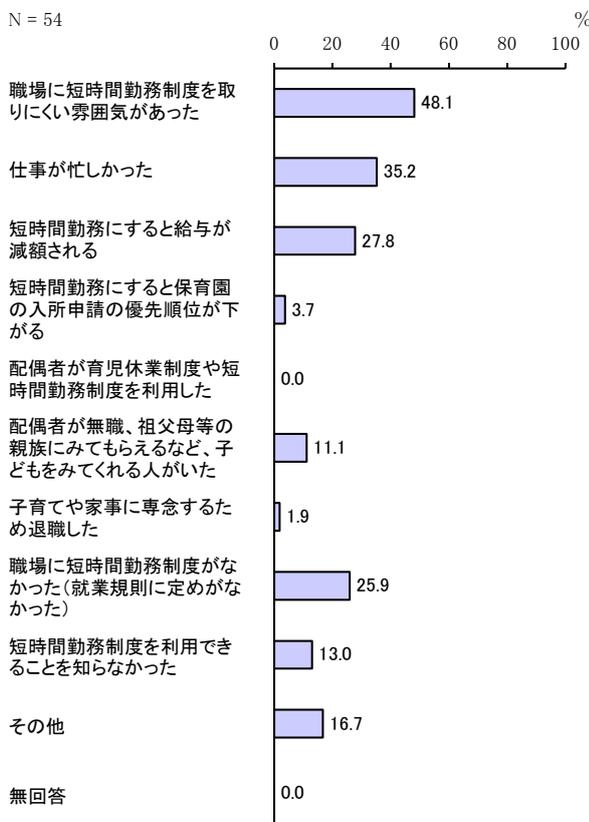


問 25-7 問 25-6で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。
 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

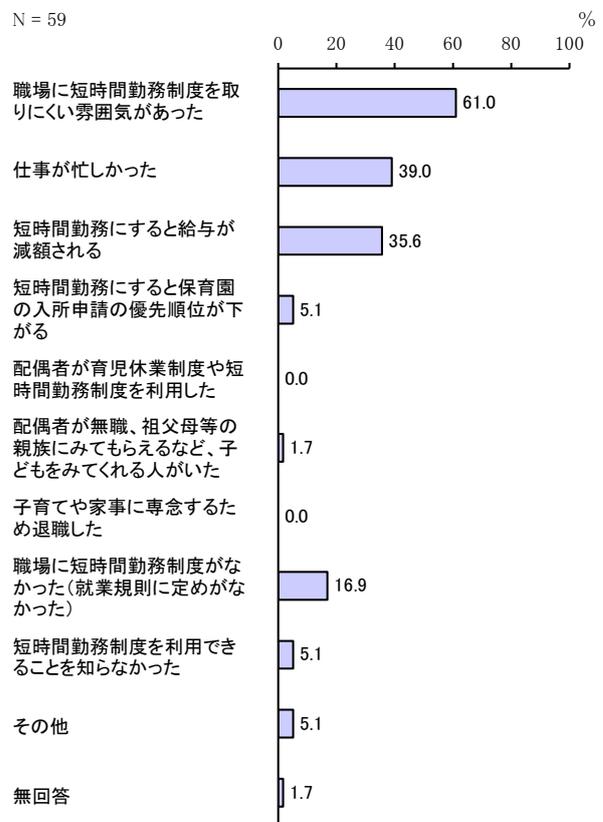
0～2歳については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が48.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が35.2%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が27.8%となっています。

3～5歳については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が61.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が39.0%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が35.6%となっています。

【0～2歳】



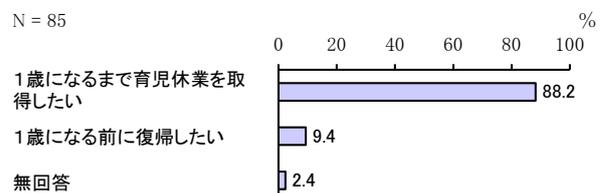
【3～5歳】



(0～2歳のみ)

問 25-8 問 25-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

0～2歳については、「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が88.2%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が9.4%となっています。



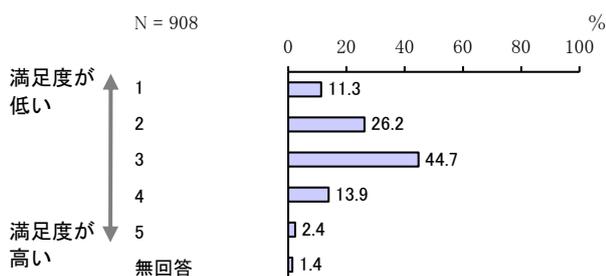
(10) 子育てに関する困りごとなどについて

問 26 奈良市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

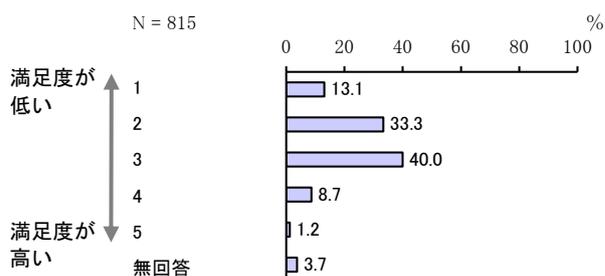
0～2歳については、「3」の割合が44.7%と最も高く、次いで「2」の割合が26.2%、「4」の割合が13.9%となっています。

3～5歳については、「3」の割合が40.0%と最も高く、次いで「2」の割合が33.3%、「1」の割合が13.1%となっています。

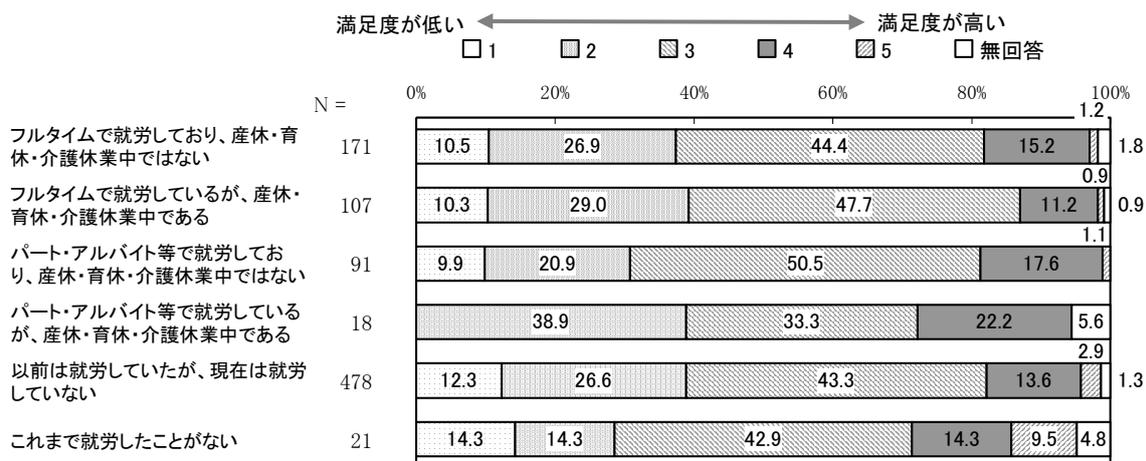
【0～2歳】



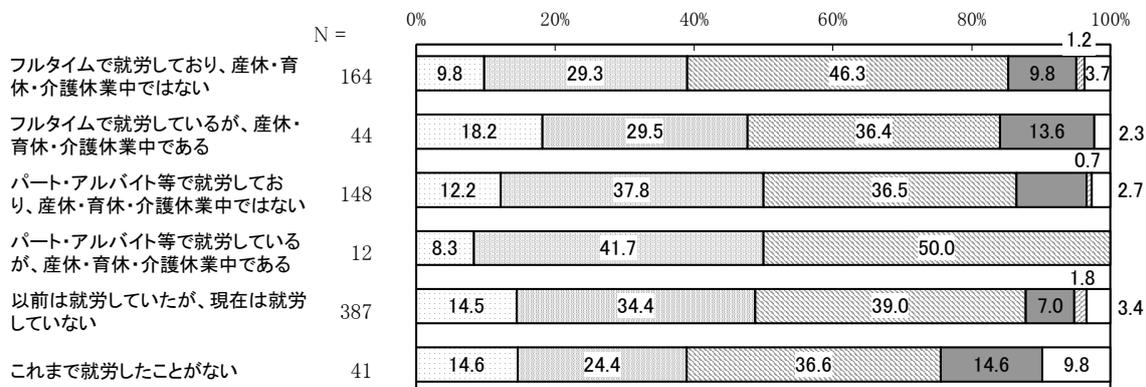
【3～5歳】



[母親の就労状況別：0～2歳]



[母親の就労状況別：3～5歳]



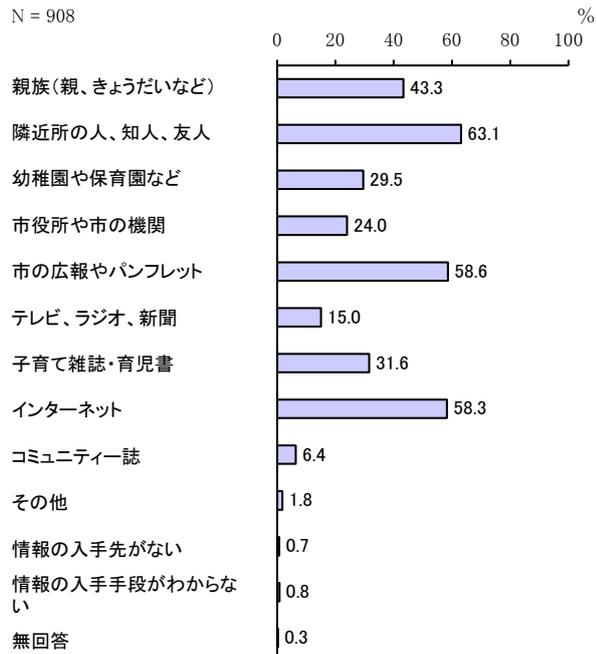
問 27 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

0～2歳については、「隣近所の人、知人、友人」の割合が63.1%と最も高く、次いで「市の広報やパンフレット」の割合が58.6%、「インターネット」の割合が58.3%となっています。

3～5歳については、「幼稚園や保育園など」の割合が70.3%と最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」の割合が62.9%、「市の広報やパンフレット」の割合が55.2%となっています。

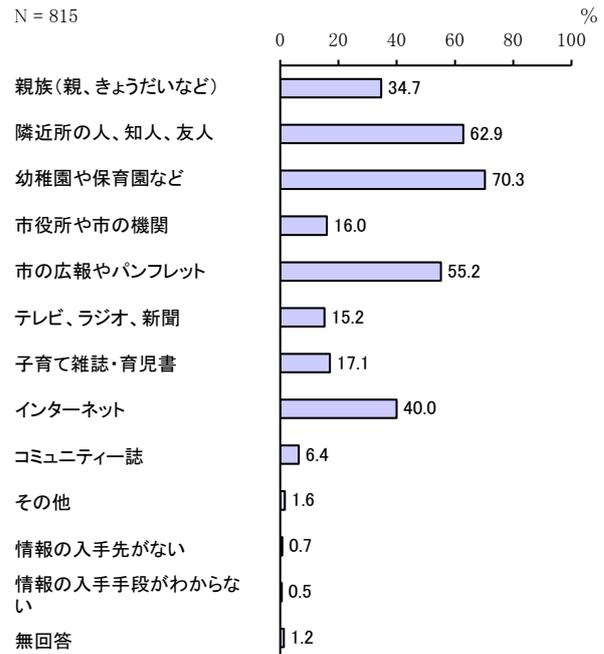
【0～2歳】

N = 908



【3～5歳】

N = 815



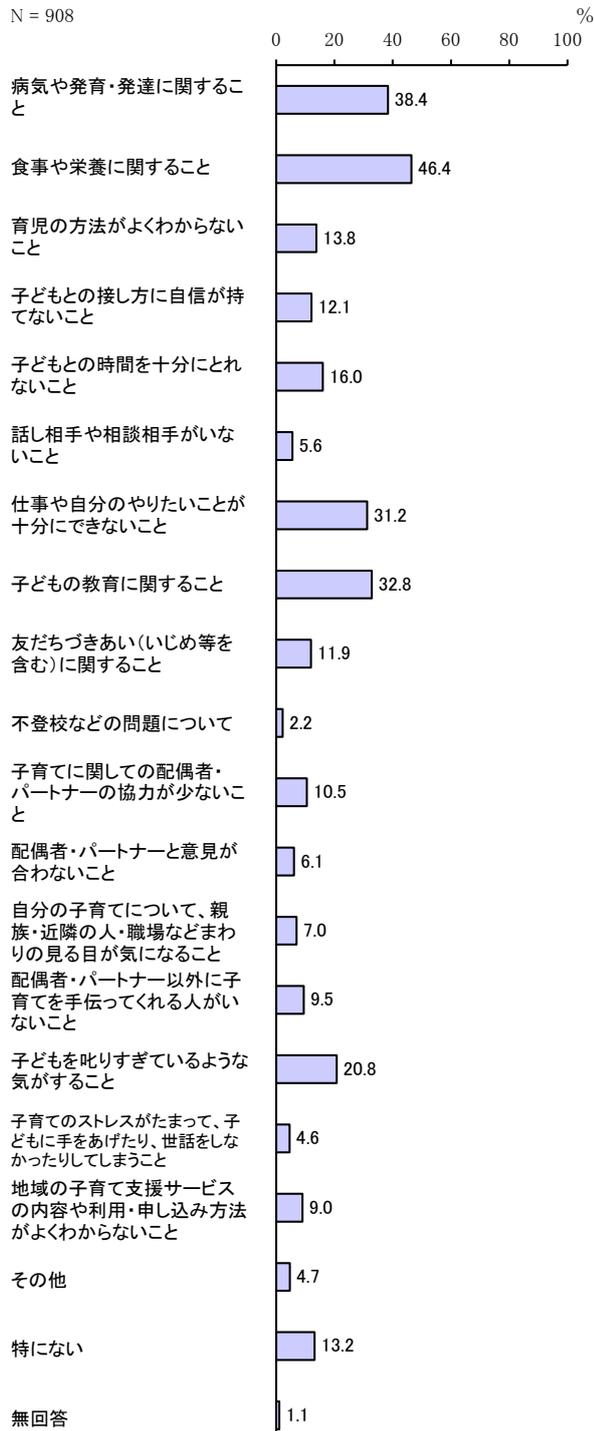
問 28 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

0～2歳については、「食事や栄養に関すること」の割合が46.4%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」の割合が38.4%、「子どもの教育に関すること」の割合が32.8%となっています。

3～5歳については、「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が37.1%と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」の割合が31.2%、「病気や発育・発達に関すること」の割合が28.7%となっています。

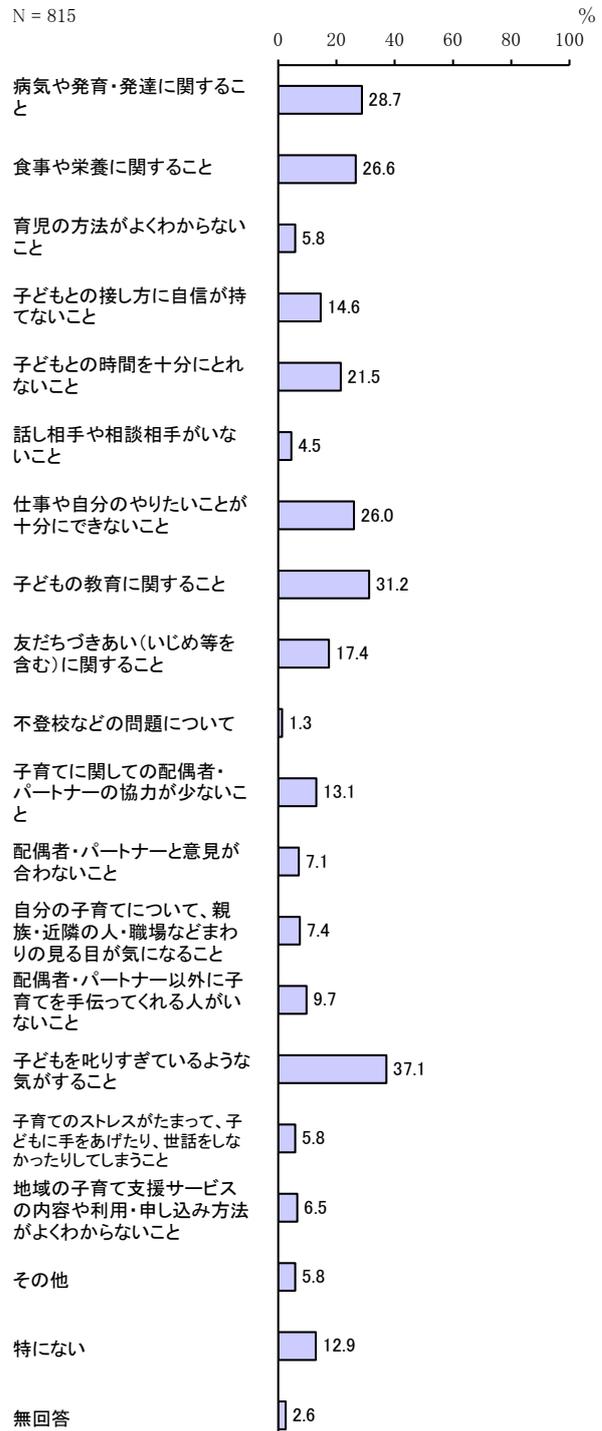
【0～2歳】

N = 908



【3～5歳】

N = 815



[子育ての環境や支援への満足度別：0～2歳]

単位：%

	有効回答数(件)	病気や発育・発達に関する事	食事や栄養に関する事	育児の方法がよくわからない事	子どもとの接し方に自信が持てない事	子どもとの時間を十分にとれない事	話し相手や相談相手がいない事	仕事や自分のやりたいことが十分にできない事	子どもの教育に関する事	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関する事	不登校などの問題について
1(満足度が低い)	103	32.0	42.7	12.6	14.6	18.4	9.7	41.7	35.0	10.7	—
2	238	43.3	45.0	19.7	14.3	16.0	7.1	32.4	36.1	13.9	3.8
3	406	37.4	49.3	12.3	9.9	15.8	4.9	29.3	29.8	12.8	1.7
4	126	39.7	42.1	11.1	15.1	15.9	3.2	29.4	36.5	7.9	2.4
5(満足度が高い)	22	31.8	54.5	4.5	4.5	9.1	—	22.7	36.4	—	—

	有効回答数(件)	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない事	配偶者・パートナーと意見が合わない事	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になる事	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない事	子どもを叱りすぎているような気がする事	子育てのストレスがたまったり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう事	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない事	その他	特になし	無回答
1(満足度が低い)	103	10.7	4.9	9.7	18.4	24.3	6.8	20.4	12.6	8.7	2.9
2	238	13.0	7.1	7.1	9.7	24.4	5.5	12.6	3.8	10.1	0.8
3	406	10.1	7.1	6.4	7.6	19.5	4.9	5.9	3.4	15.0	1.0
4	126	7.9	3.2	7.1	8.7	15.9	0.8	4.8	1.6	15.9	—
5(満足度が高い)	22	4.5	—	9.1	4.5	22.7	4.5	4.5	18.2	13.6	—

[子育ての環境や支援への満足度別：3～5歳]

単位：%

	有効回答数(件)	病気や発育・発達に関する事	食事や栄養に関する事	育児の方法がよくわからない事	子どもとの接し方に自信が持てない事	子どもとの時間を十分にとれない事	話し相手や相談相手がいない事	仕事や自分のやりたいことが十分にできない事	子どもの教育に関する事	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関する事	不登校などの問題について
1(満足度が低い)	107	24.3	21.5	5.6	16.8	18.7	5.6	30.8	33.6	22.4	1.9
2	271	28.0	28.4	6.6	17.0	22.1	5.9	27.3	34.7	18.8	1.5
3	326	32.8	27.6	5.2	12.3	23.9	3.4	24.5	30.1	18.1	0.9
4	71	22.5	22.5	1.4	15.5	15.5	2.8	19.7	28.2	5.6	—
5(満足度が高い)	10	50.0	60.0	10.0	10.0	20.0	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0

	有効回答数(件)	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない事	配偶者・パートナーと意見が合わない事	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になる事	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない事	子どもを叱りすぎているような気がする事	子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう事	子育てのストレスがたまったり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう事	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない事	その他	特になし	無回答
1(満足度が低い)	107	20.6	9.3	10.3	15.0	39.3	10.3	9.3	12.1	13.1	0.9	
2	271	15.5	7.7	9.2	12.2	39.9	5.2	10.0	5.2	10.7	0.4	
3	326	9.2	6.1	5.8	8.0	37.7	5.2	4.6	4.0	11.3	2.5	
4	71	15.5	8.5	5.6	4.2	26.8	4.2	—	8.5	28.2	—	
5(満足度が高い)	10	—	—	10.0	10.0	20.0	—	—	—	20.0	—	

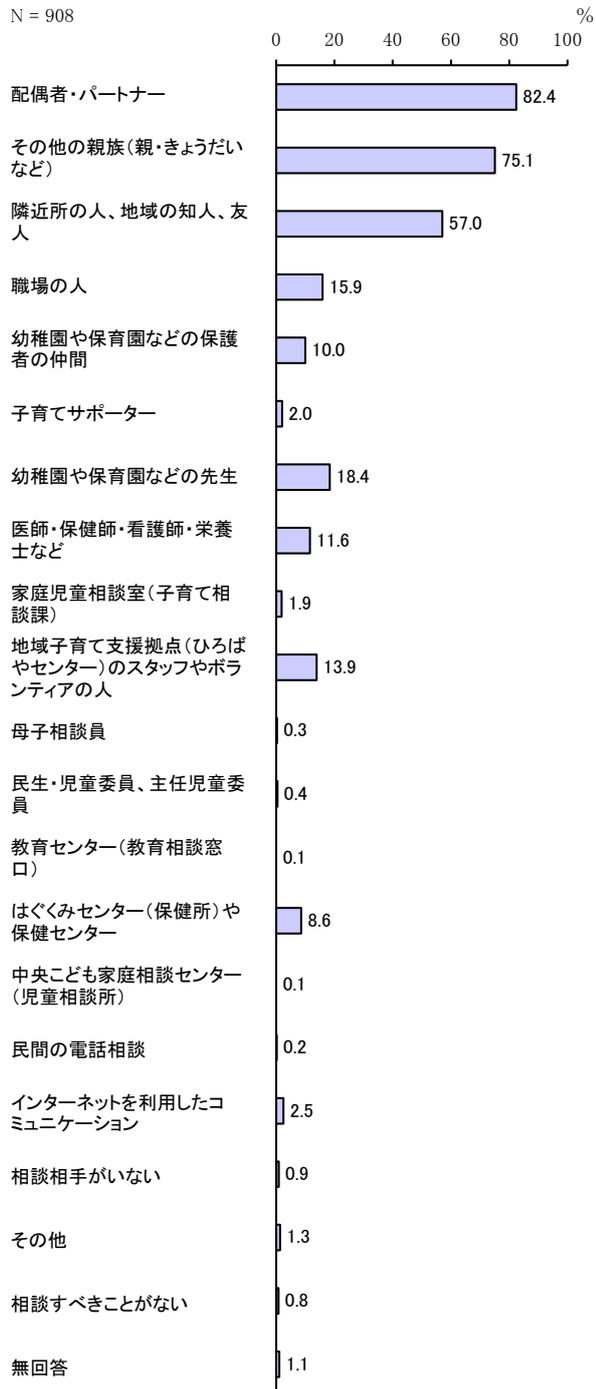
問 29 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

0～2歳については、「配偶者・パートナー」の割合が82.4%と最も高く、次いで「その他の親族(親・きょうだいなど)」の割合が75.1%、「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が57.0%となっています。

3～5歳については、「配偶者・パートナー」の割合が77.8%と最も高く、次いで「その他の親族(親・きょうだいなど)」の割合が66.5%、「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が49.8%となっています。

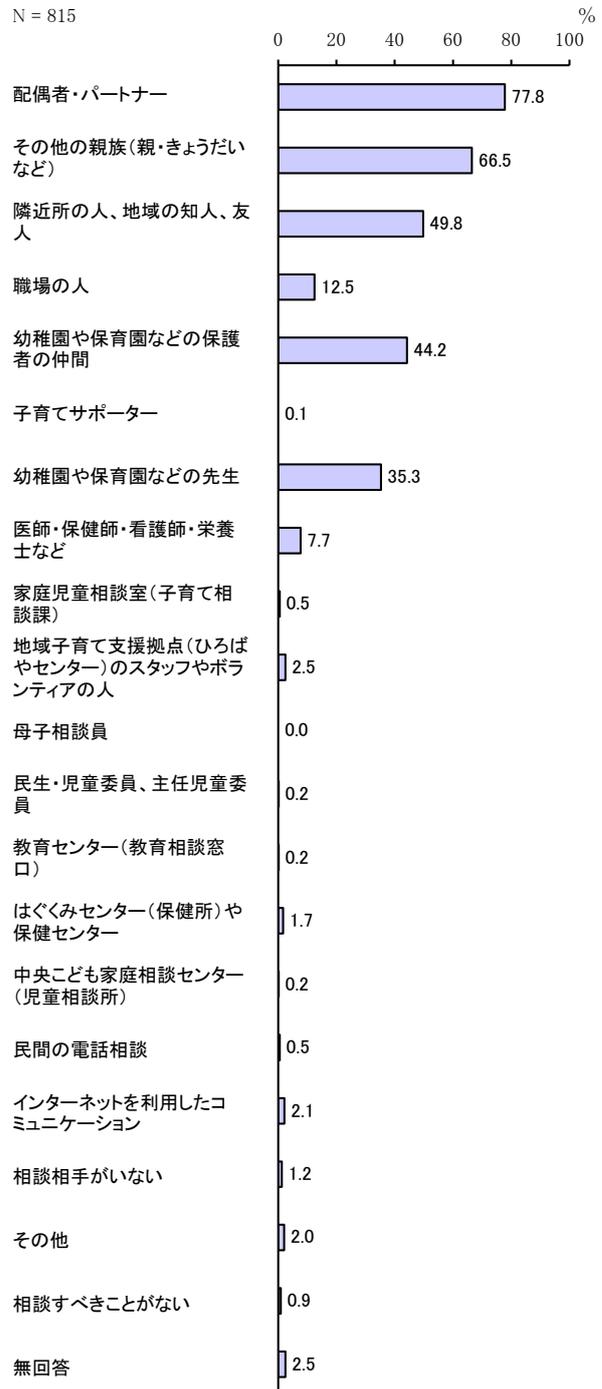
【0～2歳】

N = 908



【3～5歳】

N = 815



(11) 小学校入学後の放課後の過ごし方について（5歳以上のみ）

問 26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

5歳児童については、「自宅」、「習い事」の割合が59.5%と最も高く、次いで、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」の割合が43.9%となっています。

自宅の日数は、「2日」の割合が31.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.0%、「5日」の割合が15.6%となっています。

祖父母宅や友人・知人宅の日数は、「1日」の割合が45.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が29.7%となっています。

習い事の日数は、「1日」の割合が40.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が36.3%、「3日」の割合が16.3%となっています。

児童館の日数は、「1日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.0%、「4日」、「5日」の割合が10.0%となっています。

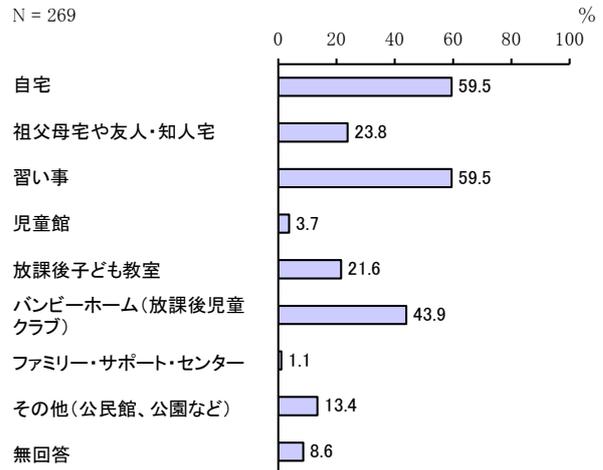
放課後子ども教室の日数は、「1日」の割合が69.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が10.3%となっています。

バンビーホーム（放課後児童クラブ）の日数は、「5日」の割合が43.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が19.5%、「2日」、「4日」の割合が12.7%となっています。

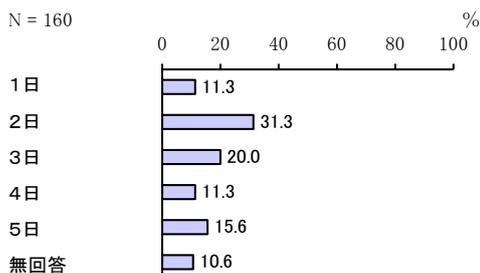
バンビーホーム（放課後児童クラブ）の利用終了時刻は、「18時以降」の割合が49.2%と最も高く、次いで「17時台」の割合が28.8%となっています。

ファミリー・サポート・センターの日数は、「2日」が1件となっています。

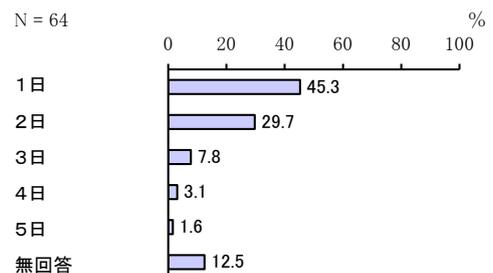
その他の日数は、「1日」の割合が38.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が33.3%、「3日」の割合が13.9%となっています。



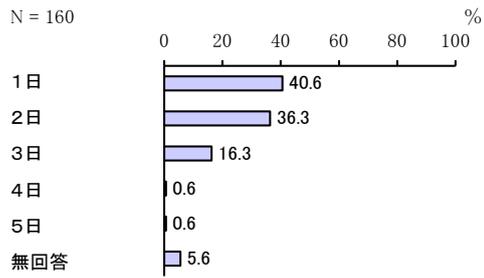
自宅



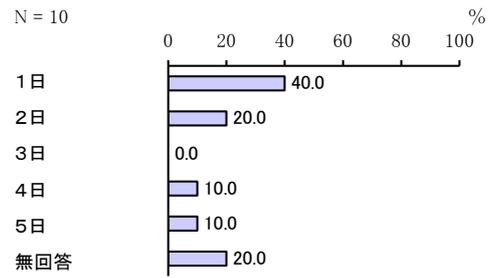
祖父母宅や友人・知人宅



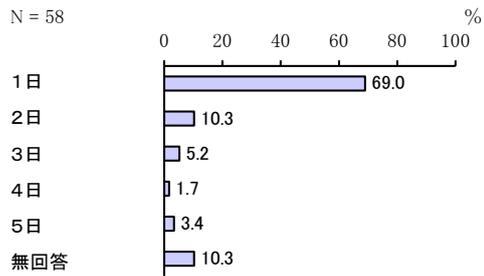
習い事



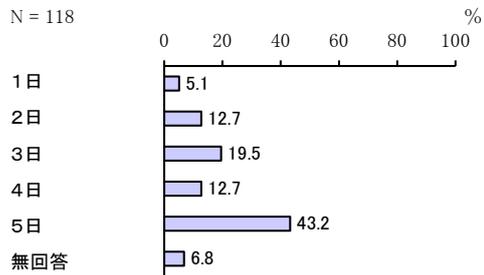
児童館



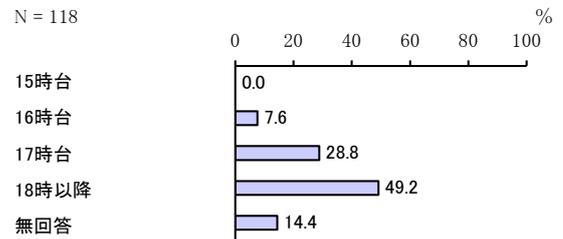
放課後子ども教室



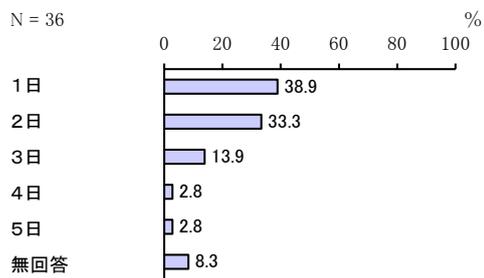
バンビーホーム (放課後児童クラブ)



バンビーホーム 利用終了時刻

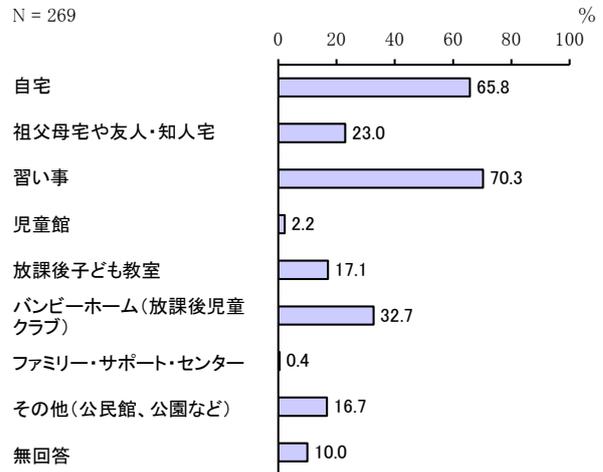


その他



問 27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

5歳児童については、「習い事」の割合が70.3%と最も高く、次いで「自宅」の割合が65.8%、「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」の割合が32.7%となっています。



自宅の日数は、「2日」の割合が32.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が21.5%、「5日」の割合が17.5%となっています。

祖父母宅や友人・知人宅の日数は、「1日」の割合が46.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.4%となっています。

習い事の日数は、「2日」の割合が43.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が29.1%、「1日」の割合が17.5%となっています。

児童館の日数は、「2日」が2件、「1日」、「4日」、「5日」が1件となっています。

放課後子ども教室の日数は、「1日」の割合が67.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が10.9%となっています。

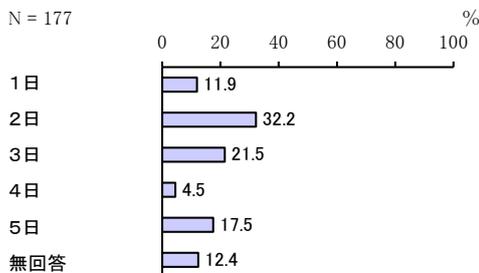
バンビーホーム（放課後児童クラブ）の日数は、「5日」の割合が28.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が27.3%、「2日」の割合が15.9%となっています。

バンビーホーム（放課後児童クラブ）の利用終了時刻は、「18時以降」の割合が51.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が20.5%となっています。

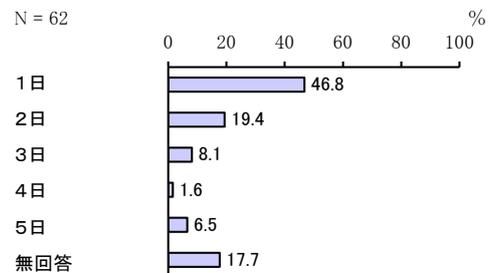
ファミリー・サポート・センターの日数は、有効回答はありません。

その他の日数は、「1日」の割合が44.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が31.1%、「3日」の割合が13.3%となっています。

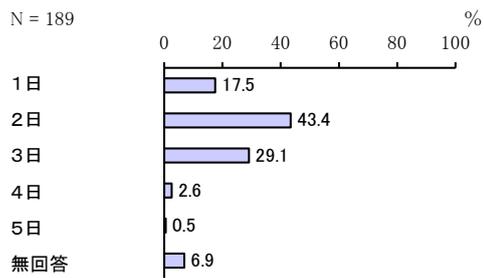
自宅



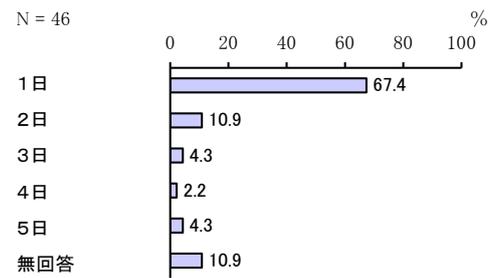
祖父母宅や友人・知人宅



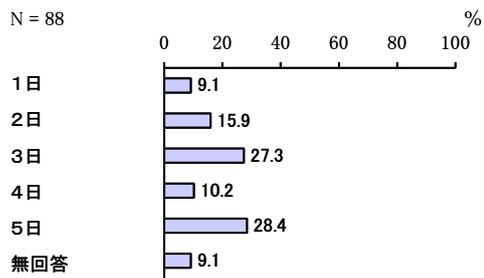
習い事



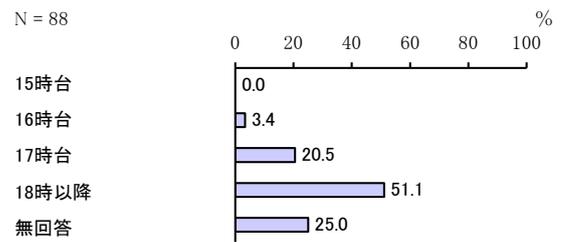
放課後子ども教室



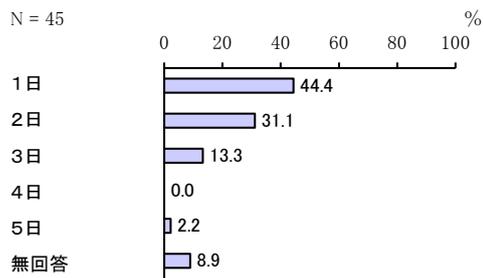
バンビーホーム (放課後児童クラブ)



バンビーホーム 利用終了時刻



その他



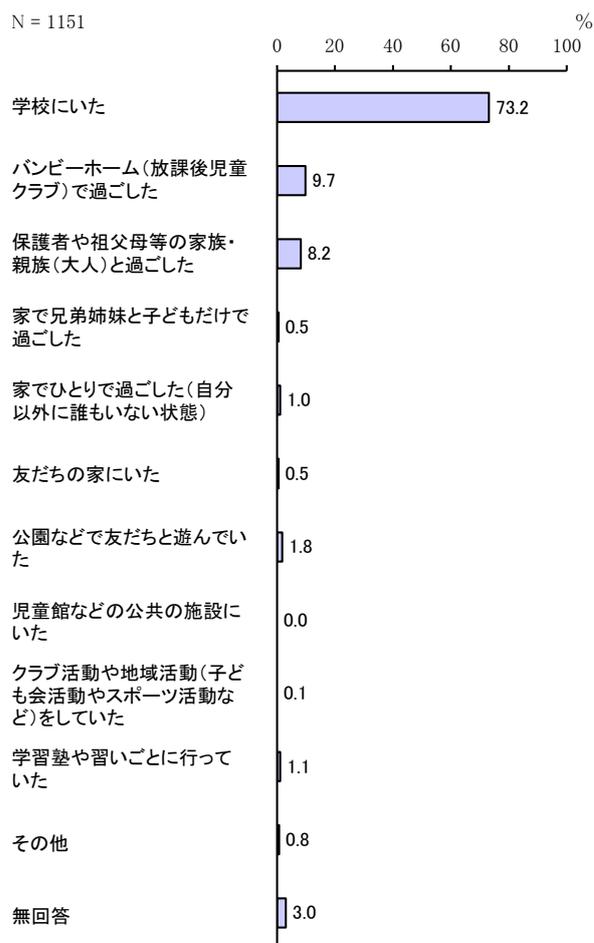
2 小学生

- (1) お住まいの地域について
- (2) 子どもと家族の状況について
- (3) 保護者の就労状況について
- (4) 放課後の過ごし方について

問 14 平日の放課後のお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとに当てはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選んで下の表に番号をご記入ください。

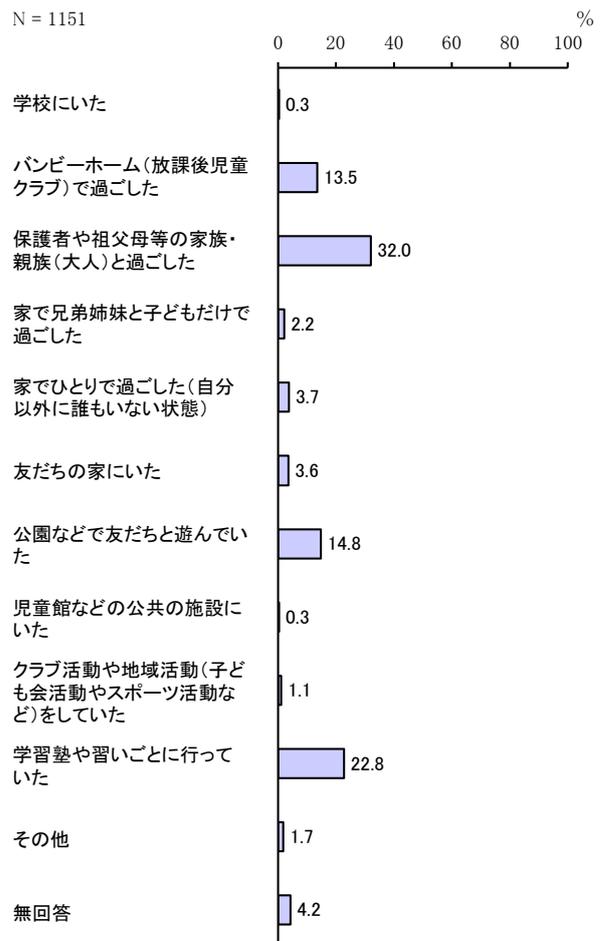
14～16時

「学校にいた」の割合が73.2%と最も高くなっています。



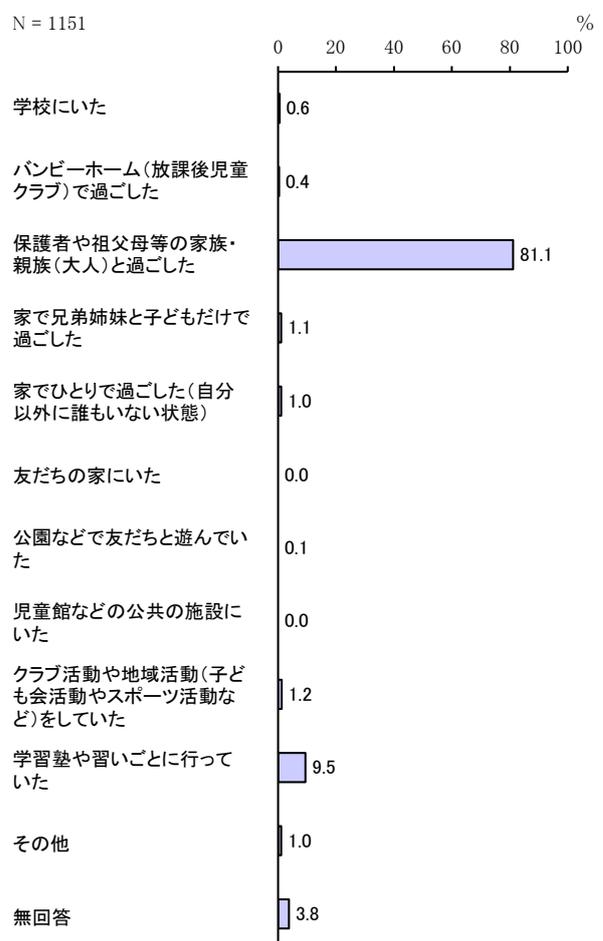
16～18 時

「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「学習塾や習いごとに行っていた」の割合が 22.8%、「公園などで友だちと遊んでいた」の割合が 14.8%となっています。



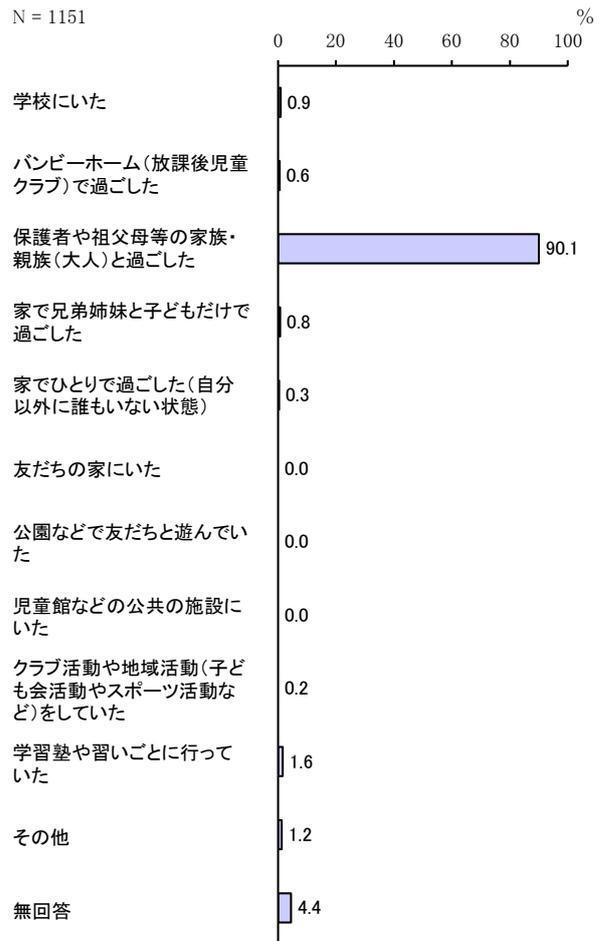
18～20 時

「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」の割合が 81.1%と最も高くなっています。



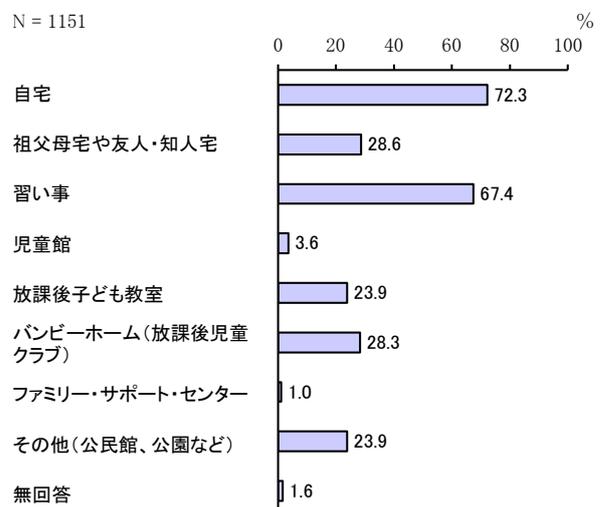
20 時以降

「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」の割合が 90.1%と最も高くなっています。



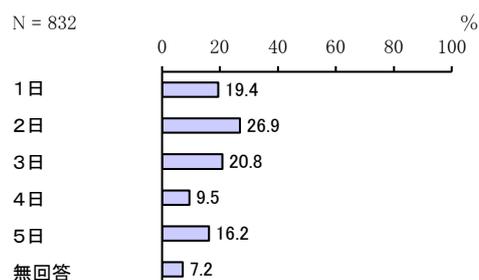
問 15 問 15～問 16 は、すべての方にうかがいます。あて名のお子さんが設問の学年に当てはまらない場合も「希望」としてご記入ください。あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

「自宅」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 67.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が 28.6%となっています。



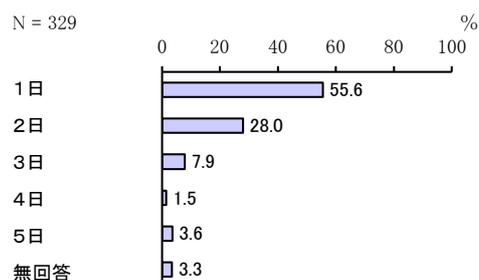
自宅の1週あたり日数

「2日」の割合が26.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.8%、「1日」の割合が19.4%となっています。



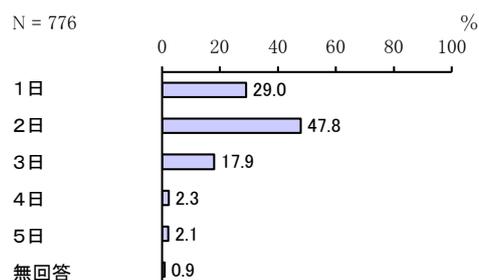
祖父母宅や友人・知人宅の1週あたり日数

「1日」の割合が55.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.0%となっています。



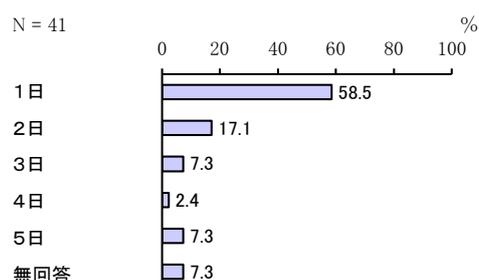
習い事の1週あたり日数

「2日」の割合が47.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が29.0%、「3日」の割合が17.9%となっています。



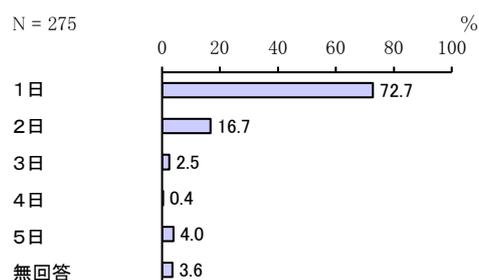
児童館の1週あたり日数

「1日」の割合が58.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.1%となっています。



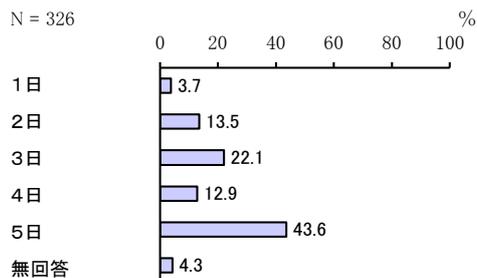
放課後子ども教室の1週あたり日数

「1日」の割合が72.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.7%となっています。



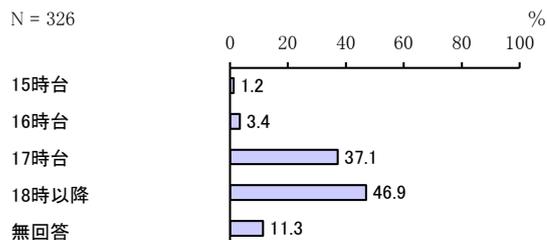
バンビーホーム（放課後児童クラブ）の1週あたり日数

「5日」の割合が43.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が22.1%、「2日」の割合が13.5%となっています。



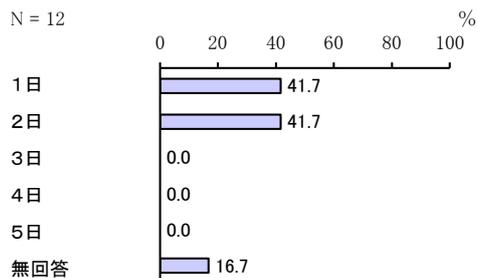
バンビーホーム（放課後児童クラブ）の終了時刻

「18時以降」の割合が46.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が37.1%となっています。



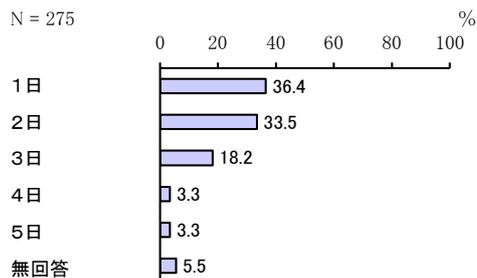
ファミリー・サポート・センターの1週あたり日数

「1日」、「2日」の割合が41.7%となっています。



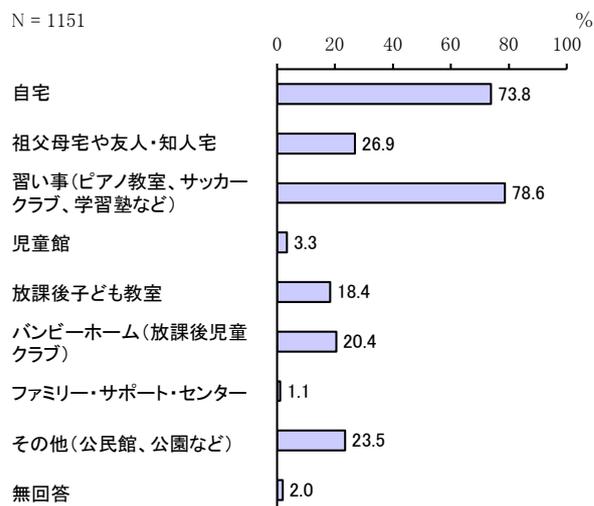
その他（公民館、公園など）の1週あたり日数

「1日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が33.5%、「3日」の割合が18.2%となっています。



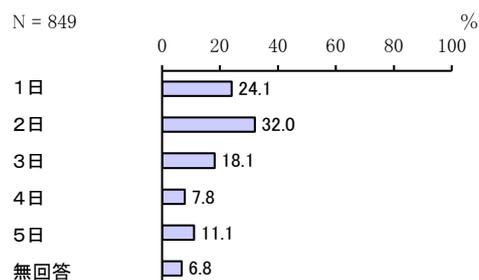
問 16 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が78.6%と最も高く、次いで「自宅」の割合が73.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が26.9%となっています。



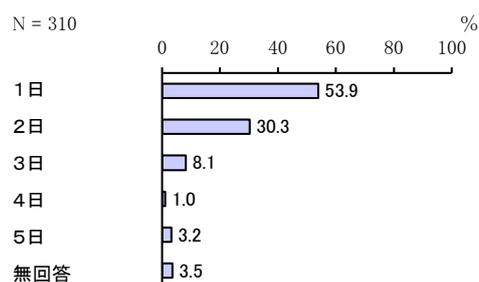
自宅の1週あたり日数

「2日」の割合が32.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が24.1%、「3日」の割合が18.1%となっています。



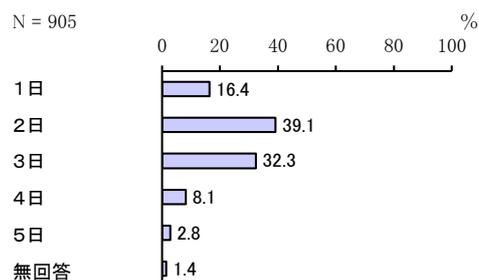
祖父母宅や友人・知人宅の1週あたり日数

「1日」の割合が53.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が30.3%となっています。



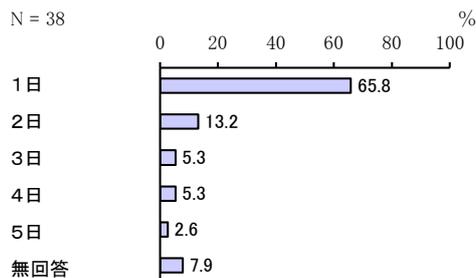
習い事の1週あたり日数

「2日」の割合が39.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が32.3%、「1日」の割合が16.4%となっています。



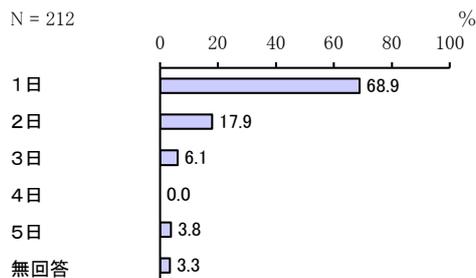
児童館の1週あたり日数

「1日」の割合が65.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.2%となっています。



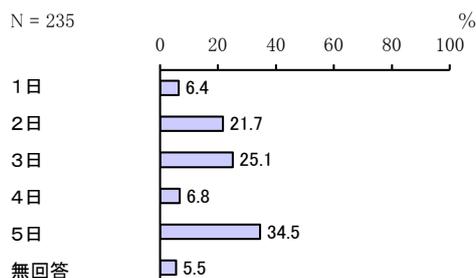
放課後子ども教室の1週あたり日数

「1日」の割合が68.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.9%となっています。



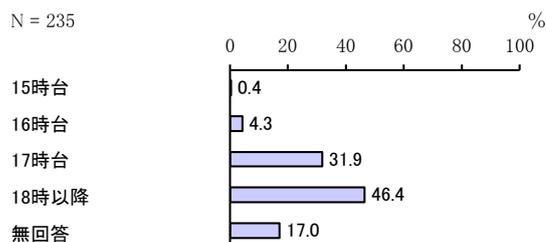
バンビーホーム（放課後児童クラブ）の1週あたり日数

「5日」の割合が34.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が25.1%、「2日」の割合が21.7%となっています。



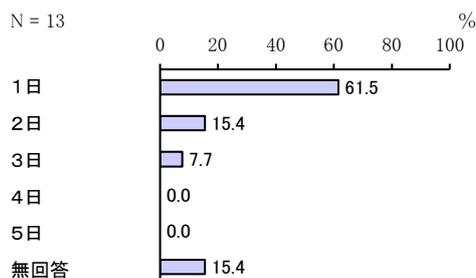
バンビーホーム（放課後児童クラブ）の終了時刻

「18時以降」の割合が46.4%と最も高く、次いで「17時台」の割合が31.9%となっています。



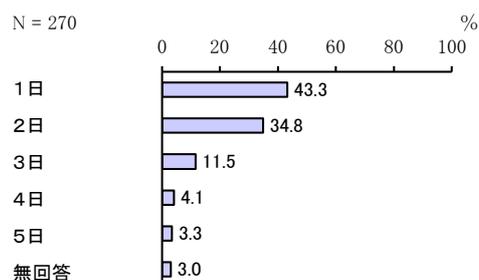
ファミリー・サポート・センターの1週あたり日数

「1日」の割合が61.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が15.4%となっています。



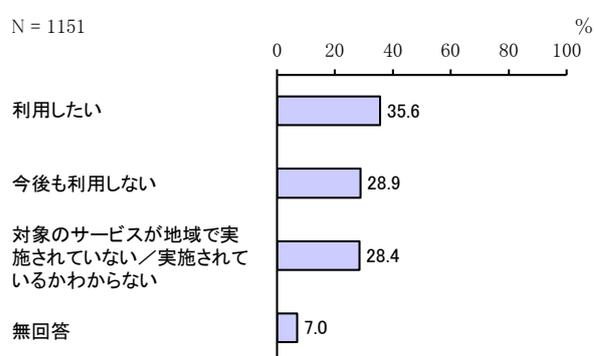
その他（公民館、公園など）の1週あたり日数

「1日」の割合が43.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が34.8%、「3日」の割合が11.5%となっています。



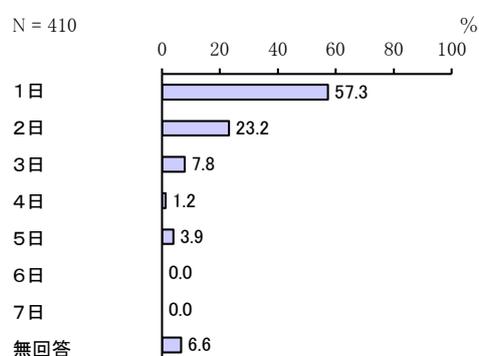
問19 地域によっては、バンビーホーム（放課後児童クラブ）と連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある方は、希望する日数を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用したい」の割合が35.6%と最も高く、次いで「今後も利用しない」の割合が28.9%、「対象のサービスが地域で実施されていない／実施されているかわからない」の割合が28.4%となっています。



利用したい1週あたり日数

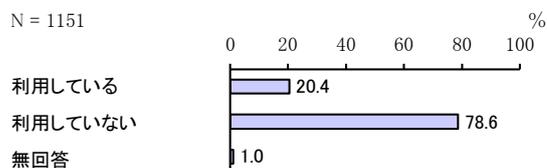
「1日」の割合が57.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.2%となっています。



(5) バンビーホーム（放課後児童クラブ）の利用について

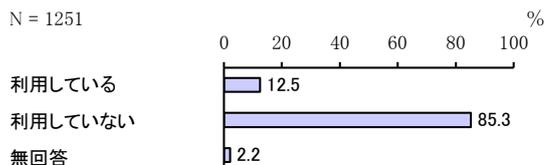
問 20 あて名のお子さんについて、現在、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用していない」の割合が 78.6%、「利用している」の割合が 20.4%となっています。



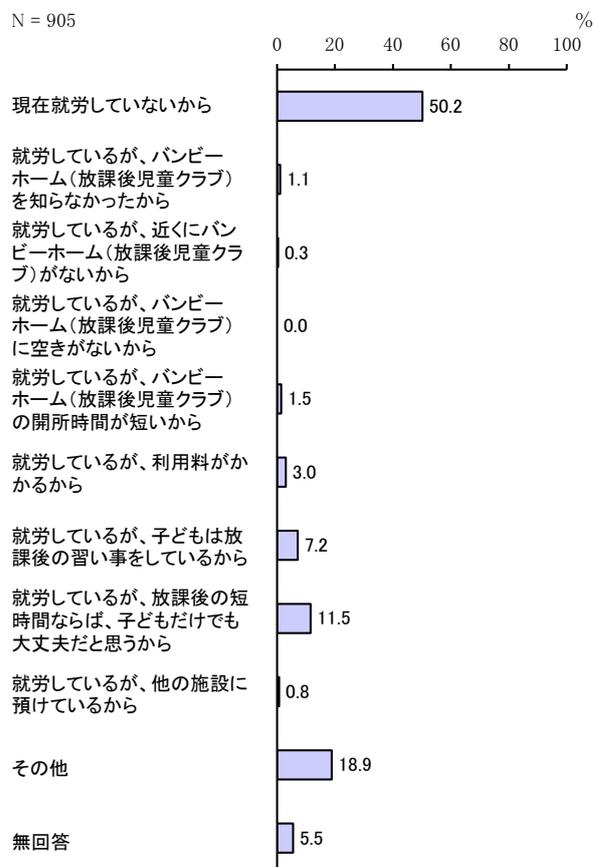
【参考：前回調査結果】

前回調査では、「利用している」が 12.5%と今回より少なくなっています。



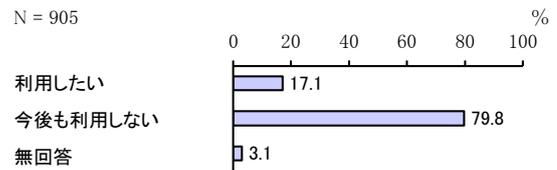
問 20-2 問 20 で「2. 利用していない」に○をつけた方におうかがいします。利用していない理由について、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「現在就労していないから」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が 11.5%となっています。



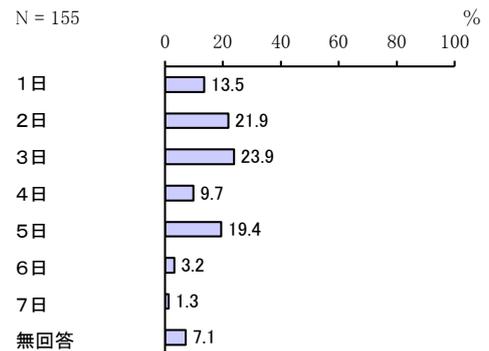
問 20-3 問 20 で「2. 利用していない」に○をつけた方におうかがいします。あて名のお子さんについて、今後、バンビーホーム（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「今後も利用しない」の割合が 79.8%、「利用したい」の割合が 17.1%となっています。



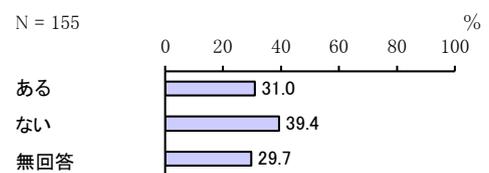
利用したい 1 週当たり日数

「3日」の割合が 23.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が 21.9%、「5日」の割合が 19.4%となっています。



土・日の利用希望

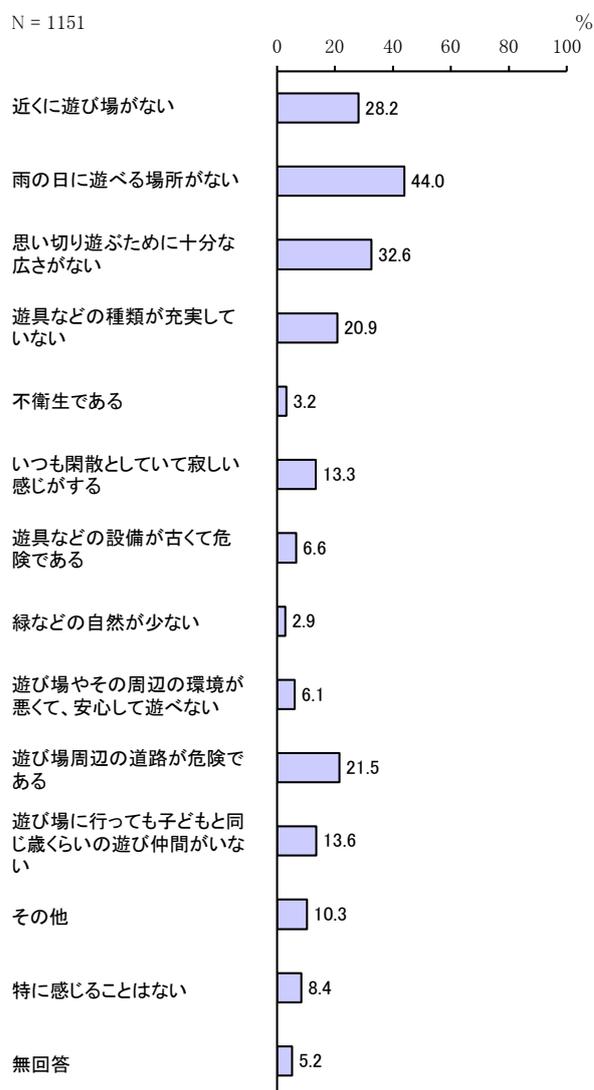
「ない」の割合が 39.4%、「ある」の割合が 31.0%となっています。



(6) 居場所について

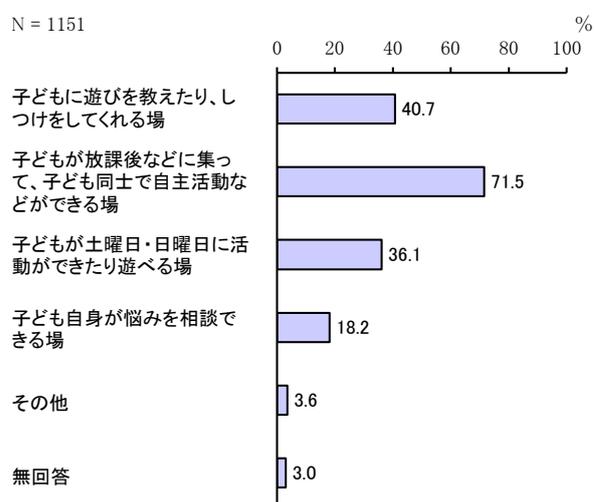
問 21 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。下の中から番号を3つまで選んで○をつけてください。

「雨の日に遊べる場所がない」の割合が44.0%と最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」の割合が32.6%、「近くに遊び場がない」の割合が28.2%となっています。



問 22 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場」の割合が71.5%と最も高く、次いで「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」の割合が40.7%、「子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場」の割合が36.1%となっています。



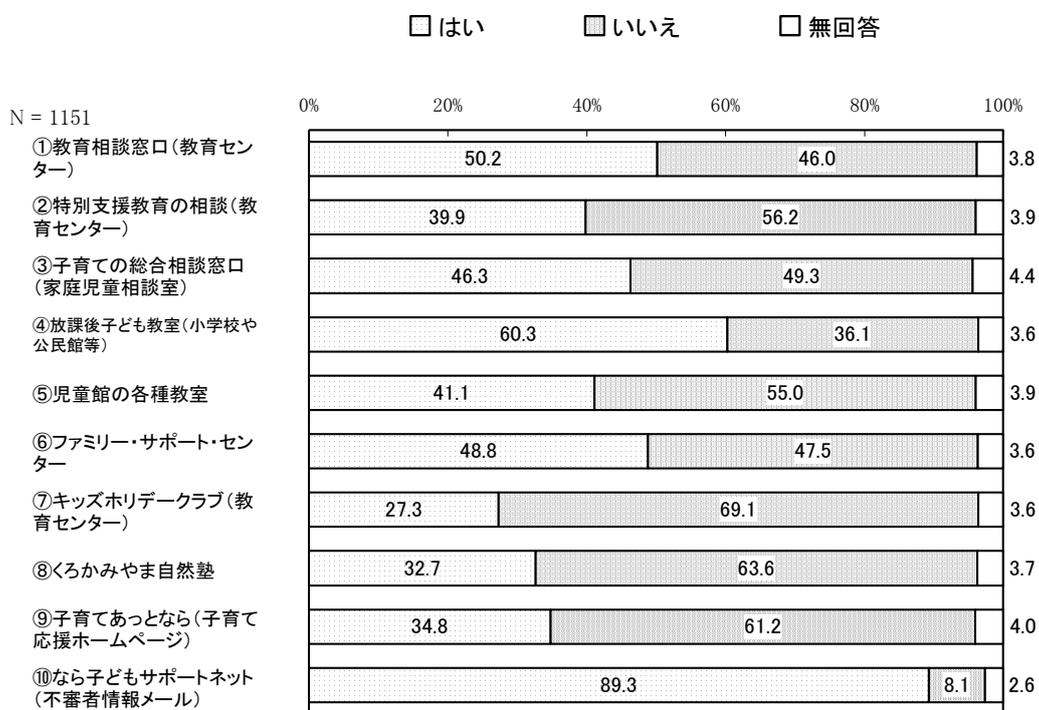
(7) 病気の際の対応について

(8) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 24 奈良市では、下記の事業や取り組みを行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

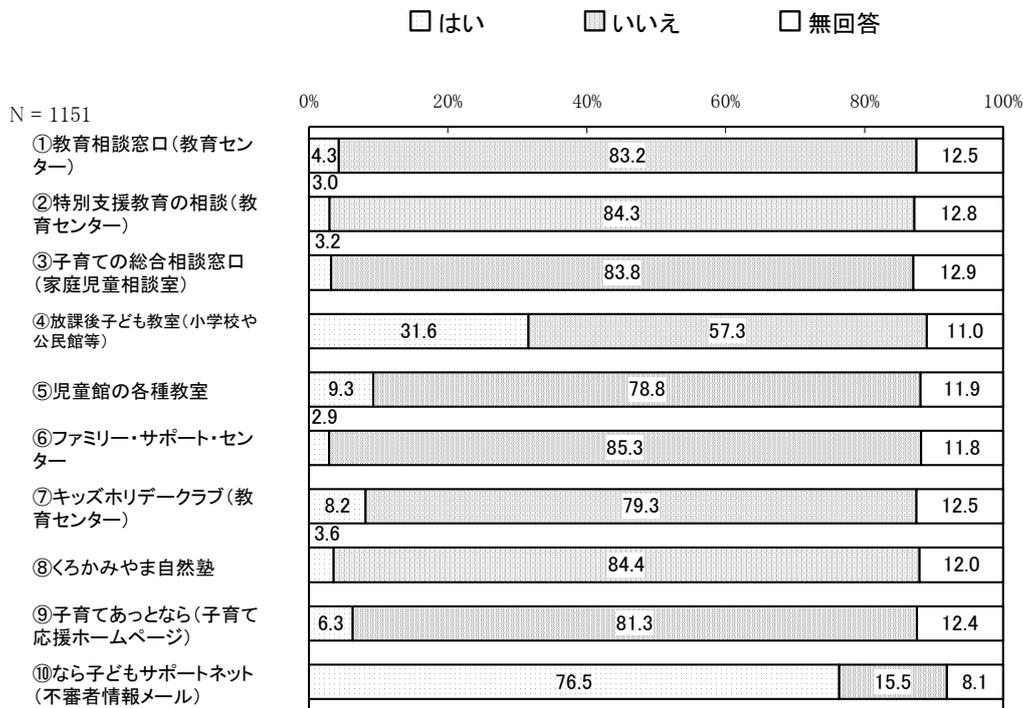
< 認知度 >

①教育相談窓口（教育センター）、④放課後子ども教室（小学校や公民館等）、⑩なら子どもサポートネット（不審者情報メール）で「はい（知っている）」の割合が高く、5割以上となっています。特に⑩なら子どもサポートネット（不審者情報メール）については、89.3%と高くなっています。



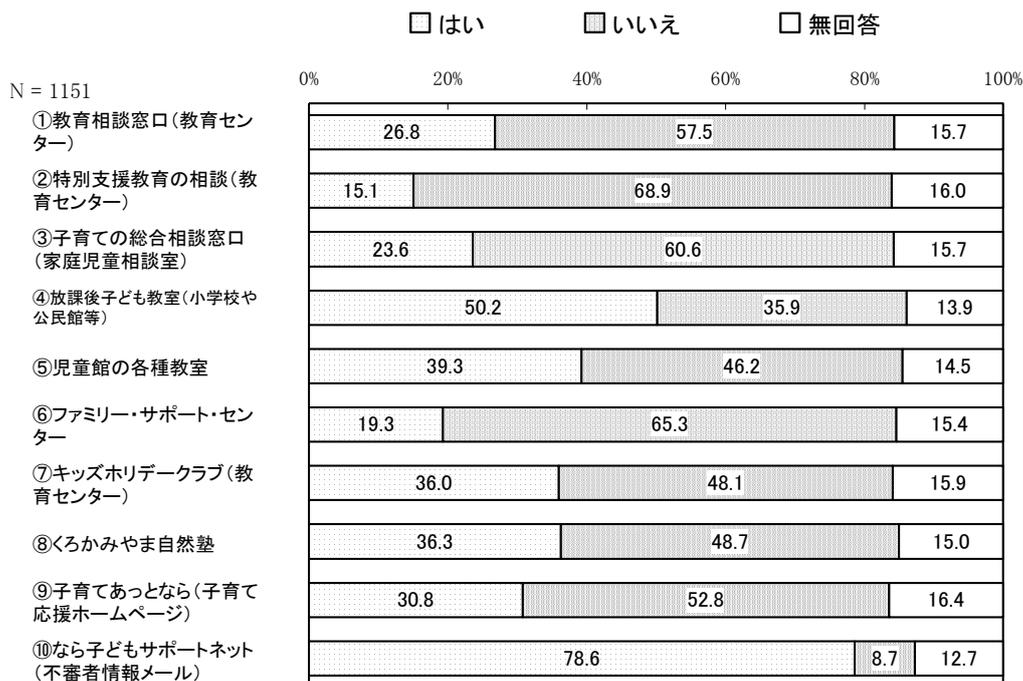
< 利用の有無 >

⑩なら子どもサポートネット（不審者情報メール）で「はい（利用したことがある）」の割合が高く 76.5%となっており、次いで、④放課後子ども教室（小学校や公民館等）で 31.6%となっています。



< 利用意向 >

④放課後子ども教室（小学校や公民館等）、⑩なら子どもサポートネット（不審者情報メール）で「はい（利用したい）」の割合が高く、5割以上となっています。特に⑩なら子どもサポートネット（不審者情報メール）については、78.6%と高くなっています。



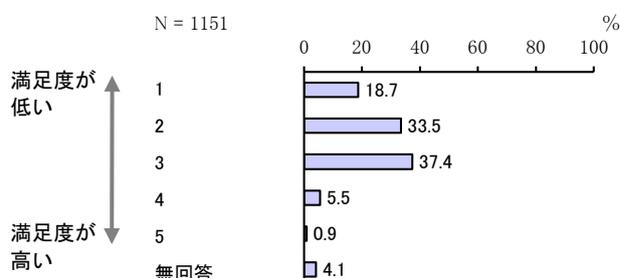
(9) 一時預かり等の利用について

(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

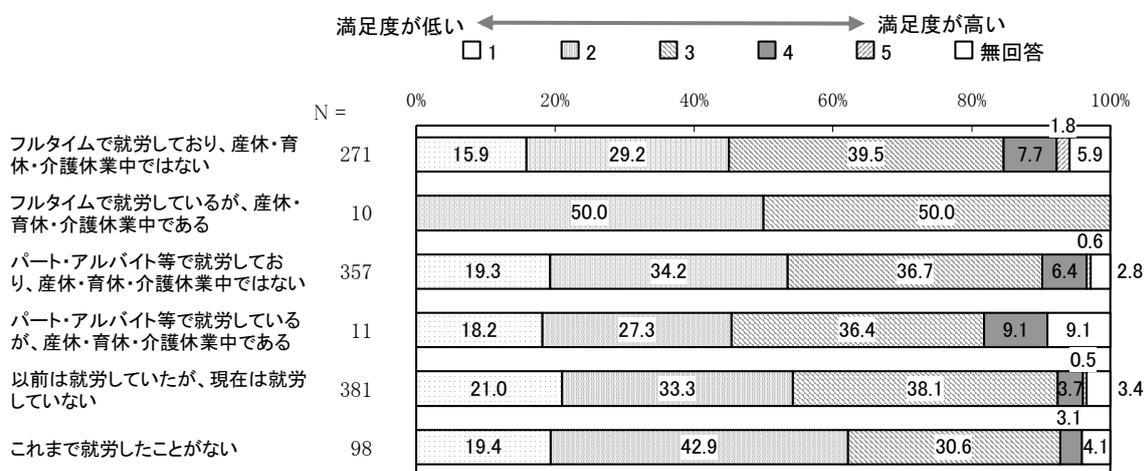
(11) 子育てに関する困りごとなどについて

問 29 奈良市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が37.4%と最も高く、次いで「2」の割合が33.5%、「1」の割合が18.7%となっています。

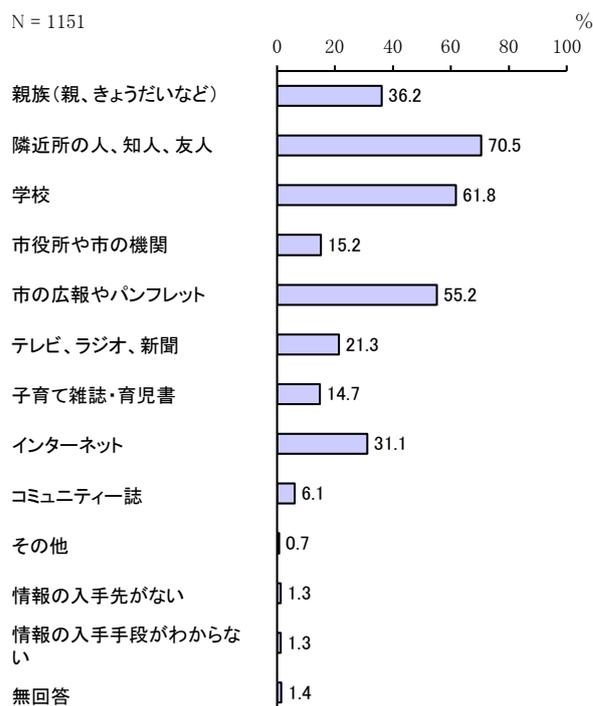


[母親の就労状況別]



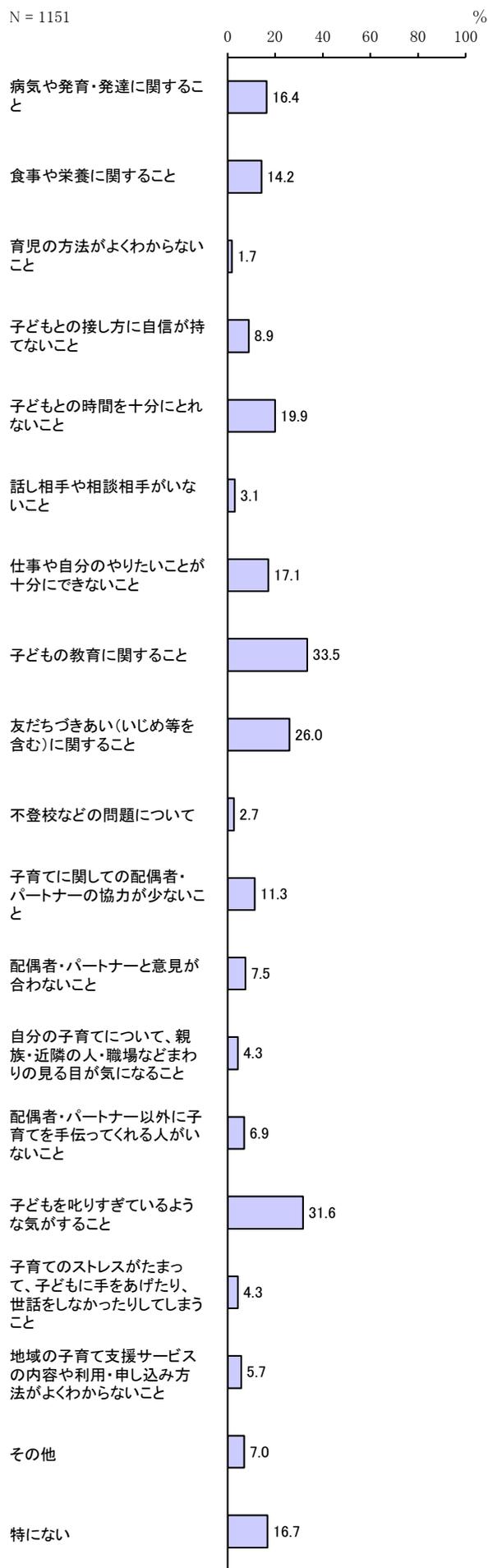
問 30 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「隣近所の人、知人、友人」の割合が70.5%と最も高く、次いで「学校」の割合が61.8%、「市の広報やパンフレット」の割合が55.2%となっています。



問 31 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育に関すること」の割合が33.5%と最も高く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が31.6%、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」の割合が26.0%となっています。



[子育ての環境や支援への満足度別]

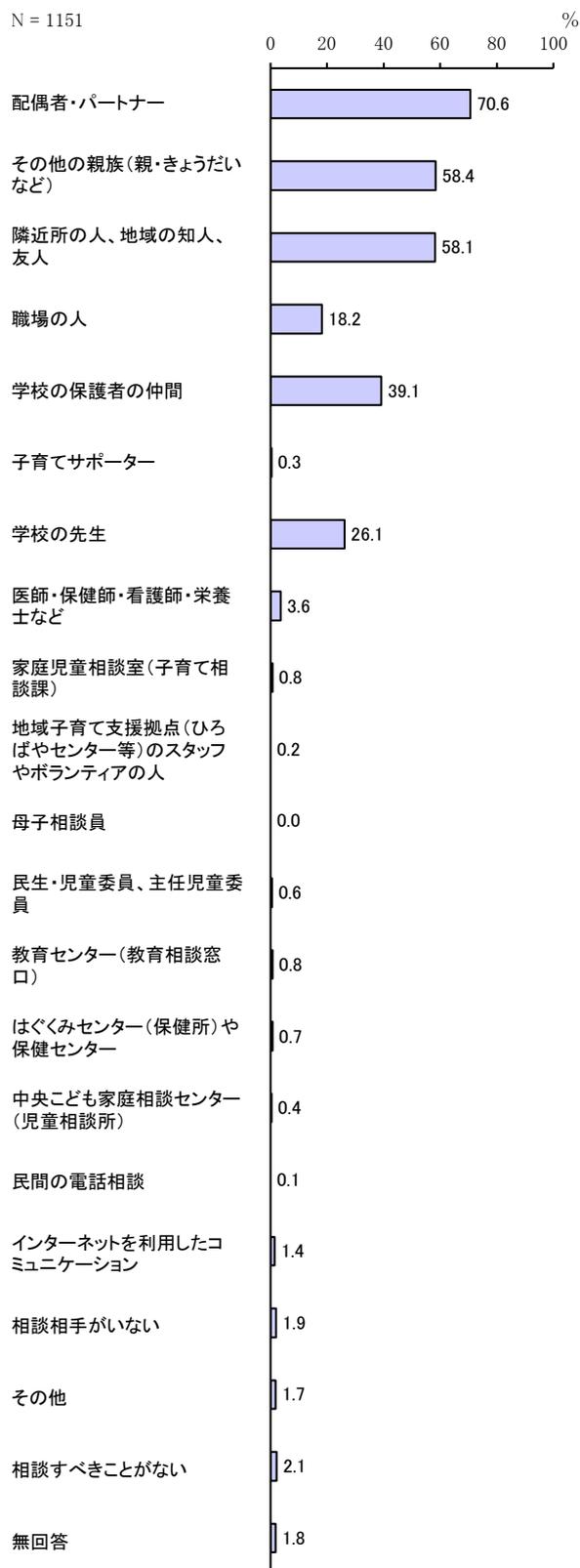
単位：%

	有効回答数(件)	病気や発育・発達に関する事	食事や栄養に関する事	育児の方法がよくわからない事	子どもとの接し方に自信が持てない事	子どもとの時間を十分にとれない事	話し相手や相談相手がいない事	仕事や自分のやりたいことが十分にできない事	子どもの教育に関する事	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関する事	不登校などの問題について
1(満足度が低い)	215	15.3	13.5	1.9	9.3	23.3	6.0	25.1	36.7	26.5	3.3
2	386	16.8	13.7	1.6	7.5	18.9	2.6	18.9	33.7	26.7	3.1
3	430	17.7	15.8	1.9	11.4	18.8	2.3	13.7	34.0	26.5	2.6
4	63	19.0	14.3	3.2	4.8	27.0	3.2	11.1	36.5	23.8	—
5(満足度が高い)	10	20.0	—	—	—	20.0	—	—	40.0	30.0	—

	有効回答数(件)	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない事	配偶者・パートナーと意見が合わない事	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になる事	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない事	子どもを叱りすぎているような気がする事	子育てのストレスがたまったり、世話をしなかつたりしてしまう事	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない事	その他	特になし	無回答
1(満足度が低い)	215	13.0	7.0	4.7	10.2	32.6	6.0	9.8	13.0	14.0	2.8
2	386	13.7	9.8	3.6	9.3	33.2	4.1	7.0	7.0	13.7	1.6
3	430	10.7	6.0	4.9	4.2	32.3	4.7	3.5	4.0	20.5	1.9
4	63	3.2	7.9	3.2	3.2	25.4	1.6	3.2	7.9	15.9	—
5(満足度が高い)	10	—	—	—	—	10.0	—	—	20.0	10.0	10.0

問 32 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者・パートナー」の割合が70.6%と最も高く、次いで「その他の親族（親・きょうだいなど）」の割合が58.4%、「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が58.1%となっています。



Ⅲ 地域別の集計結果

Ⅳ 自由記述まとめ（案：主な意見）

（１）子育て支援施設・子育て支援サービス

- 保育園・幼稚園
- 児童館
- 学童クラブ
- 学校
- 各種保育サービス（一時預かり、ファミリーサポート、病後児保育等）
- 障がいのある子どもの対応

（２）子育て情報と相談

- 子育てに関する情報
- 育児相談

（３）子育て環境

- 子どもの遊び場
- 子育てにかかわる街づくり（道路、駅等）
- 地域のつながり、協力等
- 母子保健（小児科、保健所等）
- 市の施設

（４）子育てする親の状況

- 保護者の休息、リフレッシュ、子育て不安等
- 子育てと仕事の両立

（５）行政について

- 金銭的な支援（医療費助成、児童手当、補助等）
- その他

（６）アンケートの感想

Ⅵ 資料編

子ども・子育て支援事業計画素案骨子作成に向けて

(第3回事業計画策定部会の資料にご意見の追加・修正をしたもの)

奈良市子ども未来部子ども政策課
平成26年2月26日

事業計画策定部会の審議状況について

事 項	平成25年度			平成26年度 (※①)			
	第1回 8. 9	第2回 10. 4	第3回 1. 31	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
～スタート～ ニーズ調査項目の検討							
事業計画の素案骨子の検討							
次世代計画における取組評価							
事業計画の素案の検討							
ニーズ量と確保方策の検討			※②				
～ゴール～ パブリックコメント手続・修正							

取組の評価に関する詳細な審議は、「奈良市次世代育成支援対策地域協議会」に委ねる

「確保方策」については、8～9月に奈良県に報告する

- (備考) ※① 平成26年度の部会開催数については、今後調整。
 ※② 「量の見込み」については、4月中旬に国が調査を行う予定。
 ※③ 平成26年度において、四半期ごと等の一定の期間ごとに奈良県に報告・協議が行われる予定。

事業計画の構成（案）について

【 奈良市 〇〇プラン 】

1. 事業計画の策定について（3ページ）

- （1）事業計画の目的・趣旨、位置づけ
- （2）事業計画の期間
- （3）事業計画の対象
- （4）本市の他計画との関係

2. 事業計画の基本的な理念・考え方について（5ページ）

- 奈良市の子ども・子育てに対する基本理念と基本方針

3. 奈良市の子ども・子育て家庭を取り巻く状況と課題について（7ページ）

- 次世代計画（後期計画）に基づくこれまでの実績
- 奈良市の子ども・子育て家庭を取り巻く状況

4. 奈良市の子ども・子育て支援のこれからの取組について（8ページ）

- 子ども・子育て支援事業計画における基本目標・基本施策

5. 各提供区域における実施計画について（11ページ）

- 各提供区域における教育・保育施設等の量の見込みと確保の内容
- 各提供区域における地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の内容

6. 計画の推進体制について（15ページ）

- PDCAサイクルの確保

7. 参考資料等

（第2回の部会でいただいたご意見）

- 事業計画の読み手が誰なのかを明確にした方がよいのではないか。概要版の活用。
- 「〇〇プラン」等の愛称は、話題にもなるので検討してもよいのではないか。

1. 事業計画の策定について

(1) 事業計画の目的・趣旨、位置づけ

本市が策定する事業計画は、子ども・子育て支援法に基づく「基本指針（案）」に定められた記載事項のほか、現行の「奈良市次世代育成支援行動計画（後期計画：平成22年度～26年度）から引き継ぐべき事業を付加した計画として位置づける。

(2) 事業計画の期間

計画期間は、平成27年度～平成31年度までの5か年とする。

(3) 事業計画の対象

奈良市に住むすべての子ども、子育て家庭、地域住民、行政等の個人及び団体を対象とする。なお、子ども・子育て支援法における「子ども」とは、満18歳未満とされているが、本市の事業計画の主な対象は現行の次世代育成支援行動計画と同様に、義務教育終了前までの児童とする。

(4) 本市の他計画との関係

本市の上位計画や関連性を有する計画について記載する。事業計画の策定にあたっては、関連する分野別計画との整合・連携を図ることとするが、特に「基本指針（案）」に定められた任意記載事項については、基本的には既存の分野別計画に委ねることとし、必要に応じて事業計画にもその内容を記載するものとする。

<<上位計画>> ・奈良市第4次総合計画（前期基本計画：平成23年度～27年度、後期基本計画：平成28年度～32年度）

<関連計画>

※想定される計画等の例

- ・奈良市男女共同参画計画（第2次）（平成23年度～32年度）
- ・第2次奈良市地域福祉計画（平成24年度～28年度）
- ・第3期奈良市障がい福祉計画（平成24年度～26年度）
- ・奈良市障がい者福祉基本計画（平成16年度～25年度）
- ・奈良市母子家庭・父子家庭等自立促進計画（平成25年度～29年度）
- ・奈良市食育推進計画（平成20年度～24年度：第2次策定中）
- ・奈良市21健康づくり（平成16年度～24年度：第2次策定中）
- ・奈良市教育ビジョン（前期：平成21年度～25年度、後期：平成26年度～30年度）

(参考1：次世代育成支援対策推進法の延長と見通しと子ども・子育て支援事業計画との関係について)

- 子ども・子育て支援法附則第2条第2項において、「政府は、平成27年度以降の次世代育成支援対策推進法の延長について検討を加え、必要があると認めるときは、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする」とされている。
この延長の検討は、ワーク・ライフ・バランスの促進など、主に一般・特定事業主行動計画の取り扱いが中心となるが、「少子化危機突破のための緊急対策」（平成25年6月7日少子化社会対策会議決定）において「次世代育成支援対策推進法の延長・強化の検討」が盛り込まれたことや、先般取りまとめられた社会保障制度改革国民会議報告書においても「その延長、見直しを積極的に検討すべき」とされたこと等も踏まえ、引き続き政府内部での検討を進めていく。
- 次世代育成支援対策推進法に根拠を置く地域の子育て支援に係る財政支援は、平成27年度以降は子ども・子育て支援事業計画に基づくものに移行する。このため、平成27年度以降は、市町村におかれては、財政支援の根拠となる計画としては、市町村子ども・子育て支援事業計画を作成いただければ足りる。
- なお、子ども・子育て支援法に基づく財政支援の対象とはならない事業等であって、現行の次世代計画に記載しているものについて、市町村子ども・子育て支援事業計画の中に一体的に盛り込むか否かは、各自治体のご判断による。

※ 基本指針（案）Q&A（第2版）より引用

(参考2：他の計画との関係について)

- 子ども・子育て支援事業計画は、地域福祉計画（社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条に規定する市町村地域福祉計画及び同法第108条に規定する都道府県地域福祉支援計画をいう。）、教育振興基本計画（教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第2項の規定により市町村又は都道府県が定める教育の振興のための施策に関する基本的な計画をいう。）、母子家庭及び寡婦自立促進計画（母子及び寡婦福祉法（昭和39年法律第129号）第11条第2項第3号に規定する母子家庭及び寡婦自立促進計画をいう。以下同じ。）、障害者計画（障害者基本法（昭和45年法律第84号）第11条第2項に規定する都道府県障害者計画及び同条第3項に規定する市町村障害者計画をいう。）、児童福祉法第56条の4の2第1項に規定する市町村整備計画（以下「市町村整備計画」という。）その他の法律の規定により市町村又は都道府県が作成する計画であって、子ども・子育て支援に関する事項を定めるもの並びに放課後子どもプラン事業計画その他の子ども・子育て支援に関する事項を定める計画との間の調和が保たれたものとする必要がある。
なお、他の法律の規定により市町村又は都道府県が作成する計画であって、子ども・子育て支援事業計画と盛り込む内容が重複するものについては、子ども・子育て支援事業計画と一体的のものとして作成して差し支えない。

2. 事業計画の基本的な理念・考え方について

○ 以下に示した事項は、現行の奈良市次世代育成支援行動計画（後期計画）における基本理念及び基本方針であるが、事業計画の策定にあたっては、現行の理念及び方針をベースとして検討を進めるものとする。

<次世代計画における基本理念>

「豊かな心を持ち、未来をひらく子どもを育むまち・なら」 — 子どもたちの笑顔が輝るまちづくり —

- ① 子どもの人権を尊重し、明日の奈良市を担う子どもたちが、豊かな人間性を育み、個性と能力を伸ばしながら、自分で未来をひらく力を身につけられるまちづくりをめざします。
- ② 子どもたちがすこやかに育ち、その笑顔が輝き続けることができるように、安心して子どもを生き育て、子育てに喜びや希望を感じられる社会をめざします。

<次世代計画における基本方針>

① 子ども一人ひとりの最善の利益を優先する

子どもたちの笑顔は、親や家庭のみならず地域全体の未来を輝かすみんなの宝物です。そのために、子育て支援策は、子ども一人ひとりの最善の利益を尊重し、子どものすこやかな育ちと、その生活が保障されることを念頭に置きます。そのうえで、育児不安、児童虐待、不登校いじめなどの課題に対し、「すべての子どもと家庭」への支援という視点から、子どもの成長に応じて、多様なニーズに対応した取り組みを展開することが必要です。

② 子どもとふれあう体験を通じて、おとなも豊かになれるまちをめざす

子どもがすこやかに育つためには、親や家族、地域の温かい愛情や支援が必要となります。中学生や高校生は、子どもとふれあう体験を通じて、子どもを生き育てることの喜びや感動を感じ、次代の親となるための段階に進みます。さらに、子育て期、中高年期には、各段階に応じて多様な生き方を選択することで、仕事と生活の調和の実現をめざし、子育て支援という社会的役割を担いながら、おとなの心も豊かにするまちづくりを進めます。

(第2回の部会でいただいたご意見)

- 奈良市の現行の次世代計画の施策の体系について、分解せずに国の基本指針等と新旧対照という形で比較してみてもどうか。用語の使い方は修正する必要があると思われるが継続性を考えて微調整でも可能ならば望ましい。制度変更により切れ目が出てしまわないように、突合をお願いしたい。
- 現行の施策の体系について、基本理念等は大きく変わらないと思われるが、新制度の新しい取組が見える形で追加・修正してみてもどうか。

(第3回の部会でいただいたご意見)

- 子ども条例に関連して、奈良市でも「子どもにやさしいまちづくり条例」として策定の準備を進めているところであり、「どんな子どもになって欲しいのか」「保護者をどう支援していくのか」「地域の役割は何か」ということを柱にして検討している。基本理念は次世代計画で10年間継続されてきたもので、簡単には変えられないかもしれないが、例えば「子どもたちの笑顔が輝るまち」を「子どもにやさしいまちづくり」に変更する等、どこかにキーワードを記載しておけば条例と事業計画との関連性を確認することができる。
- 基本方針の説明文章に関して、1番目は子どもの利益だけではなく子育て家庭の支援についても触れられている。2番目については、触れ合いだけではなく、ワーク・ライフ・バランス的な内容も記載されているため、タイトルを明確化したほうがわかりやすいのではないかと。
- 基本理念からの流れで考えると、基本方針の1番目は子どもがどう育つかということで、2番目が地域で子育て環境をどう醸成するかということにつながると思われるが、2番目だけが細かく、方針というよりも具体的な事業のような印象を受ける。



【対応の方向性】

- 策定準備中の「子どもにやさしいまちづくり条例」との関連性を意識しつつ、基本方針の2番目に「地域での子育て環境の醸成」の視点も踏まえた説明書きへ修正するとともに、基本方針のタイトルを工夫する。

3. 奈良市の子ども・子育て家庭を取り巻く状況と課題について

- 奈良市の次世代計画におけるこれまでの取組について総括するほか、子ども・子育てに関する現状や課題とすべき事項についても記載し、主要な課題を整理する。

＜奈良市次世代育成支援行動計画（後期計画）に基づくこれまでの実績＞

- ・ 後期計画（平成22年度～26年度）における取組の概要について記載。
- ・ 課題だけをベースに評価するのではなく、達成した又は改善した事項についても焦点をあてる。

＜奈良市の子ども・子育て家庭と取り巻く状況＞

→ 上記の次世代計画における取組の評価に加えて、ニーズ調査における分析結果等を勘案して、以下の項目（例）のようなイメージで主要課題を整理するとともに、基本目標・基本施策につなげる。

【項目（例）のイメージ】

- ・ 少子化、核家族化等の社会環境
- ・ 妊娠、出産期からの切れ目ない支援
- ・ 地域での親子の居場所づくり、相談場所の充実
- ・ 支援を必要とする子ども及び家庭への支援の充実
- ・ 教育・保育環境の充実

（検討いただきたいポイント）

- ・ 「2. 事業計画の基本的な理念・考え方について」と併せて、子ども・子育て支援法に基づく基本指針（案）を勘案し、過不足等はないか。

4. 奈良市の子ども・子育て支援のこれからの取組について

○ 基本理念・方針や、子ども・子育てに関する現状や課題を受けて、今後5年間の奈良市の取組について、目標と施策の方向性を示す。

現行の次世代計画における基本目標・基本施策

1. 子どもを安心して楽しく育てられるまち
 - (1) 仕事と子育ての両立支援の充実
 - (2) 子育てに関する相談及び経済的支援の充実
 - (3) 様々な状況にある子どもや家庭への支援の充実
2. 子どもがいきいきと心豊かに育つまち
 - (1) 豊かな心、未来をひらく力を育む保育・教育の創造
 - (2) 遊びや多様な活動への支援
3. 地域で子どもや子育てを支援するまち
 - (1) 地域社会で子どもを育てる環境づくりの推進
 - (2) 地域の子育て支援機能の強化
4. 家族がいつまでも健康で安全・快適に暮らせるまち
 - (1) 健康づくり、母子保健、医療施策の充実
 - (2) 子どもと子育てにやさしいまちづくりの推進



事業計画における基本目標・基本施策（たたき台）

1. 子どもを安心して生み、育てられるまち
 - (1) 母子保健・医療施策の充実
 - (2) 地域における子育て支援の充実
 - (3) 様々な状況にある子育て家庭への支援の充実
2. 子どもがいきいきと心豊かに育つまち
 - (1) 未就学期の教育・保育の充実
 - (2) 学齢期の学習・体験活動の充実
 - (3) 障がいのある子どもの発達と成長の支援の充実
3. 子ども・子育て家庭が安全・安心に暮らせるまち
 - (1) 子どもと子育てにやさしいまちづくりの推進
 - (2) ワーク・ライフ・バランスの推進

(検討いただきたいポイント)

- 基本目標及び基本施策の骨組を踏襲しつつ、必須記載事項又は任意記載事項等の新制度における取組が見える形で、組合せを変更してはどうか。
- 妊娠、出産期から切れ目のない支援というキーワードに対して、前項の(案)のように「1. 子どもを安心して生み、育てられるまち」というフレームに組替えてみてはどうか。
- 新制度における幼稚園、保育所については、単に子育て支援の事業として、あるいは「量」を満たすだけでなく、認定こども園の普及と併せて「質」についても求められていることから、施設型給付に関係するものは「2. 子どもがいいきと心豊かに育つまち」として、小学校就学後の取組と併せて組替えてみてはどうか。
- 任意記載事項ではあるが、新制度における取組が見える形として、「ワーク・ライフ・バランス」を追加してはどうか。

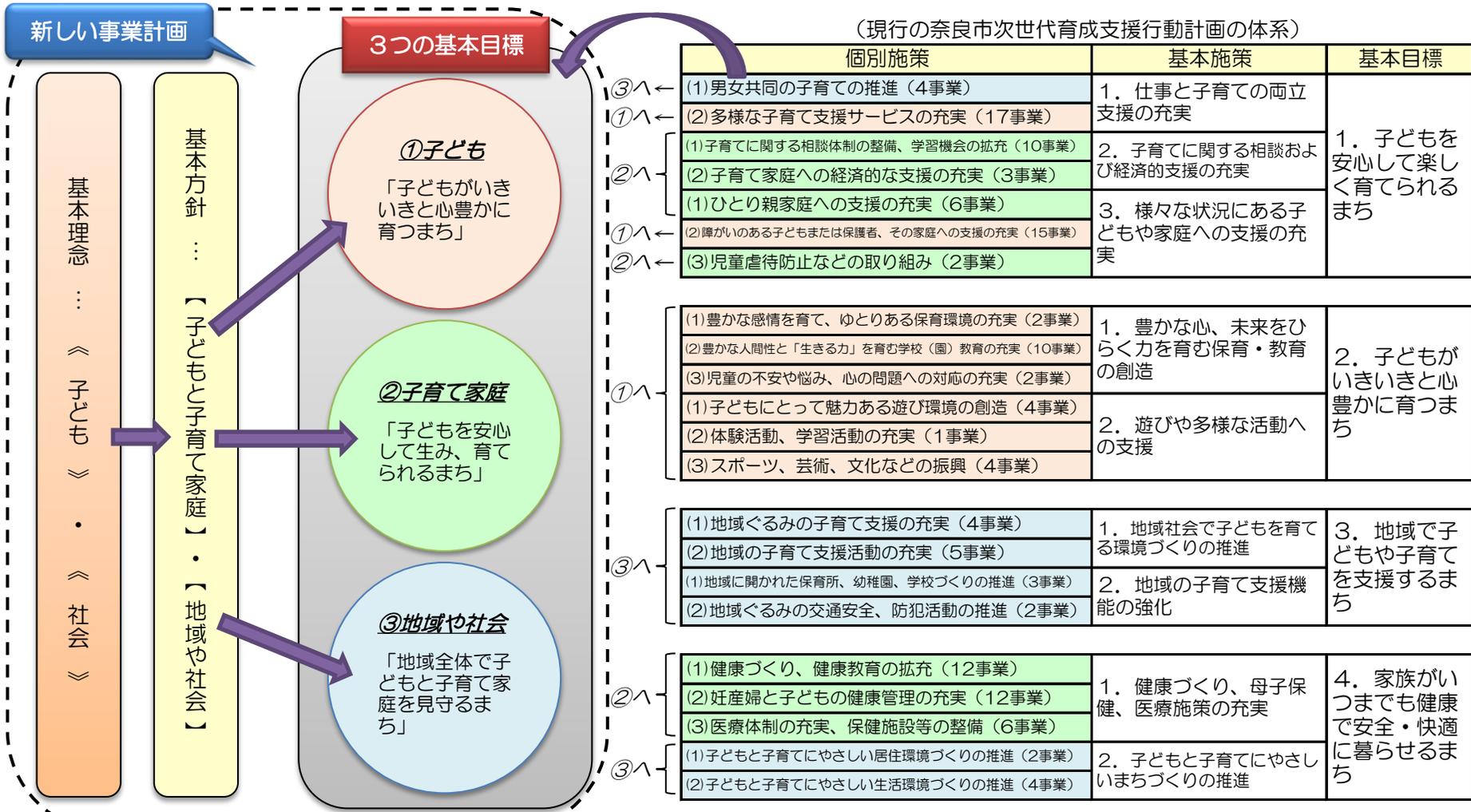


(第3回の部会でいただいたご意見)

- たたき台の2番目の柱について、「子ども」が主となっており、従来は大きく捉えられていたものを幼保一体化に向けた取組や、年齢で対応しようということで項目が増えていることはわかりやすく良いと思う。子どもの障がいについて、ニーズが高まっていることから項目に挙げて支援に力を入れていくことを示すのも良いかもしれない。
- たたき台の1番目と3番目の柱の違いを明確にしたほうがよい。また、現行計画の「3. 地域で子どもや子育てを支援するまち」というところが、たたき台では1番目の柱の中に入っているが、奈良市の状況からすると地域での子育て支援が重要だと思われるので、地域自体を作っていくという部分と地域の子育て支援自体を強化していくという部分を抜かさないようにしていただきたい。
- 現行の計画にある「相談」という言葉がたたき台の項目に見当たらないことと、「様々な状況にある」と一括りにしているところで、たたき台の2番目の柱で「障がいのある」ということで抜き出されている部分もあるので、「様々な」という表現なのか具体的に書くのか、揃えることも検討してみてはどうか。
- 市民の方が見てわかりやすい柱立てになっていることが大事なので、子どもの発達段階に分ける、もしくは担い手ごと、例えば「子ども当事者子育て家庭、学校等の施設、地域」という形で分類することもできる。
- この柱のタイトルは、今後どこに力を入れて事業をやっていきましょうという表明であり、目立つところなので、ふんわりと表現するよりは、目標としてこれに取り組みますということが明確になるほうがいいのではないかと。

【対応の方向性】

→ 6ページに記載した基本方針に関するご意見・対応方針や、9ページでのご意見等の流れを踏まえ、「子ども」「子育て家庭」「地域や社会」の3つの視点で8ページで提案した体系を整理する。基本施策及び個別施策のタイトルを設定する際には、「わかりやすさ」を意識する。



5. 各提供区域における実施計画について

○ 新制度における給付対象施設となる教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業について、提供区域ごとに、平成27年度から5年間の「量の見込み」と、見込みに対応する「確保方策」を年度ごとに記載する。

・「提供区域」は、中学校区単位を基本とする。

→ 提供区域は、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を通じて共通の区域設定とすることが基本となるが、実情に応じて施設と事業との間で、あるいは事業種別ごとに異なる区域を組み合わせることも可能。

・「量の見込み」は、施設及び事業の現在の利用状況と今後の利用希望のほか、人口動態等の社会増減等を勘案して設定する。

→ 今後の利用希望については、ニーズ調査の結果や、国から示される集計方法等の「作業の手引き」に基づき推計。

→ 教育・保育施設については、1～3号までの認定区分別に設定（3号認定子どもについては、0歳と1～2歳に区分）。

→ 確認を受けない幼稚園についても、確保方策に含める。

→ 国においては、平成29年度末までに需給のギャップを解消することが目指されている。

(参考) 「量の見込み」と「確保方策」の記載が必要となる事業について

①教育・保育施設等

→ 施設型給付 : 認定こども園、幼稚園、認可保育所

→ 地域型保育給付 : 家庭的保育事業、小規模保育事業等

②地域子ども・子育て支援事業

→ 利用者支援事業、地域子育て支援拠点事業、妊婦健診、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業、子育て短期支援事業、ファミリー・サポート・センター事業、一時預かり事業、延長保育事業、病児・病後児保育事業、放課後児童クラブ

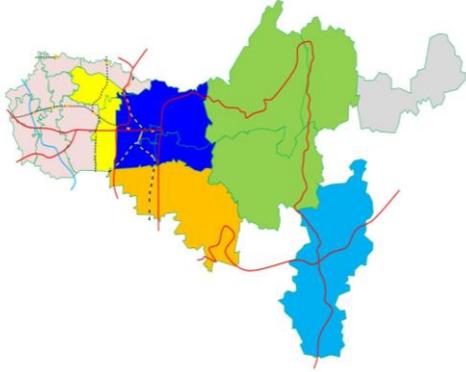
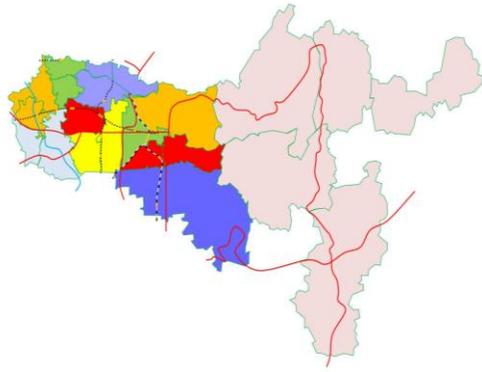
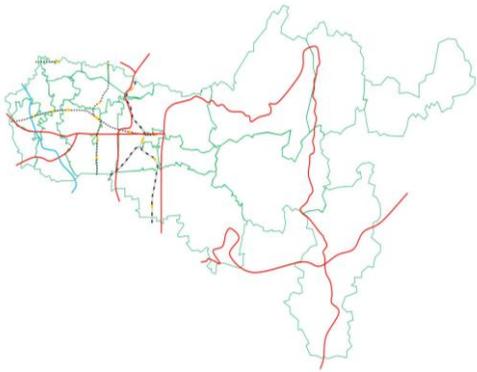
(参考①) 実施計画の記載イメージ

〇〇区域		1年目			2年目		
		教育標準 時間認定 (1号)	3歳以上 保育認定 (2号)	3歳未満 保育認定 (3号)	教育標準 時間認定 (1号)	3歳以上 保育認定 (2号)	3歳未満 保育認定 (3号)
①量の見込み		300人	200人	200人	300人	200人	200人
②確保の 内容	教育・保育施設	300人	200人	80人	300人	200人	150人
	地域型保育	0人	0人	20人	0人	0人	30人
② - ①		0人	0人	▲100人	0人	0人	▲20人

※地域子ども・子育て支援事業（〇〇区域）

地域子育て支援拠点事業	1年目	2年目	3年目
①量の見込み	3,000人（10か所）	3,000人（10か所）	3,000人（10か所）
②確保の内容	3,000人（10か所）	3,000人（10か所）	3,000人（10か所）
② - ①	0	0	0

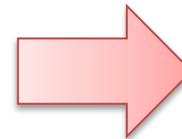
(参考②) 奈良市における既存の区域設定

	総合計画におけるゾーン	介護保険事業における日常生活圏域	中学校区
マップ			
区域数	7	11	22
未就学児童数	51 ~ 9,165	387 ~ 2,377	42 ~ 1,848
幼稚園数	0 ~ 28	2 ~ 6	0 ~ 6
認可保育所数	0 ~ 18	1 ~ 7	0 ~ 5



(事業計画における提供区域の考え方)

- 中学校区よりも区域を細かくすると、施設や事業が存在しない区域が増える。
- 市の総合計画や介護保険事業における日常生活圏域も中学校区を組み合わせたものとなっており、中学校区を基本単位で検討した方が、他の計画・方針との整合性が取りやすい。



「中学校区」を基本単位として需要分析を行う

(検討いただきたいポイント)

- 詳細は、量の見込みを国の集計の手引きに基づいた算定を行ってからの検討となるが、地域子ども・子育て支援事業の提供区域については、必ずしも一律の区域が当てはまるとは限らないため、需要分析の結果によっては、中学校区を柔軟に組み合わせる必要があるのではないか。



(第3部会でいただいたご意見)

- 提供区域について、厳密に1つの中学校区で区切ってしまうと、居住する中学校区に施設や事業がない場合の対応が困難となるので、必要に応じて中学校区を組み合わせることには賛成。
- 中学校区を基本として、総合計画や介護保険等の分け方を参考にフレキシブルに提示することは良いと思う。
- 地域子ども・子育て支援事業の中で、在宅の保護者が利用できる事業というものは限られてくることから、12ページのような実施計画を記載する際には、全部の事業を同じように並列して記載するのではなく、地域の子育て支援の事業はこれだというものに特化する等、工夫して記載していただきたい。



【対応の方向性】

- 中学校区を基本単位としてニーズの分析を行い、ニーズの分析結果に加えて、実際の施設の設置状況や事業の利用状況、校区内の就学前人口等を勘案した上で、必要に応じて隣接する複数の中学校区を組み合わせ、1つの提供区域とする。
- 12ページの実施計画については、国から示されている雛形ではあるが、分かりやすさという視点からも、用語の使い方や事業の記載の方法等可能な範囲で見せ方を工夫する。

6. 計画の推進体制について

○ 子ども・子育て会議の役割の一つである、事業計画策定後のPDCAサイクルの確保について記載する。

- 「市町村子ども・子育て支援事業計画の達成状況の点検及び評価」については、任意記載事項となっているが、子ども・子育てを取り巻く状況は年々変化していくことから、奈良市子ども・子育て会議において毎年度、点検及び評価を行う旨を明示する。
- 評価について、基本指針（案）では、「個別事業の進捗状況（アウトプット）に加え、計画全体の成果（アウトカム）についても点検・評価することが重要である。（中略）取組を評価するため、利用者の視点に立った指標を設定し、点検及び評価を行い、施策の改善につなげていくことが望まれる。」と記載されている。
- 事業計画の見直しについては、基本指針（案）では、1～3号の認定子どもの状況が、量の見込みと大きく乖離する場合には見直しが必要となるため、必要がある場合は、中間年を目安として見直しを行うこととされている（教育・保育、地域子ども・子育て支援事業に関する需給関係）。

（検討いただきたいポイント）

- 計画の点検及び評価に当たっては、提供区域ごとに実施してはどうか（課題だけではなく、良い評価も公表。評価手法や評価時期については、別途要検討）。
- 事業計画における「量の見込み」と「確保方策」の内容について、必要がある場合は中間年を目安として見直す旨を明示してはどうか。
- 事業計画の費用対効果については、基本指針（案）において「地方版子ども・子育て会議においては、（中略）費用の使途実績等について点検、評価し」とあるが、「確保方策」の内容の手法は様々であり、金額の大小が直接評価につながるかどうかは不透明であることから、今後の国の会議の状況等を勘案しつつも、明記しない方向で検討してはどうか。

(第2回部会でいただいたご意見)

- ニーズや需給の関係は区域ごとに異なるので、計画や評価も区域ごとに示したほうがよいのではないか。区域ごとに進める施策に違いが出るところが難しさではあるが、それこそが子育て家庭のニーズに即した支援になると思う。
- 計画の評価も区域ごとで行うということは、従来は数値目標をクリアすればよかったので画期的ではあるが、例えば区域内に1か所しかない区域のほうが満足度が高く、3か所ものがあるても満足度が低いということも有り得るので、具体的なイメージを持つべきではないか。
- 数値目標だけでは、数を増やしてどうなったという部分までは見えにくいので、「これだけ効果がある、満足度が上がる」ということまでアプローチできたほうが、市民にとっていいのではないか。
- 計画策定後、実績と乖離がある場合に、3年目に見直すという提案だが、子ども・子育て会議で毎年状況を把握することになるという点や、完成年度になってくると修正しにくいという点から、まずは2年目の時点で暫定的に大き目の評価を行い、そのままでもいいかということを見るという考え方もあるのではないか。
- 事業計画の費用対効果について、将来的な予算額の予測は大変難しいが、何らかの形で財政的観点からの指標も掲載できればと思う。

(第3回部会でいただいたご意見)

- 費用対効果について、費用面を明示しないと誤解が生じるのではないかと。効果の表し方については他の自治体と情報交換ができればいいと思うが、費用の表し方について、整備された区域と整備できなかった区域とで差が生まれることを危惧されるかもしれないが、例えば「認定こども園をこの区域に新設した」というように区域で区切るのではなく、市全体としてこの事業にこのようにお金を投下したという形式は、少なくとも出すべきではないか。
- 事業にいくらお金がかかっているのかがないと、事業の評価が難しいのではないかと。評価というものは、振り返りのためではなく、施策を次にどう発展的に進めていくかということを議論するために行うものであると考えるので、費用抜きには語るべきではないか。



(対応の方向性)

→ 経費のうち、予算自体は議決を経て確定することから5年間の予算を計画に記載することは難しいが、投下した費用の実績については、子ども・子育て会議における毎年度の評価の際に提示するものとする。「効果」の測り方については、今後継続して検討するものとする。

平成26年度の方向性について

奈良市子ども未来部子ども政策課
平成26年2月26日

1. 子ども・子育て会議のロードマップについて

事 項	平成25年度				平成26年度			
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
(1) 子ども・子育て支援新制度の概要と その他全体の審議について	①	②	③	④				
(2) 子ども・子育て支援事業計画について								
ニーズ調査項目の検討		▲① ②						
事業計画の素案骨子の検討			▲② ③	▲③ ④				
事業計画の素案、量と確保方策の検討								
パブリックコメント手続・修正								
(3) 認可・確認基準について								
幼保連携型認定こども園等の認可基準								
給付対象施設の確認基準								
(4) 支給認定基準・利用者負担について								
支給認定基準								
利用者負担に関する基準								

① : 子ども・子育て会議（全体会）

▲① : 事業計画策定部会

2. 平成26年度の主な取組について（予定）

○ 子ども・子育て支援新制度及び子ども・子育て会議に関連して、平成26年度に取り組まなければならない事項については下記のとおり。

（1）子ども・子育て支援事業計画

→ 平成26年9月頃に素案を確定し、10月以降にパブリックコメント手続きを経た後、平成27年3月までに策定。

（2）認可・確認基準に関する条例等（法人・施設向け）

→ 遅くとも、平成26年9月議会に上程するため、6月のパブリックコメント手続きを経た後、7月末の法令審査会に付議。10月以降は、認可・確認手続きの開始。

（3）支給認定基準・利用者負担に関する条例等（利用者向け）

→ 支給認定基準（保育の必要性に関する基準）については、遅くとも、平成26年9月議会に上程するため、6月のパブリックコメント手続きを経た後、7月末の法令審査会に付議。10月以降は、保育の必要性の認定手続きの開始。

→ 利用者負担（保育料）については、国で現在審議中であり、概要が示される時期が平成26年度に入ってからとなるため、26年度後半での基準の策定となる予定。

検討部会を設置し、短期間で効率的な審議・検討を行う予定

（4）その他制度の周知関係

→ 現在幼稚園や保育所に通園している児童の保護者への説明はもちろんのこと、これから利用を考えている保護者へ、平成27年度以降の取組をいかにわかりやすく周知できるかが課題。